

幼児の自転車同乗の実態等 に関する調査報告書

平成 18 年 3 月

財団法人 自転車産業振興協会

KEIRIN



この調査は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

幼児の自転車同乗の実態等に関する調査報告書 目次

I. 調査の概要	1
II. 人口規模別集計結果	3
問1 自転車の子供との同乗状況	3
問2 自転車に子供を同乗させない理由（複数回答）	5
問3 自転車に子供を同乗させる理由（複数回答）	7
問4-1 自転車の乗車頻度	9
問4-2 自転車に子供を同乗させる頻度	10
問5 子供を同乗させる時に最もよく利用する自転車の種類	12
問6-1 自転車に同乗させる子供の年齢	13
問6-2 自転車同乗時の子供の同乗形態	14
問6-3 自転車同乗時のシートベルトの着用状況	15
問7-1 自転車同乗時の子供のヘルメット着用状況	17
問7-2 ヘルメットの着用を始めた時期	18
問8 ヘルメットを着用させるようになったきっかけ（複数回答）	20
問9 ヘルメットを着用させていない理由（複数回答）	22
問10 自転車同乗時のふらつきによる危険性	24
問11 自転車同乗時の子供のケガの経験有無	25
問12 自転車同乗時の子供のケガの経験回数	26
問13-1-1 ケガをした時の事故の場面	27
問13-1-2 ケガをした時の事故の原因	28
問13-1-3 ケガをした時の事故の状況	30
問13-2-1 ケガをした時の子供の年齢	32
問13-2-2 ケガをした時の子供の同乗の形態	33
問13-2-3 ケガの最も大きかった部分	34
問13-2-4 ケガの程度	35
問13-2-5 ケガをした時のヘルメットの着用の有無	36
問14 ヘルメットの着用義務化についての所見	37
問14-1 義務化の対象とすべき年齢層	39
問14-2 義務化にはなじまないと考える理由（複数回答）	41
問15 自転車に子供を同乗させることの是非	43
問15-1 子供の自転車同乗を認めるべきと考える理由（複数回答）	45
問15-2 同乗容認に当たり必要な安全対策（複数回答）	46
問15-3 子供の同乗を認めるべきでないと考える理由（複数回答）	47
問16 幼児用座席、ヘルメット等についての意見・要望等	48
問17 自動車・オートバイ・原動機付自転車などの運転免許保有状況	50
問18 子供を自転車に同乗させるようになってからの期間	51

Ⅲ. クロス集計結果	53
1. 自転車の子供との同乗状況（問1）×同乗させる子供の年齢（問6-1）	53
2. 自転車の子供との同乗状況（問1）×自転車の子供の同乗形態（問6-2）	54
3. 自転車の子供との同乗状況（問1）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）	56
4. 自転車の子供との同乗状況（問1）×ヘルメット着用義務化対象年齢層（問14-1）	57
5. 自転車の子供との同乗状況（問1）×自転車の子供との同乗の是非（問15）	58
6. 自転車の乗車頻度（問4-1）×同乗時のケガの経験有無（問11）	59
7. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×シートベルトの着用状況（問6-3）	61
8. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×ふらつきによる危険性（問10）	62
9. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×同乗時のケガの経験有無（問11）	63
10. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×同乗時のケガの経験回数（問12）	64
11. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×同乗させる子供の年齢（問6-1）	65
12. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×シートベルトの着用状況（問6-3）	67
13. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×ヘルメットの着用状況（問7-1）	68
14. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×ふらつきによる危険性（問10）	70
15. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）	71
16. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×自転車の子供との同乗の是非（問15）	72
17. ヘルメット着用を始めた時期（問7-2）×ヘルメット着用のきっかけ（問8）	74
18. ふらつきによる危険性（問10）×ヘルメットの着用状況（問7-1）	75
19. ケガをした時の同乗の形態（問13-2-2）×ケガの程度（問13-2-4）	76
20. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×ヘルメットの着用状況（問7-1）	78
21. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×ふらつきによる危険性（問10）	79
22. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×同乗時のケガの経験有無（問11）	80
23. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×同乗時のケガの経験回数（問12）	81
24. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×ケガの最も大きかった部分（問13-2-3）	82
25. ヘルメット着用義務化の所見（問14）×ヘルメット着用義務化対象年齢層（問14-1）	83
26. 自転車の子供との同乗是非（問15）×自転車の子供との同乗頻度（問4-2）	84
27. 自転車の子供との同乗是非（問15）×シートベルトの着用状況（問6-3）	85
28. 自転車の子供との同乗是非（問15）×ヘルメットの着用状況（問7-1）	86
29. 自転車の子供との同乗是非（問15）×同乗時のケガの経験有無（問11）	87
30. 自転車の子供との同乗是非（問15）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）	88
31. 自転車の子供との同乗是非（問15）×ヘルメット着用義務化対象年齢層（問14-1）	89
32. 自転車の子供との同乗是非（問15）×運転免許保有状況（問17）	90
33. 同乗容認に必要な安全対策（問15-2）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）	91

別紙 アンケート調査票

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、幼児の自転車への同乗について、全国規模でその実態や保護者の意識等を把握するとともに、自転車同乗中の幼児の安全対策の企画・立案に資することを目的に実施したものである。本調査の設計に当たっては、昨年（財）全日本交通安全協会が実施した「自転車に同乗する幼児の事故実態等に関する調査」の分析結果を踏まえ、調査票の作成等を行った。

なお、平成17年1～12月の1年間（以下「昨年1年間」という。）における幼児の自転車同乗の実態等を調査対象としている。

2. 調査方法等

本調査の対象、方法等は、以下のとおりである。

① 調査の設計

- 調査対象者：全国の幼稚園園児または保育所在所児の保護者
- 調査期間：平成18年3月
- 調査方法：幼稚園または保育所経由で配布・回収
- 配布数：約10,000人（80箇所の幼稚園または保育所）

② 対象幼稚園または保育所

昨年実施した「自転車に同乗する幼児の事故実態等に関する調査」において抽出された幼稚園・保育所を引き続き対象とした。調査協力が得られなかった場合等は、当該地域から同等規模の幼稚園・保育所を選定した。

なお、昨年の調査においては、全国を北海道・東北¹、関東²、中部³、近畿⁴、中国・四国⁵、九州・沖縄⁶の6地域と市区町村（区は東京都特別区）の人口規模⁷により層化し、比例配分により調査対象幼稚園または保育所の層別抽出を行っている。

対象幼稚園・保育所の地域別の内訳は、表iのとおりである。

¹ 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県の1道6県

² 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県のみ1都6県

³ 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県及び三重県の10県

⁴ 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県の2府4県

⁵ 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県及び高知県の9県

⁶ 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の8県

⁷ ①3万人未満、②3万人以上10万人未満、③10万人以上20万人未満、④20万人以上50万人未満、⑤50万人以上の5区分。

表 i 地域別対象幼稚園・保育所数

地 域	北海道 ・東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州・ 沖縄	全国計
合 計	10	26	15	13	7	9	80
幼 稚 園	5	12	7	6	3	4	37
保 育 所	5	14	8	7	4	5	43

3. 調査内容

主な調査内容は、以下のとおりである。

- 自転車の子供との同乗状況（同乗人数、頻度、子供の年齢等）
- 自転車の同乗形態（幼児用座席、おんぶ等）
- シートベルト、ヘルメットの着用状況
- 同乗時の事故経験の有無
- 事故発生時の同乗形態
- 事故発生時の負傷の状況
- 事故発生時のヘルメット着用有無
- ヘルメット着用義務化についての所見
- 自転車に子供を同乗させることの是非
- 幼児用座席、ヘルメットについての意見・要望 等

4. 配布・回収状況等

全国 80 箇所の対象となる幼稚園の園児数及び保育所の在所児数は合計で 10,489 人であったが、最終的な調査票配布数は 1 世帯 1 調査票として 9,595 票⁸となった。

回収数は 6,517 票であり、回収率は 67.9%であった。このうち無記入等の無効票を除く有効回収数は 6,486 票であり、有効回収率は 67.6%であった。

人口規模別の回収状況は、表 ii のとおりである。

表 ii 人口規模別の有効回収数

地 域	3万人未満	3万人以上 10万人未満	10万人以上 20万人未満	20万人以上 50万人未満	50万人以上
配 布 数	1,127	2,129	1,432	2,043	2,864
有効回収数	819	1,440	1,018	1,277	1,932
回 収 率	72.7%	67.6%	71.1%	62.5%	67.5%

5. 集計結果等

集計に当たっては、表 ii に示した 5 つの人口規模別集計を基本としている。また、各設問における母数については、集計結果のグラフまたは表に記載されている（必要に応じて、本文中にも記載されている）。

なお、割合等の集計結果については、四捨五入の関係で、合計が必ずしも一致しない場合がある。

⁸ 9 箇所において配布数が不明であったため、当該幼稚園の園児数または保育所の在所児数を配布数とした。

Ⅱ. 人口規模別集計結果

問1 自転車の子供との同乗状況

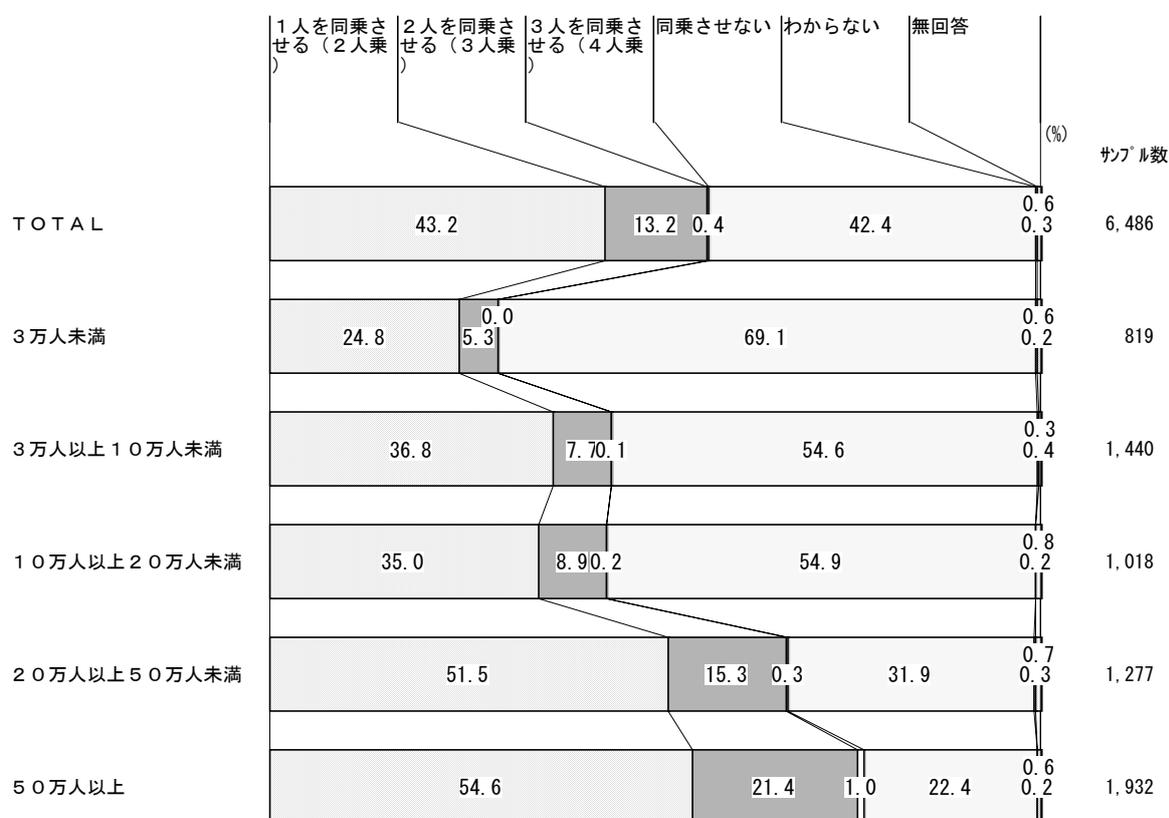


図1 昨年1年間の自転車の子供との同乗状況

(1) 全体

昨年1年間の家庭での子供（乳児から小学校入学前の幼児）との自転車同乗状況について、最も頻度が高いのは何人を同乗させる場合か聞いたところ、「1人を同乗させる（2人乗）」が43.2%、「2人を同乗させる（3人乗）」が13.2%、「3人を同乗させる（4人乗）」が0.4%となっており、同乗経験のある人は合わせて56.8%となっている。

一方、「同乗させない」との回答は42.4%と、同乗経験のある人の方が多くなっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「1人を同乗させる」との回答は、「3万人未満」が24.8%、「3万人以上10万人未満」が36.8%、「10万人以上20万人未満」が35.0%、「20万人以上50万人未満」が51.5%、「50万人以上」が54.6%となっており、人口規模の大きいところほど子供を同乗させる割合が高くなる傾向にある。

また、「2人を同乗させる」「3人を同乗させる」との回答を合わせた結果についても同様の傾向がみられ、「3万人未満」が30.1%であるのに対し、「50万人以上」では77.0%となっており、人口規模別に差異がみられる。

表 1 昨年 1 年間の自転車の子供との同乗状況

REPORT. NO:0001	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数 2 段目 横%		1 人を同乗 させる (2 人乗)	2 人を同乗 させる (3 人乗)	3 人を同乗 させる (4 人乗)	同乗させな い	わからない	無回答
0002:人口規模							
0) TOTAL	6,486 100.0	2,801 43.2	853 13.2	27 0.4	2,750 42.4	17 0.3	38 0.6
1) 3 万人未満	819 100.0	203 24.8	43 5.3	0 0.0	566 69.1	2 0.2	5 0.6
2) 3 万人以上 1 0 万人未満	1,440 100.0	530 36.8	111 7.7	2 0.1	786 54.6	6 0.4	5 0.3
3) 1 0 万人以上 2 0 万人未満	1,018 100.0	356 35.0	91 8.9	2 0.2	559 54.9	2 0.2	8 0.8
4) 2 0 万人以上 5 0 万人未満	1,277 100.0	658 51.5	195 15.3	4 0.3	407 31.9	4 0.3	9 0.7
5) 5 0 万人以上	1,932 100.0	1,054 54.6	413 21.4	19 1.0	432 22.4	3 0.2	11 0.6

問2 自転車に子供を同乗させない理由（複数回答）

本設問は、問1において「同乗させない」「わからない」と回答した人を対象としている（母数=2,767）。

なお、本設問の集計に当たって、「その他」の回答内容を精査し、同様の回答が多かったものについては、新たなカテゴリとして設定⁹し、集計している。

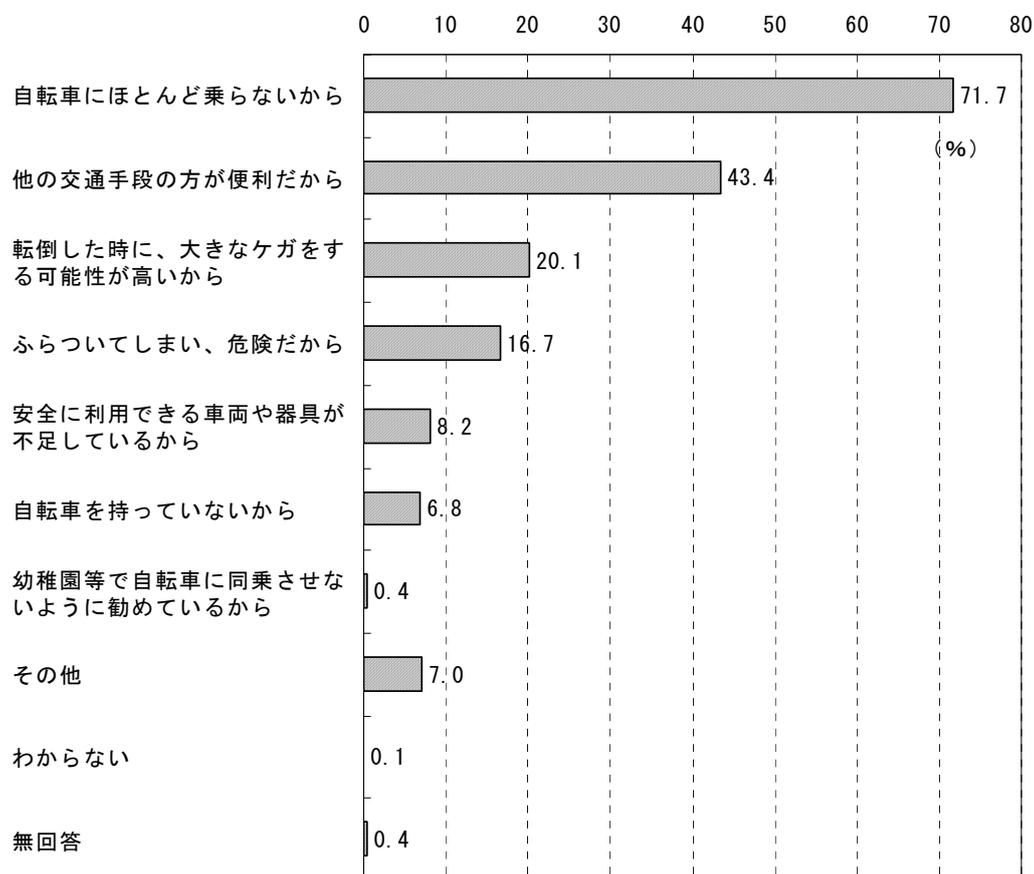


図2 自転車に子供を同乗させない理由（複数回答）

（1）全体

自転車に子供を同乗させない理由については、「自転車にほとんど乗らないから」が71.7%と最も多く、次いで「他の交通手段の方が便利だから」が43.4%、「転倒した時に大きなケガをする可能性が高いから」が20.1%、「ふらついてしまい危険だから」が16.7%と続いている。

（2）人口規模別

人口規模別にみると、「50万人以上」では、「ふらついてしまい危険だから」や「転倒したときに、大きなケガをする可能性が高いから」など、子供と自転車に同乗する場合の危険性を理由としてあげる人の割合が、他と比較して高くなっている。

一方、「他の交通手段の方が便利だから」とする回答は、「50万人以上」では他の規模と比較し、10ポイント程度割合が低くなっており、人口規模の小さいところでは、自動車を中心とした

⁹ 「その他」の回答のうち「自転車を持っていないから」を新たなカテゴリとして設定

他の交通手段が利用されているものと考えられる。

表2 自転車に子供を同乗させない理由

REPORT NO:0002	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1段目 度数 2段目 横%		幼稚園等で 自転車に同 乗させない ように勤め ているから	ふらついて しまい、危 険だから	転倒した時 に、大きな ケガをする 可能性が高 いから	安全に利用 できる車両 や器具が不 足している から	自転車にほ んど乗ら ないから	自転車を 持っていな いから	他の交通手 段の方が便 利だから	その他	わからない	無回答
0002：人口規模											
0) TOTAL	2,767 100	11 0.4	461 16.7	555 20.1	227 8.2	1984 71.7	187 6.8	1202 43.4	195 7.0	3 0.1	11 0.4
1) 3万人未満	568 100	1 0.2	77 13.6	100 17.6	49 8.6	409 72.0	39 6.9	270 47.5	34 6.0	0 0.0	4 0.7
2) 3万人以上10万人未満	792 100	1 0.1	130 16.4	161 20.3	55 6.9	595 75.1	59 7.4	353 44.6	46 5.8	0 0.0	1 0.1
3) 10万人以上20万人未満	561 100	5 0.9	94 16.8	108 19.3	53 9.4	398 70.9	36 6.4	246 43.9	39 7.0	0 0.0	5 0.9
4) 20万人以上50万人未満	411 100	3 0.7	61 14.8	74 18.0	40 9.7	296 72.0	26 6.3	181 44.0	35 8.5	2 0.5	0 0.0
5) 50万人以上	435 100	1 0.2	99 22.8	112 25.7	30 6.9	286 65.7	27 6.2	152 34.9	41 9.4	1 0.2	1 0.2

問3 自転車に子供を同乗させる理由（複数回答）

本設問以下、問13までは、問1において「1人を同乗させる」「2人を同乗させる」「3人を同乗させる」と回答した人を対象としている（母数=3,681）。

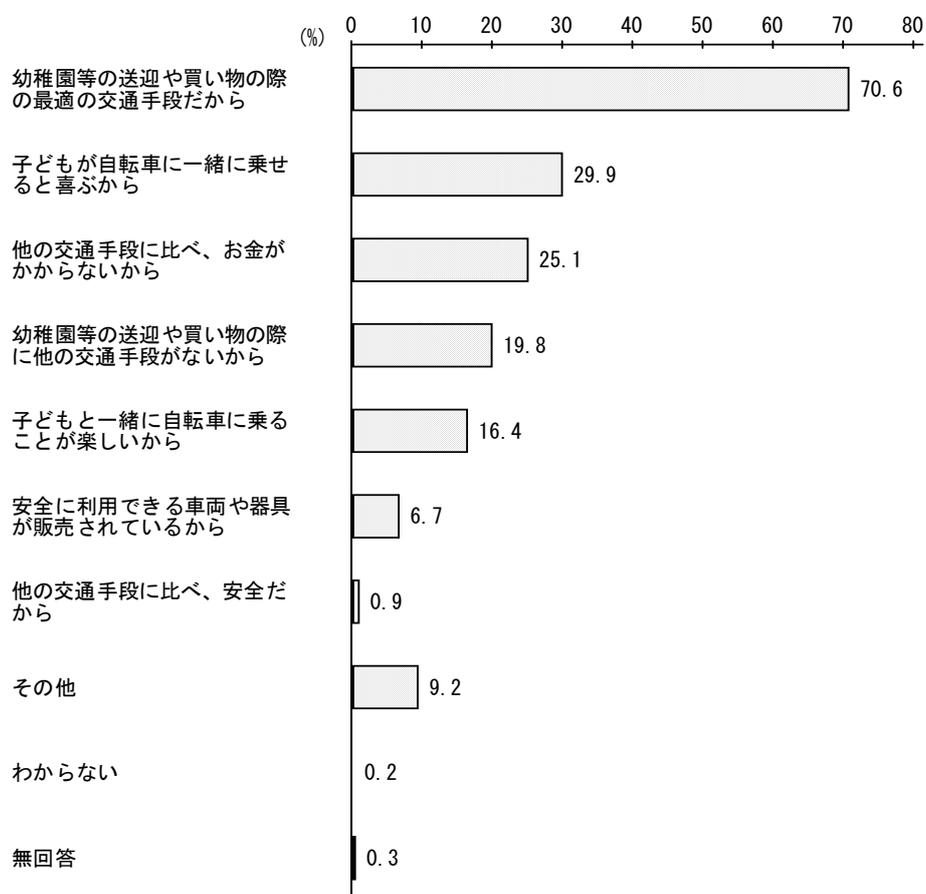


図3 自転車に子供を同乗させる理由（複数回答）

（1）全体

自転車に幼児を同乗させる理由としては、「幼稚園等の送迎や買い物の際の最適の交通手段だから」が最も多く70.6%、「子供が自転車と一緒に乗せると喜ぶから」が29.9%、「他の交通手段に比べお金がかからないから」が25.1%、「幼稚園等の送迎や買い物の際に他の交通手段がないから」が19.8%、「子供と一緒に自転車に乗ることが楽しいから」が16.4%と続いている。

（2）人口規模別

人口規模別にみると、「幼稚園等の送迎や買い物の際の最適の交通手段だから」との回答は、人口規模の大きいところほど割合が高く、「3万人未満」では48.0%であるのに対し、「50万人以上」では81.6%と、33ポイントの差がある。

一方、「子供と一緒に自転車に乗ることが楽しいから」「子供が自転車と一緒に乗せると喜ぶから」については、人口規模の小さいところほど回答の割合が高くなっており、「3万人未満」と「50万人以上」では、それぞれ20ポイント以上の差がある。

表3 自転車に子供を同乗させる理由

REPORT. NO:0003	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数 2 段目 権%		幼稚園等の送迎や買い物の際の最適な交通手段だから	幼稚園等の送迎や買い物の際に他の交通手段がないから	他の交通手段に比べ、お金がかからないから	他の交通手段に比べ、安全だから	安全に利用できる車両や器具が販売されているから	子どもと一緒に自転車に乗ることが楽しいから	子どもが自転車と一緒に乗ると喜ぶから	その他	わからない	無回答
0002:人口規模											
0) TOTAL	3,681 100.0	2,598 70.6	729 19.8	923 25.1	34 0.9	248 6.7	605 16.4	1,102 29.9	340 9.2	7 0.2	12 0.3
1) 3万人未満	246 100.0	118 48.0	23 9.3	47 19.1	5 2.0	26 10.6	83 33.7	128 52.0	27 11.0	0 0.0	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	377 58.6	91 14.2	157 24.4	1 0.2	44 6.8	154 24.0	282 43.9	64 10.0	3 0.5	3 0.5
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	272 60.6	75 16.7	110 24.5	3 0.7	26 5.8	82 18.3	156 34.7	63 14.0	1 0.2	5 1.1
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	618 72.1	192 22.4	214 25.0	6 0.7	50 5.8	113 13.2	221 25.8	80 9.3	3 0.4	3 0.4
5) 50万人以上	1,486 100.0	1,213 81.6	348 23.4	395 26.6	19 1.3	102 6.9	173 11.6	315 21.2	106 7.1	0 0.0	1 0.1

問 4-1 自転車の乗車頻度

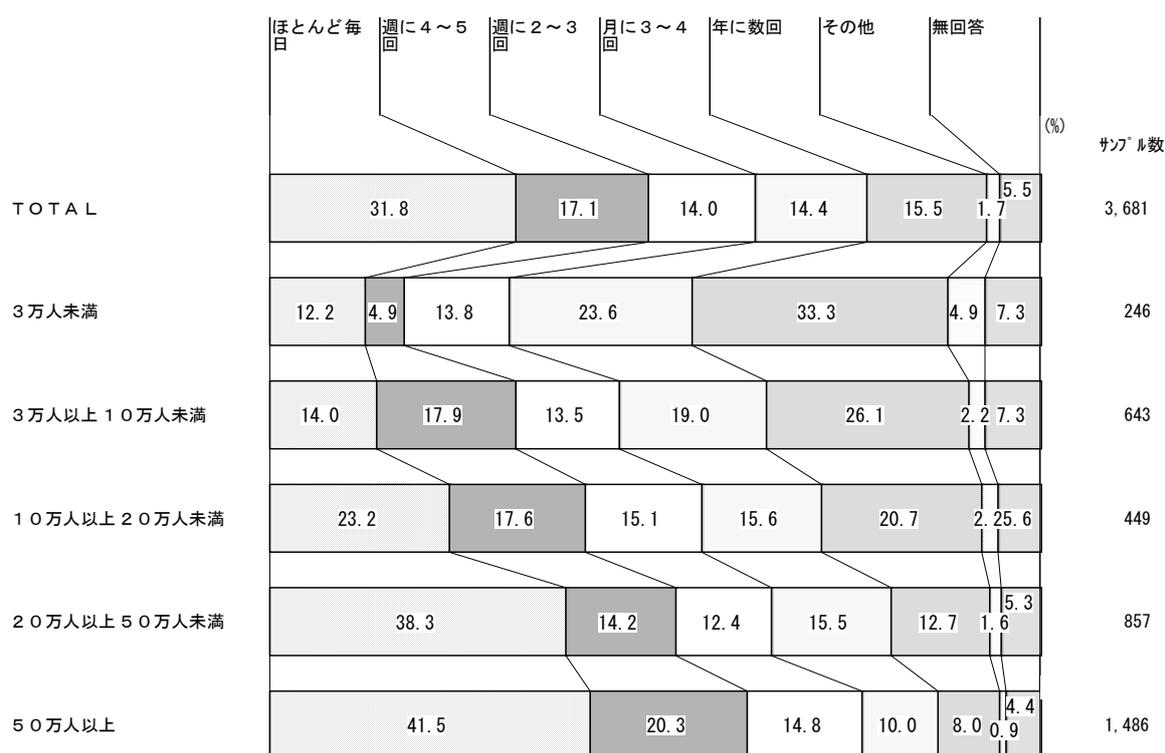


図 4-1 自転車の乗車頻度

(1) 全体

保護者の自転車の乗車頻度については、「ほとんど毎日」が 31.8%、「週に 4~5 日」が 17.1%、「週に 2~3 回」が 14.0%、「月に 3~4 回」が 14.4%、「年に数回」が 15.5%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、規模の大きいところほど、「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっており、反対に「月に 3~4 回」「年に数回」との回答は、人口規模の小さいところほど割合が高くなっている。自転車の乗車頻度は、人口規模の大きいところほど高い傾向にある。

表 4-1 自転車の乗車頻度

REPORT. NO:0004 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7
		ほとんど毎日	週に 4~5 回	週に 2~3 回	月に 3~4 回	年に数回	その他	無回答
0002:人口規模								
0) TOTAL	3,681 100.0	1,169 31.8	630 17.1	515 14.0	531 14.4	571 15.5	64 1.7	201 5.5
1) 3万人未満	246 100.0	30 12.2	4.9 13.8	12 23.6	58 23.6	82 33.3	12 4.9	18 7.3
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	90 14.0	115 17.9	87 13.5	122 19.0	168 26.1	14 2.2	47 7.3
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	104 23.2	79 17.6	68 15.1	70 15.6	93 20.7	10 2.2	25 5.6
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	328 38.3	122 14.2	106 12.4	133 15.5	109 12.7	14 1.6	45 5.3
5) 50万人以上	1,486 100.0	617 41.5	302 20.3	220 14.8	148 10.0	119 8.0	14 0.9	66 4.4

問 4-2 自転車に子供を同乗させる頻度

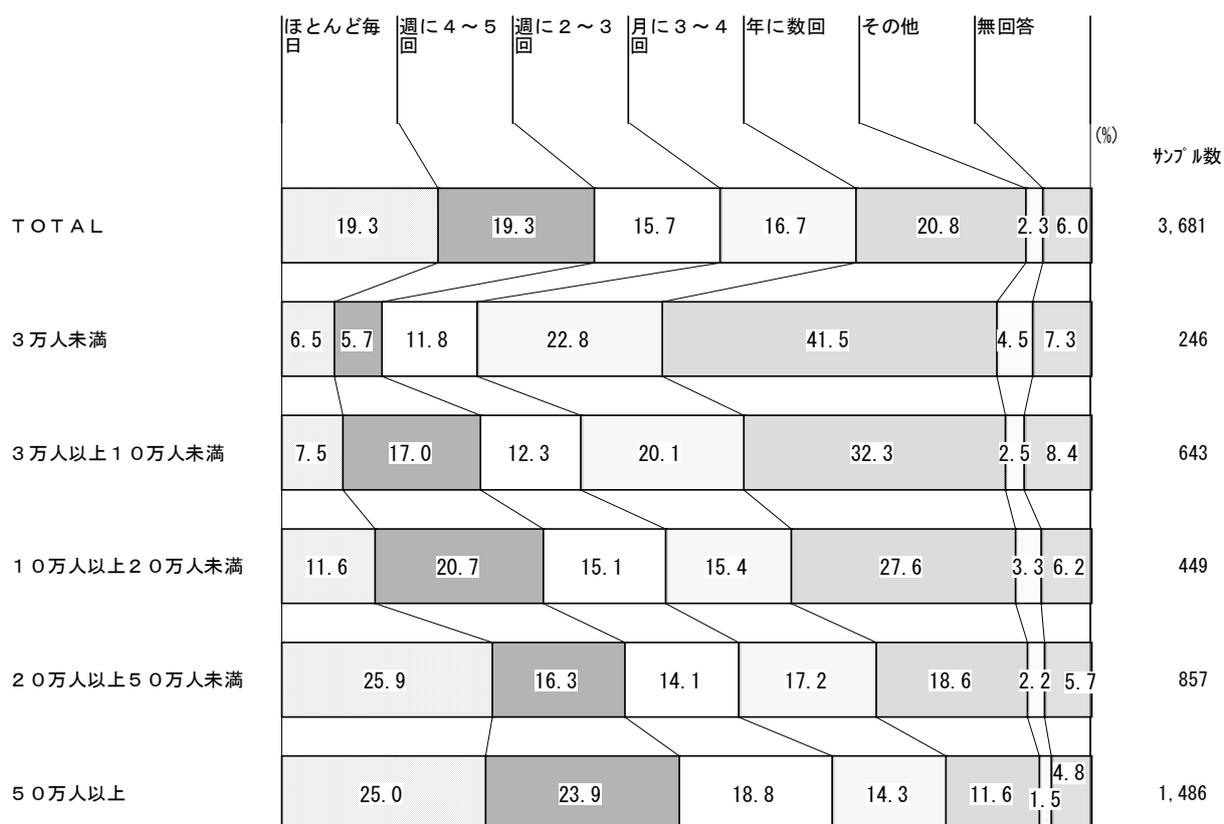


図 4-2 自転車に子供を同乗させる頻度

(1) 全体

自転車に子供を同乗させる頻度については、「ほとんど毎日」が19.3%、「週に4~5日」が19.3%、「週に2~3回」が15.7%、「月に3~4回」が16.7%、「年に数回」が20.8%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、保護者の自転車の乗車頻度と同様、人口規模の大きいところほど子供を同乗させる頻度も高くなっており、「ほとんど毎日」と「週に4~5回」を合わせた回答は「50万人以上」では48.9%であるのに対し、「3万人未満」では12.2%となっている。

一方、「年に数回」との回答は、「50万人以上」では11.6%であるのに対し、「3万人未満」では41.5%となっており、人口規模の大きい地域ほど自転車が日常生活に欠かせない交通手段として利用されていることがうかがわれる。

表 4-2 自転車に子供を同乗させる頻度

REPORT. NO:0005	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7
1 段目 度数 2 段目 権%		ほとんど毎 日	週に 4～5 回	週に 2～3 回	月に 3～4 回	年に数回	その他	無回答
0002:人口規模								
0) TOTAL	3,681 100.0	710 19.3	711 19.3	577 15.7	613 16.7	766 20.8	83 2.3	221 6.0
1) 3万人未満	246 100.0	16 6.5	14 5.7	29 11.8	56 22.8	102 41.5	11 4.5	18 7.3
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	48 7.5	109 17.0	79 12.3	129 20.1	208 32.3	16 2.5	54 8.4
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	52 11.6	93 20.7	68 15.1	69 15.4	124 27.6	15 3.3	28 6.2
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	222 25.9	140 16.3	121 14.1	147 17.2	159 18.6	19 2.2	49 5.7
5) 50万人以上	1,486 100.0	372 25.0	355 23.9	280 18.8	212 14.3	173 11.6	22 1.5	72 4.8

問5 子供を同乗させる時に最もよく利用する自転車の種類

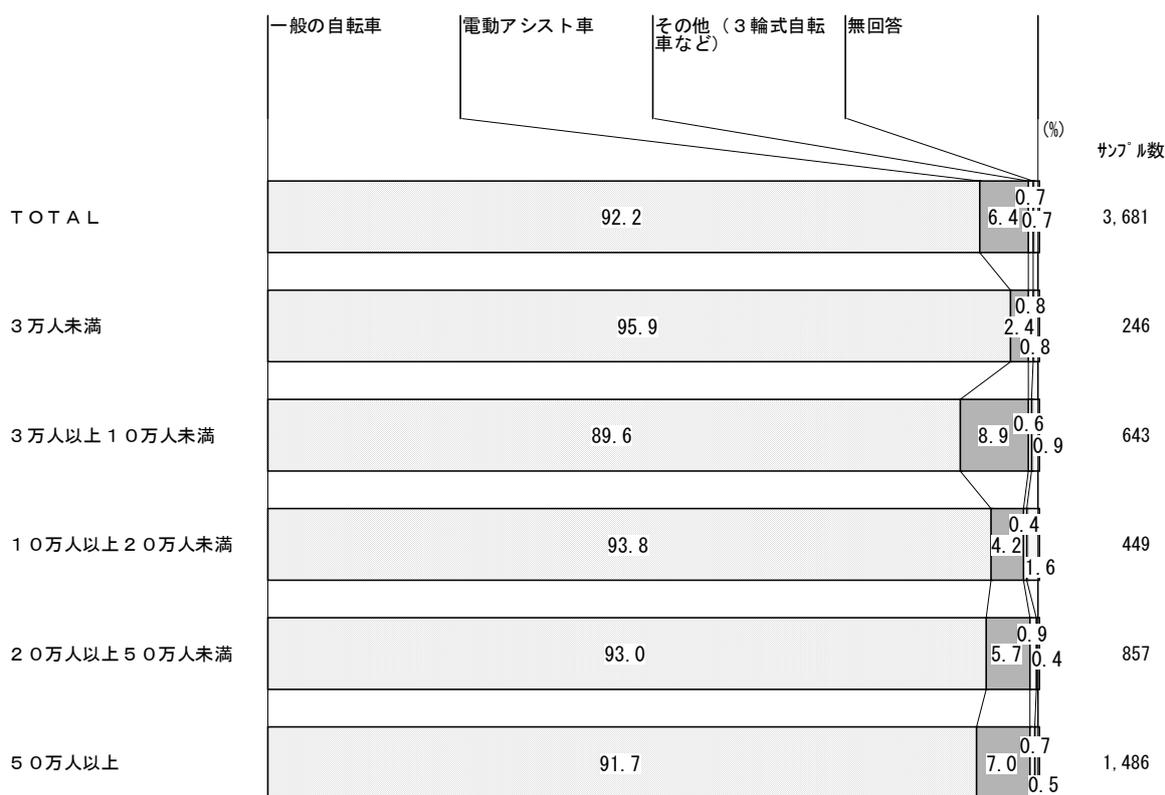


図5 子供を同乗させる自転車の種類

(1) 全体

子供を同乗させる時に最もよく利用する自転車の種類は、「一般の自転車」が92.2%と大半を占め、「電動アシスト車」が6.4%、「その他」が0.7%である。

(2) 人口規模別

人口規模別には、大きな差はみられない。

表5 子供を同乗させる自転車の種類

REPORT. NO:0006	TOTAL	1 一般の自転 車	2 電動アシス ト車	3 その他 (3 輪式自転 車など)	4 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%					
0002:人口規模					
0) TOTAL	3,681 100.0	3,393 92.2	235 6.4	27 0.7	26 0.7
1) 3万人未満	246 100.0	236 95.9	6 2.4	2 0.8	2 0.8
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	576 89.6	57 8.9	4 0.6	6 0.9
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	421 93.8	19 4.2	2 0.4	7 1.6
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	797 93.0	49 5.7	8 0.9	3 0.4
5) 50万人以上	1,486 100.0	1,363 91.7	104 7.0	11 0.7	8 0.5

問 6-1 自転車に同乗させる子供の年齢

本設問以下、問 7-2 までは、同乗させる子供（最大 3 人まで）それぞれについて質問しているため、同乗させる子供すべてが母数となっている（母数=4,742）。

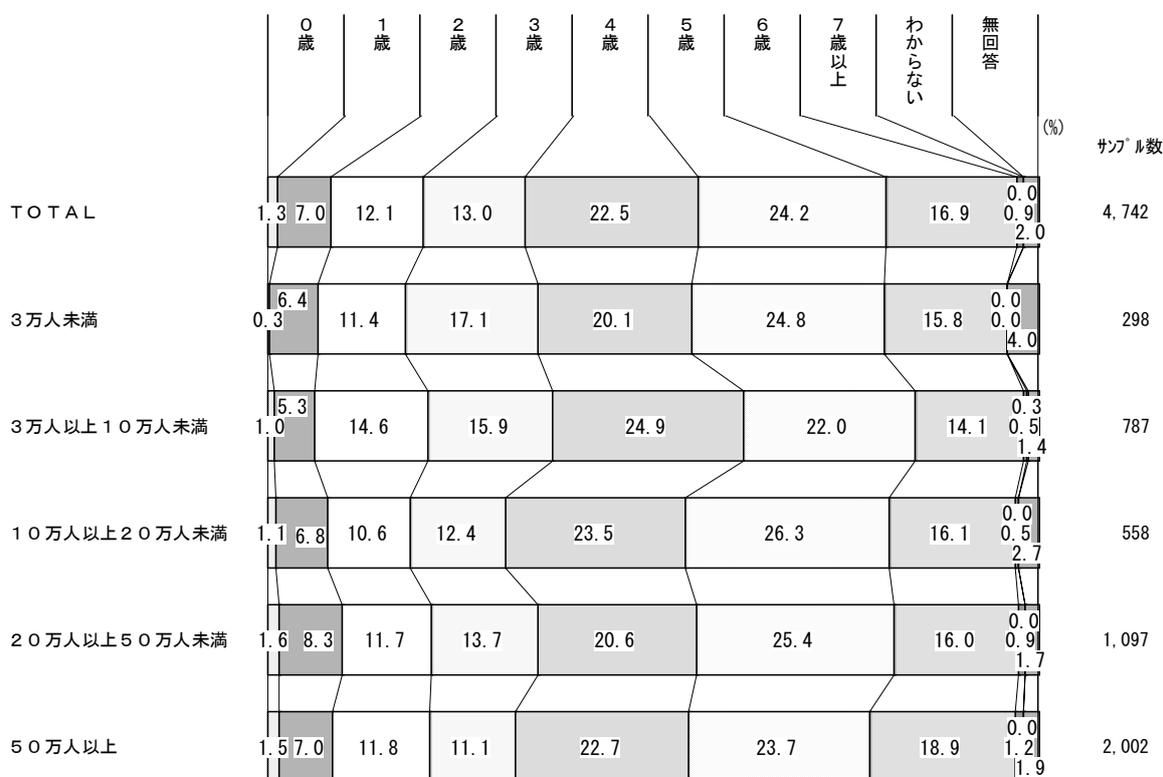


図 6-1 自転車に同乗させる子供の年齢

(1) 全体

自転車に同乗させる子供の年齢は、「5歳」が 24.2%、「4歳」が 22.5%、「6歳」が 16.9%、「3歳」が 13.0%、「2歳」が 12.1%と続いており、4歳～5歳が 6割以上を占めている。

(2) 人口規模別

人口規模別には、大きな差はみられない。

表 6-1 自転車に同乗させる子供の年齢

REPORT. NO:0007	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数 2 段目 確%	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	わからない	無回答	
0002:人口規模											
0) TOTAL	4,742 100.0	64 1.3	330 7.0	573 12.1	618 13.0	1,067 22.5	1,147 24.2	803 16.9	42 0.9	2 0.0	96 2.0
1) 3万人未満	298 100.0	1 0.3	19 6.4	34 11.4	51 17.1	60 20.1	74 24.8	47 15.8	0 0.0	0 0.0	12 4.0
2) 3万人以上10万人未満	787 100.0	8 1.0	42 5.3	115 14.6	125 15.9	196 24.9	173 22.0	111 14.1	4 0.5	2 0.3	11 1.4
3) 10万人以上20万人未満	558 100.0	6 1.1	38 6.8	59 10.6	69 12.4	131 23.5	147 26.3	90 16.1	3 0.5	0 0.0	15 2.7
4) 20万人以上50万人未満	1,097 100.0	18 1.6	91 8.3	128 11.7	150 13.7	226 20.6	279 25.4	176 16.0	10 0.9	0 0.0	19 1.7
5) 50万人以上	2,002 100.0	31 1.5	140 7.0	237 11.8	223 11.1	454 22.7	474 23.7	379 18.9	25 1.2	0 0.0	39 1.9

問 6-2 自転車同乗時の子供の同乗形態

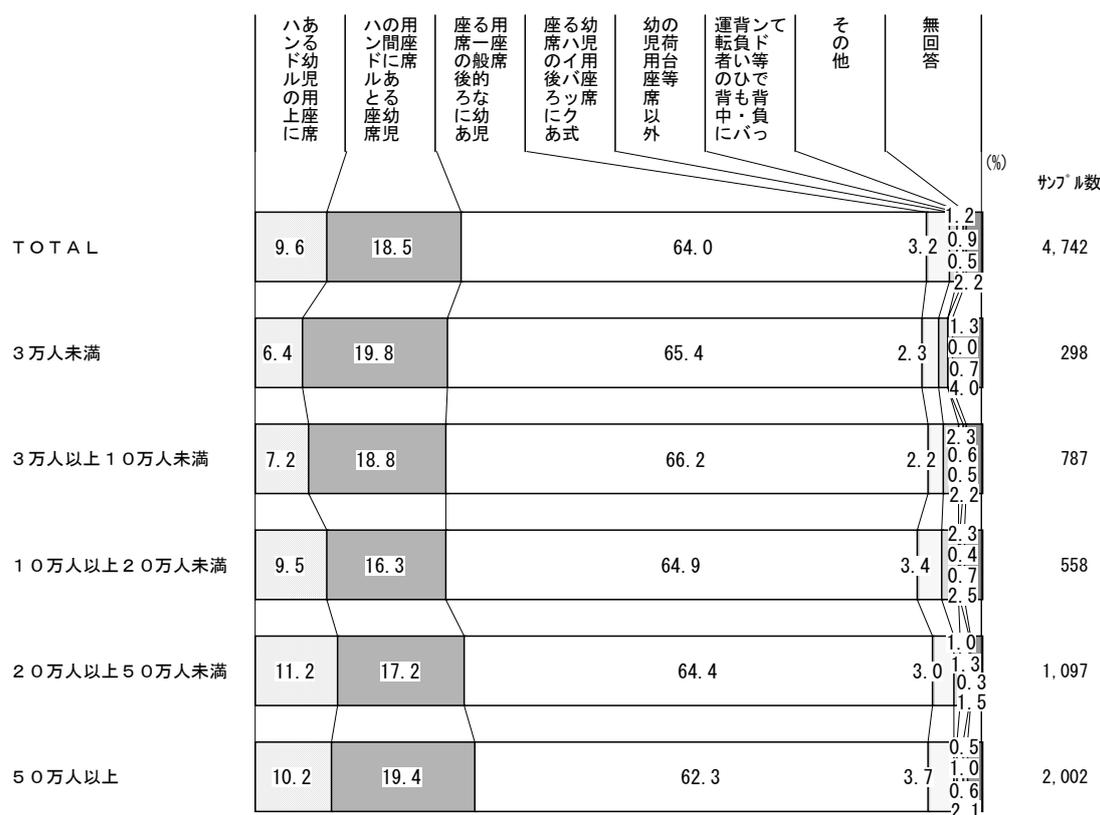


図 6-2 自転車同乗時の子供の同乗形態

(1) 全体

子供の同乗の形態については、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が 64.0%と大半を占め、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が 18.5%、「ハンドルの上にある幼児用座席」が 9.6%、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」が 3.2%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別には大きな差はみられないが、「ハンドルの上にある幼児用座席」は人口規模の大きいところの回答の割合が、わずかではあるが高くなっている。

表 6-2 自転車同乗時の子供の同乗形態

REPORT. NO:0011	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
1 段目 度数		ハンドルの上にある幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	幼児用座席以外の荷台等	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	その他	無回答
2 段目 権%									
0002:人口規模									
0) TOTAL	4,742 100.0	457 9.6	876 18.5	3,033 64.0	150 3.2	57 1.2	41 0.9	26 0.5	102 2.2
1) 3万人未満	298 100.0	19 6.4	59 19.8	195 65.4	7 2.3	4 1.3	0 0.0	2 0.7	12 4.0
2) 3万人以上10万人未満	787 100.0	57 7.2	148 18.8	521 66.2	17 2.2	18 2.3	5 0.6	4 0.5	17 2.2
3) 10万人以上20万人未満	558 100.0	53 9.5	91 16.3	362 64.9	19 3.4	13 2.3	2 0.4	4 0.7	14 2.5
4) 20万人以上50万人未満	1,097 100.0	123 11.2	189 17.2	707 64.4	33 3.0	11 1.0	14 1.3	3 0.3	17 1.5
5) 50万人以上	2,002 100.0	205 10.2	389 19.4	1,248 62.3	74 3.7	11 0.5	20 1.0	13 0.6	42 2.1

問 6-3 自転車同乗時のシートベルトの着用状況

本設問は、問 6-2「自転車同乗時の子供の同乗形態」において、「ハンドルの上にある幼児用座席」「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」及び「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」と回答した人を対象としている。また、同乗させる子供（最大 3 人まで）それぞれについて質問しているため、同乗させる子供すべてが母数となっている（母数=4,516）。

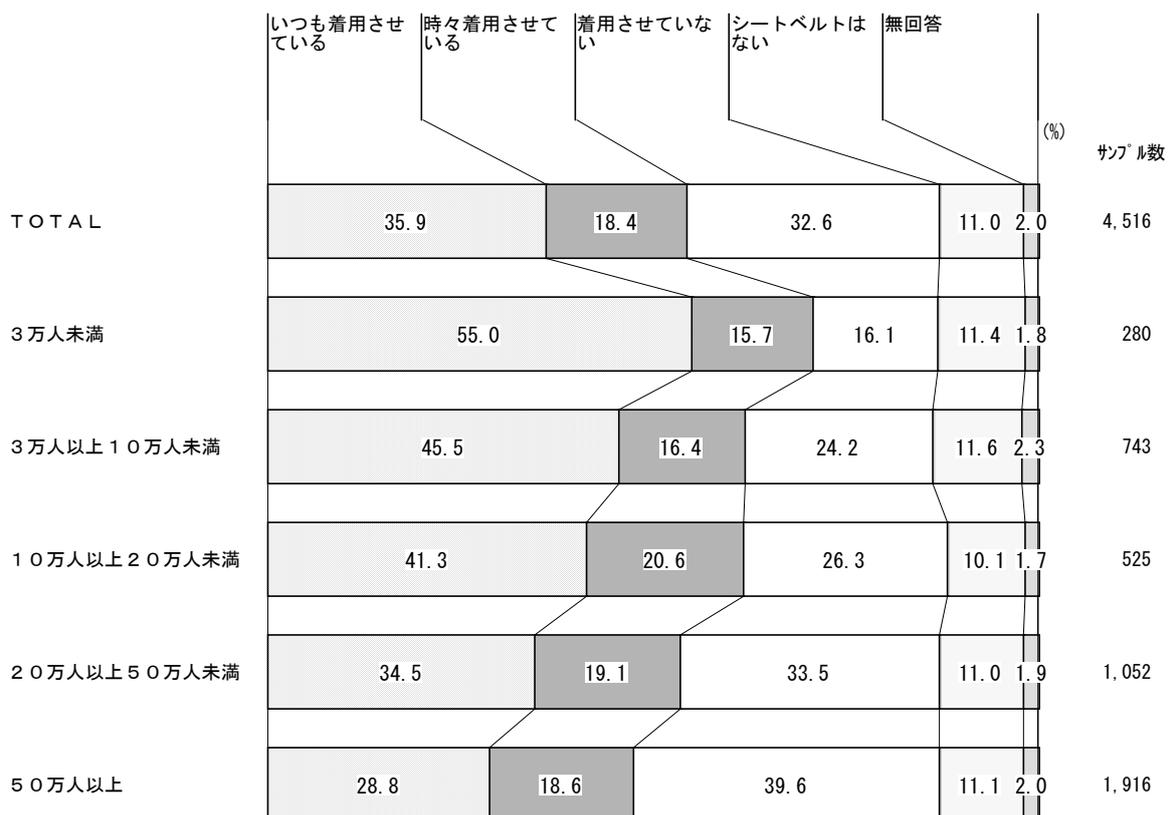


図 6-3 シートベルトの着用状況

(1) 全体

自転車同乗時のシートベルト着用状況については、「いつも着用させている」が 35.9%、「時々着用させている」が 18.4%、「着用させていない」が 32.6%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「いつも着用させている」との回答は、「3 万人未満」では 55.0%、「3 万人以上 10 万人未満」が 45.5%、「10 万人以上 20 万人未満」が 41.3%、「20 万人以上 50 万人未満」が 34.5%、「50 万人以上」が 28.8%と、人口規模の小さいところほどシートベルトの着用率が高くなっている。

表 6-3 シートベルトの着用状況

REPORT. NO:0015	TOTAL	1	2	3	4	5
1 段目 度数 2 段目 権%		いつも着用 させている	時々着用さ せている	着用させて いない	シートベル トはない	無回答
0002:人口規模						
0) TOTAL	4,516 100.0	1,623 35.9	832 18.4	1,473 32.6	499 11.0	89 2.0
1) 3万人未満	280 100.0	154 55.0	44 15.7	45 16.1	32 11.4	5 1.8
2) 3万人以上10万人未満	743 100.0	338 45.5	122 16.4	180 24.2	86 11.6	17 2.3
3) 10万人以上20万人未満	525 100.0	217 41.3	108 20.6	138 26.3	53 10.1	9 1.7
4) 20万人以上50万人未満	1,052 100.0	363 34.5	201 19.1	352 33.5	116 11.0	20 1.9
5) 50万人以上	1,916 100.0	551 28.8	357 18.6	758 39.6	212 11.1	38 2.0

問 7-1 自転車同乗時の子供のヘルメット着用状況

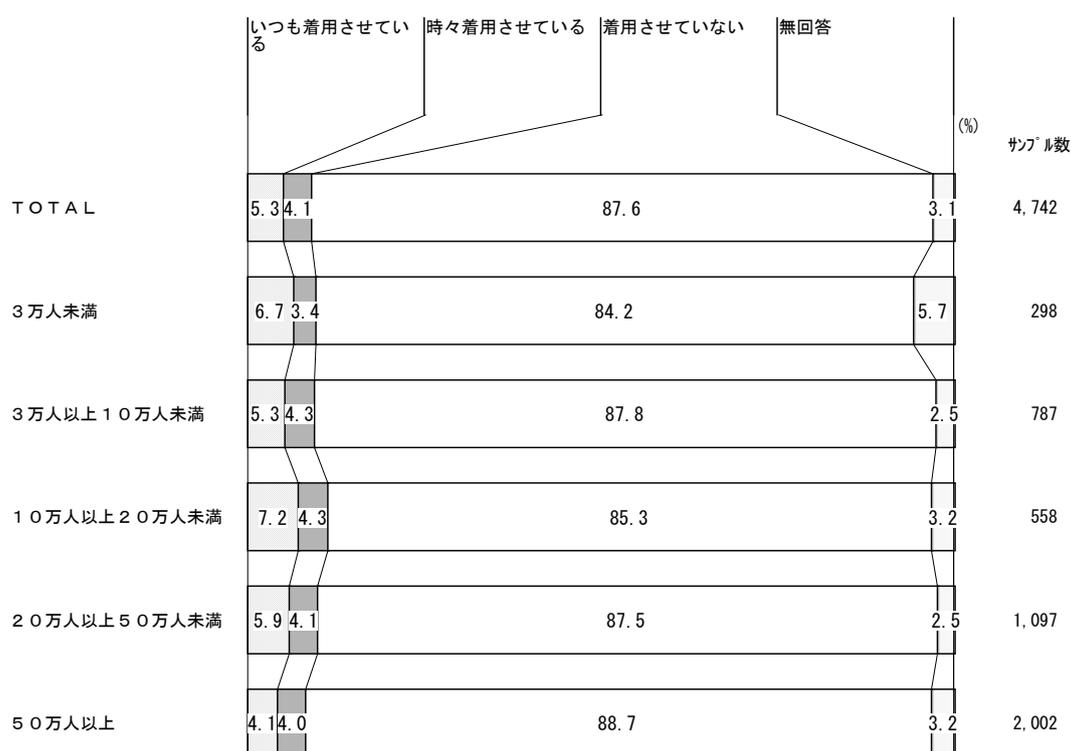


図 7-1 ヘルメットの着用状況

(1) 全体

自転車同乗の際の子供のヘルメット着用状況については、「着用させていない」が 87.6%と大半を占め、「いつも着用させている」が 5.3%、「時々着用させている」が 4.1%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「いつも着用させている」との回答は、「3万人未満」では 6.7%、「3万人以上10万人未満」が 5.3%、「10万人以上20万人未満」が 7.2%、「20万人以上50万人未満」が 5.9%、「50万人以上」が 4.1%と、わずかではあるが人口規模の小さいところほど着用率が高くなっている傾向にある。

表 7-1 ヘルメットの着用状況

REPORT. NO:0019	TOTAL	1 いつも着用 させている	2 時々着用さ せている	3 着用させて いない	4 無回答
1 段目 度数					
2 段目 権%					
0002:人口規模					
0) TOTAL	4,742 100.0	249 5.3	193 4.1	4,153 87.6	147 3.1
1) 3万人未満	298 100.0	20 6.7	10 3.4	251 84.2	17 5.7
2) 3万人以上10万人未満	787 100.0	42 5.3	34 4.3	691 87.8	20 2.5
3) 10万人以上20万人未満	558 100.0	40 7.2	24 4.3	476 85.3	18 3.2
4) 20万人以上50万人未満	1,097 100.0	65 5.9	45 4.1	960 87.5	27 2.5
5) 50万人以上	2,002 100.0	82 4.1	80 4.0	1,775 88.7	65 3.2

問 7-2 ヘルメットの着用を始めた時期

本設問は、問 7-1 において「いつも着用させている」または「時々着用させている」と回答した人を対象として集計している（母数=442）。

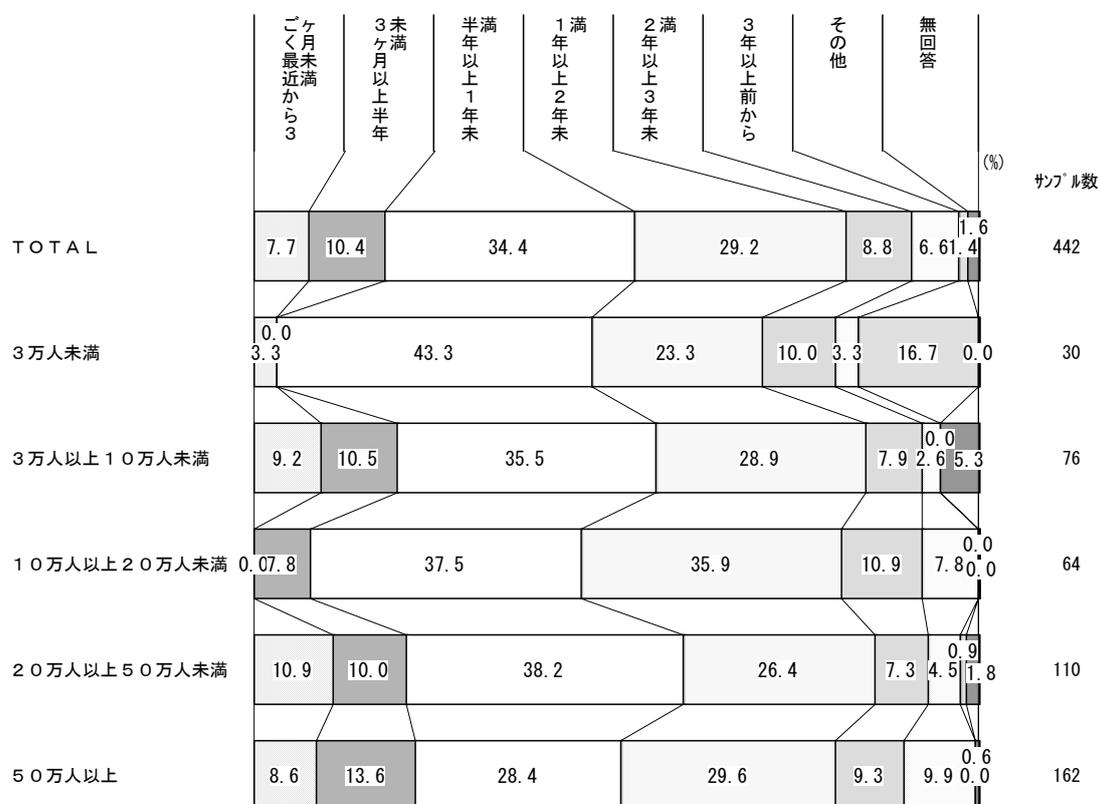


図 7-2 ヘルメットの着用を始めた時期

(1) 全体

ヘルメットの着用を始めた時期については、「半年以上1年未満」が34.4%、「1年以上2年未満」が29.2%、「3ヶ月以上半年未満」が10.4%、「2年以上3年未満」が8.8%となっており、半年から2年の間に集中している。

(2) 人口規模別

いずれの人口規模においても、「半年以上1年未満」及び「1年以上2年未満」との回答がそれぞれ3~4割程度と多くなっている。

表 7-2 ヘルメットの着用を始めた時期

REPORT. NO:0023	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
1 段目 度数 2 段目 横%		ごく最近から 3ヶ月未満	3ヶ月以上 半年未満	半年以上1 年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上前 から	その他	無回答
0002:人口規模									
0) TOTAL	442 100.0	34 7.7	46 10.4	152 34.4	129 29.2	39 8.8	29 6.6	6 1.4	7 1.6
1) 3万人未満	30 100.0	1 3.3	0 0.0	13 43.3	7 23.3	3 10.0	1 3.3	5 16.7	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	76 100.0	7 9.2	8 10.5	27 35.5	22 28.9	6 7.9	2 2.6	0 0.0	4 5.3
3) 10万人以上20万人未満	64 100.0	0 0.0	5 7.8	24 37.5	23 35.9	7 10.9	5 7.8	0 0.0	0 0.0
4) 20万人以上50万人未満	110 100.0	12 10.9	11 10.0	42 38.2	29 26.4	8 7.3	5 4.5	1 0.9	2 1.8
5) 50万人以上	162 100.0	14 8.6	22 13.6	46 28.4	48 29.6	15 9.3	16 9.9	0 0.0	1 0.6

問 8 ヘルメットを着用させるようになったきっかけ（複数回答）

本設問は、問7-1において「いつも着用させている」または「時々着用させている」と回答した人を対象として集計している（母数=363）。

また、本設問の集計に当たり、「その他」の内容を精査し、適切な選択肢へ回答を移している場合がある。

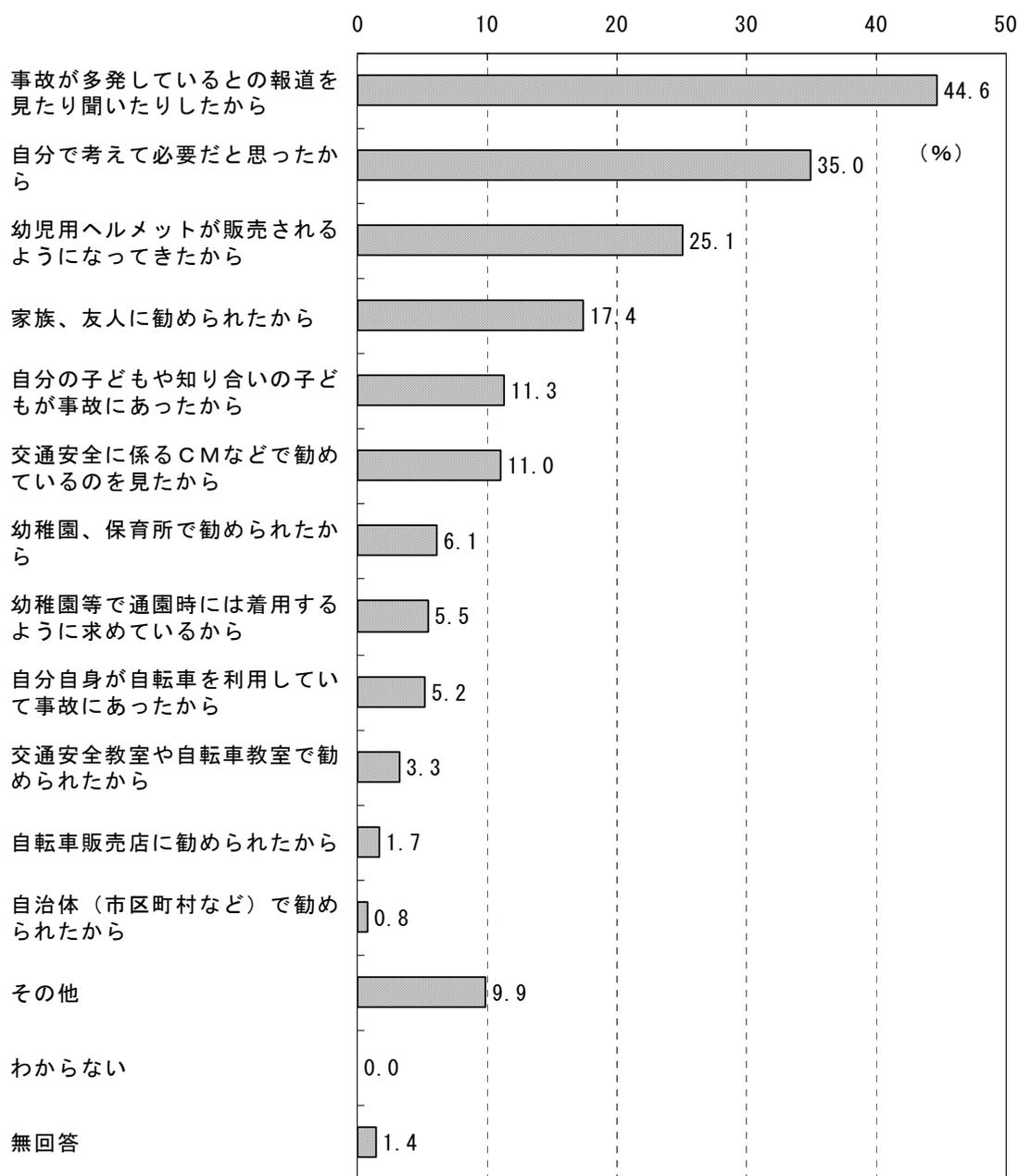


図 8 ヘルメットを着用させるようになったきっかけ（複数回答）

(1) 全体

ヘルメットを着用させるようになったきっかけについては、「事故が多発しているとの報道を見たり聞いたりしたから」が最も多く 44.6%、「自分で考えて必要だと思ったから」が 35.0%、「幼児用ヘルメットが販売されるようになってきたから」が 25.1%、「家族、友人に勧められたから」が 17.4%となっており、保護者が自発的に着用させている状況がうかがわれる。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「幼稚園、保育所で通園時には着用するように求めているから」及び「幼稚園、保育所で勧められたから」との回答は、「10 万人以上 20 万人未満」の規模で顕著に多くなっている。その理由は、今回調査対象となった一部の幼稚園、保育所においてヘルメットの着用を義務づけ・推奨していることによる。

表8 ヘルメットを着用させるようになったきっかけ

REPORT. NO:0002 1段目 度数 2段目 横%	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
		幼稚園等で通園時には着用するように求めているから	幼稚園、保育所で勧められたから	交通安全教室や自転車教室で勧められたから	自治体(市区町村など)で勧められたから	自転車販売店に勧められたから	交通安全に係るCMなどで勧められているのを見たから	家族、友人に勧められたから	自分の子どもや知り合いの子どもが事故にあったから
0002: 人口規模									
0) TOTAL	363 100	20 5.5	22 6.1	12 3.3	3 0.8	6 1.7	40 11.0	63 17.4	41 11.3
1) 3万人未満	22 100	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	2 9.1	5 22.7	2 9.1
2) 3万人以上10万人未満	65 100	1 1.5	0 0.0	5 7.7	0 0.0	0 0.0	3 4.6	6 9.2	3 4.6
3) 10万人以上20万人未満	51 100	10 19.6	13 25.5	3 5.9	0 0.0	0 0.0	6 11.8	10 19.6	4 7.8
4) 20万人以上50万人未満	91 100	3 3.3	5 5.5	0 0.0	1 1.1	1 1.1	9 9.9	18 19.8	14 15.4
5) 50万人以上	134 100	4 3.0	4 3.0	4 3.0	2 1.5	4 3.0	20 14.9	24 17.9	18 13.4
REPORT. NO:0002 1段目 度数 2段目 横%	TOTAL	9	10	11	12	13	14	15	
		自分自身が自転車を利用して事故にあったから	事故が多発しているとの報道を見たり聞いたりしたから	幼児用ヘルメットが販売されるようになってきたから	自分で考えて必要だと思ったから	その他	わからない	無回答	
0002: 人口規模									
0) TOTAL	363 100	19 5.2	162 44.6	91 25.1	127 35.0	36 9.9	0 0.0	5 1.4	
1) 3万人未満	22 100	1 4.5	10 45.5	6 27.3	15 68.2	2 9.1	0 0.0	0 0.0	
2) 3万人以上10万人未満	65 100	0 0.0	26 40.0	13 20.0	32 49.2	5 7.7	0 0.0	4 6.2	
3) 10万人以上20万人未満	51 100	4 7.8	23 45.1	16 31.4	12 23.5	3 5.9	0 0.0	0 0.0	
4) 20万人以上50万人未満	91 100	6 6.6	39 42.9	23 25.3	29 31.9	12 13.2	0 0.0	0 0.0	
5) 50万人以上	134 100	8 6.0	64 47.8	33 24.6	39 29.1	14 10.4	0 0.0	1 0.7	

問9 ヘルメットを着用させていない理由（複数回答）

本設問は、問7-1においてヘルメットを「着用させていない」と回答した人を対象としている（母数=3,210）。

また、本設問の集計に当たり、「その他」の内容を精査し、同様の回答が多かったものについては、新たなカテゴリとして設定し、集計している。

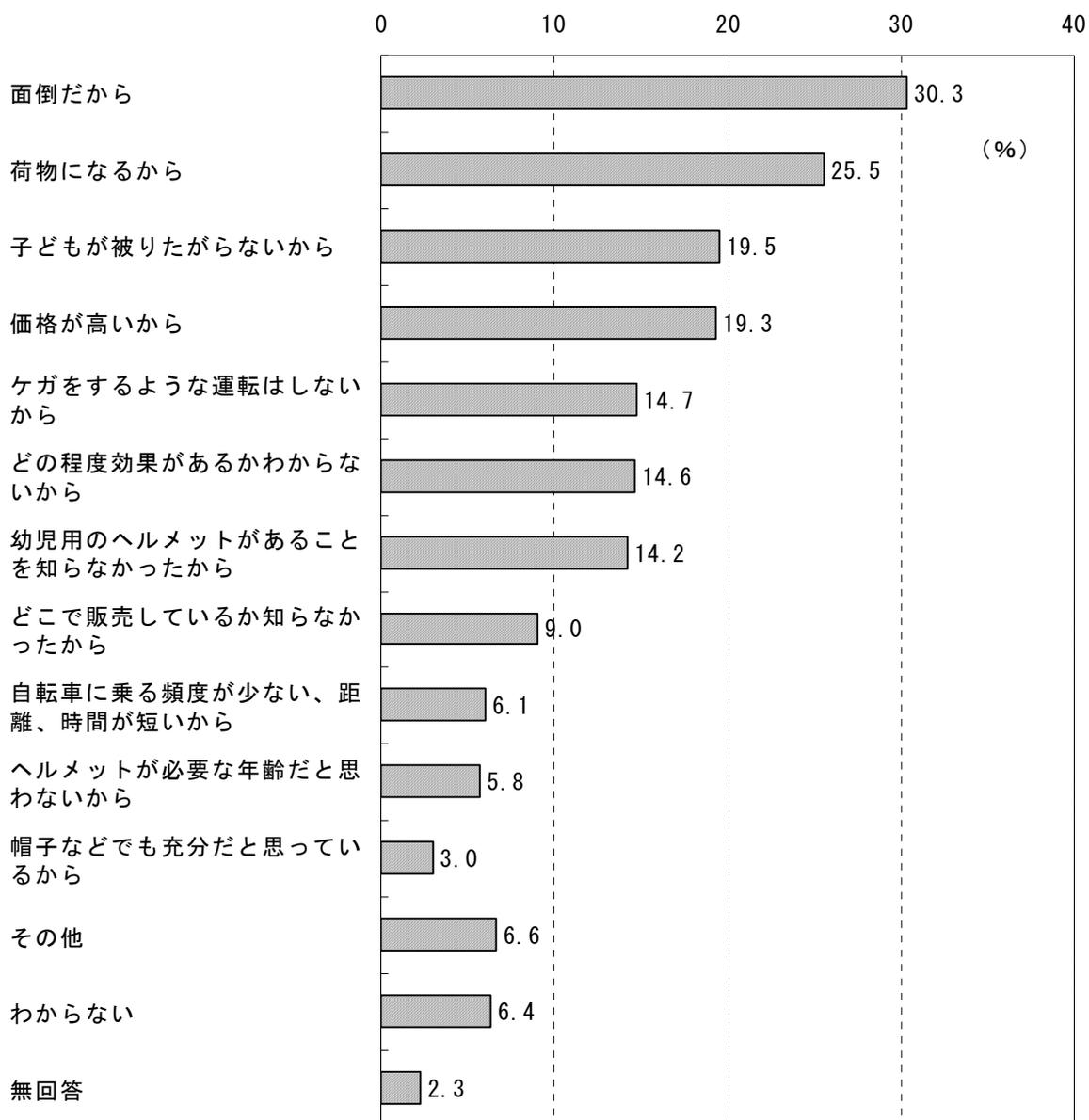


図9 ヘルメットを着用させていない理由（複数回答）

（1）全体

ヘルメットを着用させていない理由は、「面倒だから」が30.3%、「荷物になるから」が25.5%、「子どもが被りたがらないから」が19.5%、「価格が高いから」が19.3%の順で回答の割合が高くなっている。

なお、「その他」の具体的回答として、「自転車に乗る頻度が少ない、距離・時間が短いから」との回答が多かったため、新たに当該カテゴリを作成し、該当する回答を当該カテゴリに修正し

ている。

他に、「義務化されていないから」「周囲があまりかぶっていないから」「合うサイズがないから」などが「その他」の具体的回答としてあげられている。

(2) 人口規模別

人口規模別に顕著な差異がみられる項目としては、「荷物になるから」「面倒だから」があげられ、人口規模の大きいところほど割合が高くなっている。また、「価格が高いから」「子供が被りたがらないから」についても、同様の傾向にある。

一方、「幼児用のヘルメットがあることを知らなかったから」との回答は、人口規模の小さいところほど割合が高くなっており、「3万人未満」では25.1%であるのに対し、「50万人以上」では10.0%と、約15ポイントの開きがある。

表9 ヘルメットを着用させていない理由

REPORT. NO:0002	TOTAL	1 幼児用のヘルメットがあることを知らなかったから	2 どこで販売しているか知らなかったから	3 価格が高いから	4 どの程度効果があるかわからないから	5 子どもが被りたがらないから	6 ケガをするような運転はしないから	7 荷物になるから	8 面倒だから
1 段目 度数 2 段目 横%									
0002: 人口規模									
0) TOTAL	3,210 100	456 14.2	290 9.0	619 19.3	469 14.6	626 19.5	472 14.7	820 25.5	974 30.3
1) 3万人未満	211 100	53 25.1	19 9.0	35 16.6	29 13.7	24 11.4	32 15.2	21 10.0	44 20.9
2) 3万人以上10万人未満	564 100	113 20.0	66 11.7	100 17.7	67 11.9	97 17.2	92 16.3	93 16.5	140 24.8
3) 10万人以上20万人未満	381 100	73 19.2	29 7.6	67 17.6	43 11.3	68 17.8	62 16.3	77 20.2	99 26.0
4) 20万人以上50万人未満	749 100	87 11.6	71 9.5	147 19.6	116 15.5	143 19.1	108 14.4	207 27.6	227 30.3
5) 50万人以上	1,305 100	130 10.0	105 8.0	270 20.7	214 16.4	294 22.5	178 13.6	422 32.3	464 35.6
REPORT. NO:0002	TOTAL	9 帽子などでも充分だと思っているから	10 ヘルメットが必要な年齢だと思わないから	11 自転車に乗る頻度が少ない、距離、時間が短いから	12 その他	13 わからない	14 無回答		
1 段目 度数 2 段目 横%									
0002: 人口規模									
0) TOTAL	3,210 100	97 3.0	185 5.8	195 6.1	212 6.6	204 6.4	74 2.3		
1) 3万人未満	211 100	9 4.3	9 4.3	17 8.1	17 8.1	17 8.1	9 4.3		
2) 3万人以上10万人未満	564 100	13 2.3	28 5.0	48 8.5	7.4	34 6.0	14 2.5		
3) 10万人以上20万人未満	381 100	13 3.4	19 5.0	29 7.6	28 7.3	30 7.9	11 2.9		
4) 20万人以上50万人未満	749 100	24 3.2	44 5.9	44 5.9	47 6.3	48 6.4	15 2.0		
5) 50万人以上	1,305 100	38 2.9	85 6.5	57 4.4	78 6.0	75 5.7	25 1.9		

問 10 自転車同乗時のふらつきによる危険性

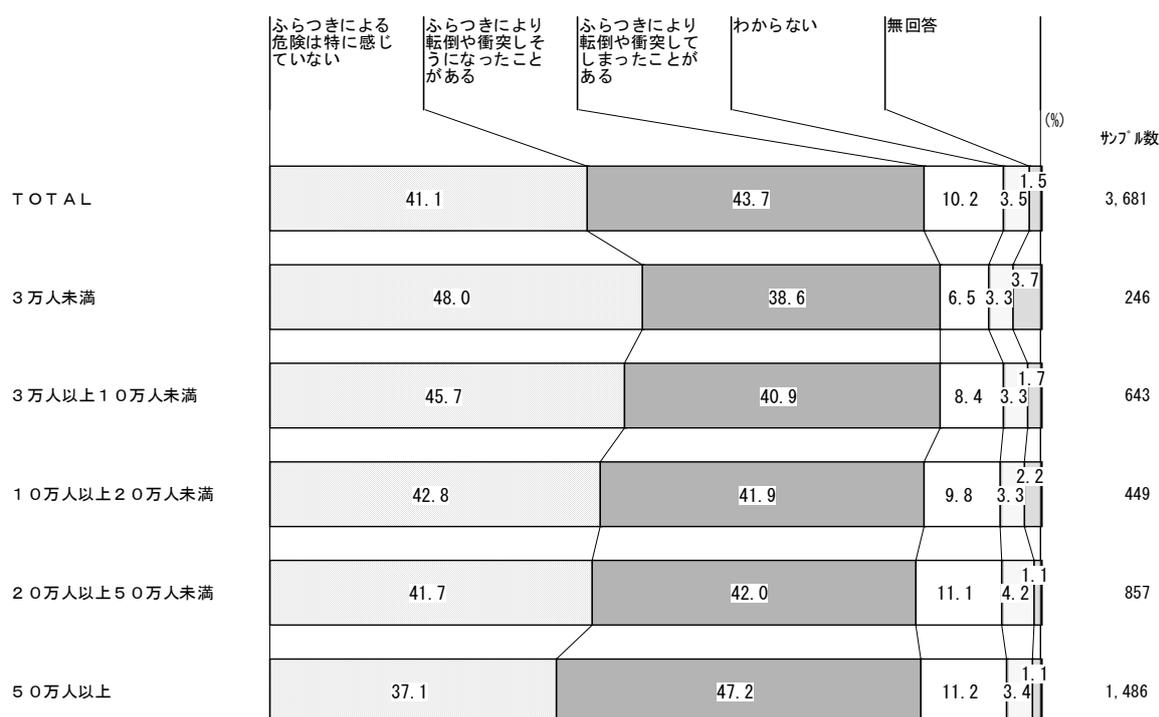


図 10 自転車同乗時のふらつきによる危険性

(1) 全体

自転車に子供を同乗させる時に、ふらつきによる危険を感じたことがあるか、との質問については、「ふらつきにより転倒や衝突しそうになったことがある」が 43.7%、「ふらつきによる危険は特に感じていない」が 41.1%、「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」が 10.2% となっており、半数以上の人々がふらつきによる転倒、衝突の経験や、危険を感じたことがあると回答している。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、人口規模の大きいところほど「ふらつきにより転倒や衝突しそうになったことがある」または「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」とする回答割合が高くなっている。

表 10 自転車同乗時のふらつきによる危険性

REPORT. NO:0030	TOTAL	1 ふらつきによる危険は特に感じていない	2 ふらつきにより転倒や衝突しそうになったことがある	3 ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある	4 わからない	5 無回答
1 段目 度数						
2 段目 権%						
0002:人口規模						
0) TOTAL	3,681 100.0	1,512 41.1	1,608 43.7	375 10.2	130 3.5	56 1.5
1) 3万人未満	246 100.0	118 48.0	95 38.6	16 6.5	8 3.3	9 3.7
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	294 45.7	263 40.9	54 8.4	21 3.3	11 1.7
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	192 42.8	188 41.9	44 9.8	15 3.3	10 2.2
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	357 41.7	360 42.0	95 11.1	36 4.2	9 1.1
5) 50万人以上	1,486 100.0	551 37.1	702 47.2	166 11.2	50 3.4	17 1.1

問 11 自転車同乗時の子供のケガの経験有無

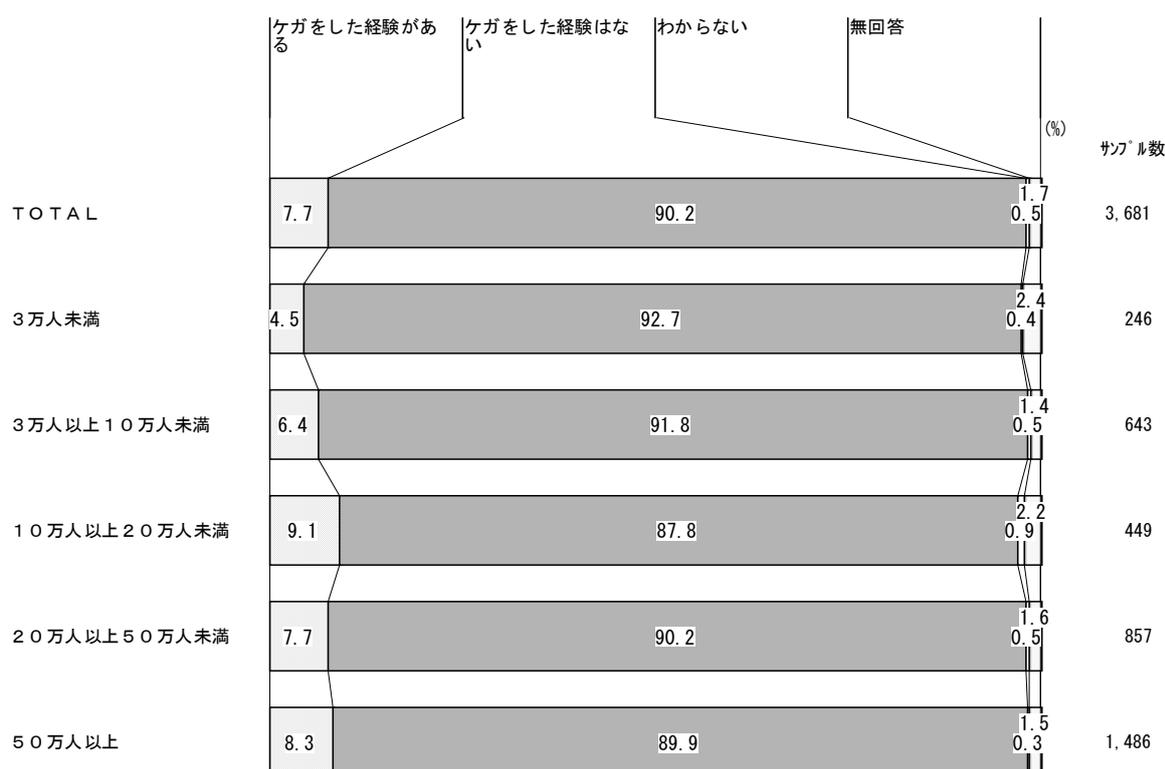


図 11 自転車同乗時の子供のケガの経験有無

(1) 全体

昨年 1 年間の自転車同乗時の子供のケガの経験の有無については、「ケガをした経験がある」は 7.7%、「ケガをした経験はない」が 90.2%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別に大きな差はみられない。

表 11 自転車同乗時の子供のケガの経験有無

REPORT. NO:0031 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4
		ケガをした 経験がある	ケガをした 経験はない	わからない	無回答
0002: 人口規模					
0) TOTAL	3,681 100.0	282 7.7	3,321 90.2	17 0.5	61 1.7
1) 3万人未満	246 100.0	11 4.5	228 92.7	1 0.4	6 2.4
2) 3万人以上10万人未満	643 100.0	41 6.4	590 91.8	3 0.5	9 1.4
3) 10万人以上20万人未満	449 100.0	41 9.1	394 87.8	4 0.9	10 2.2
4) 20万人以上50万人未満	857 100.0	66 7.7	773 90.2	4 0.5	14 1.6
5) 50万人以上	1,486 100.0	123 8.3	1,336 89.9	5 0.3	22 1.5

問 12 自転車同乗時の子供のケガの経験回数

本設問及び問 13-1-1~3 及び問 13-2-1~5 については、問 11 において「ケガをした経験がある」と回答した人を対象としている（母数=282）。

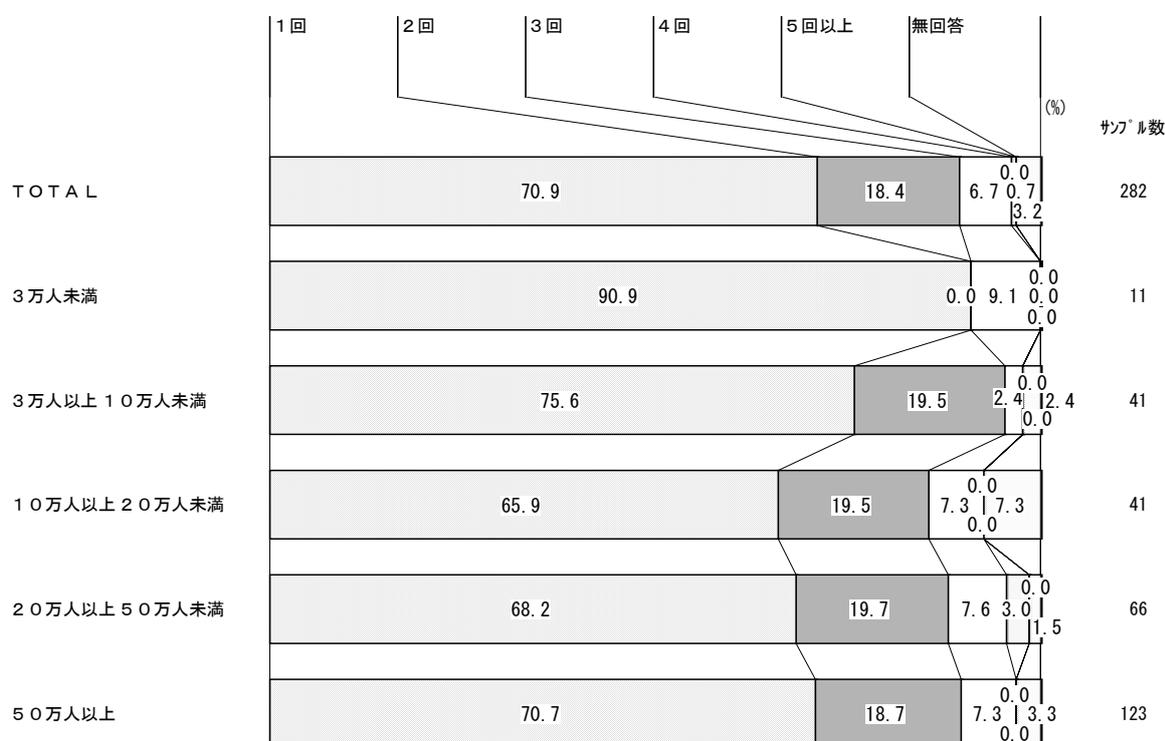


図 12 自転車同乗時の子供のケガの経験回数

(1) 全体

自転車同乗時の子供のケガの経験回数は、「1回」が 70.9%、「2回」が 18.4%、「3回」が 6.7%、「4回」が 0.7%であり、「5回以上」との回答はなかった。

(2) 人口規模別

人口規模別に大きな差はみられない。

表 12 自転車同乗時の子供のケガの経験回数

REPORT. NO:0032	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
2 段目 権%							
0002:人口規模							
0) TOTAL	282 100.0	200 70.9	52 18.4	19 6.7	2 0.7	0 0.0	9 3.2
1) 3万人未満	11 100.0	10 90.9	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	41 100.0	31 75.6	8 19.5	1 2.4	0 0.0	0 0.0	1 2.4
3) 10万人以上20万人未満	41 100.0	27 65.9	8 19.5	3 7.3	0 0.0	0 0.0	3 7.3
4) 20万人以上50万人未満	66 100.0	45 68.2	13 19.7	5 7.6	2 3.0	0 0.0	1 1.5
5) 50万人以上	123 100.0	87 70.7	23 18.7	9 7.3	0 0.0	0 0.0	4 3.3

問 13-1-1 ケガをした時の事故の場面

本設問以下、問 13-2-5 までのケガの状況等に関する設問は、ケガの経験が複数回ある場合は、ケガの程度が最も大きかった場合を対象としている。

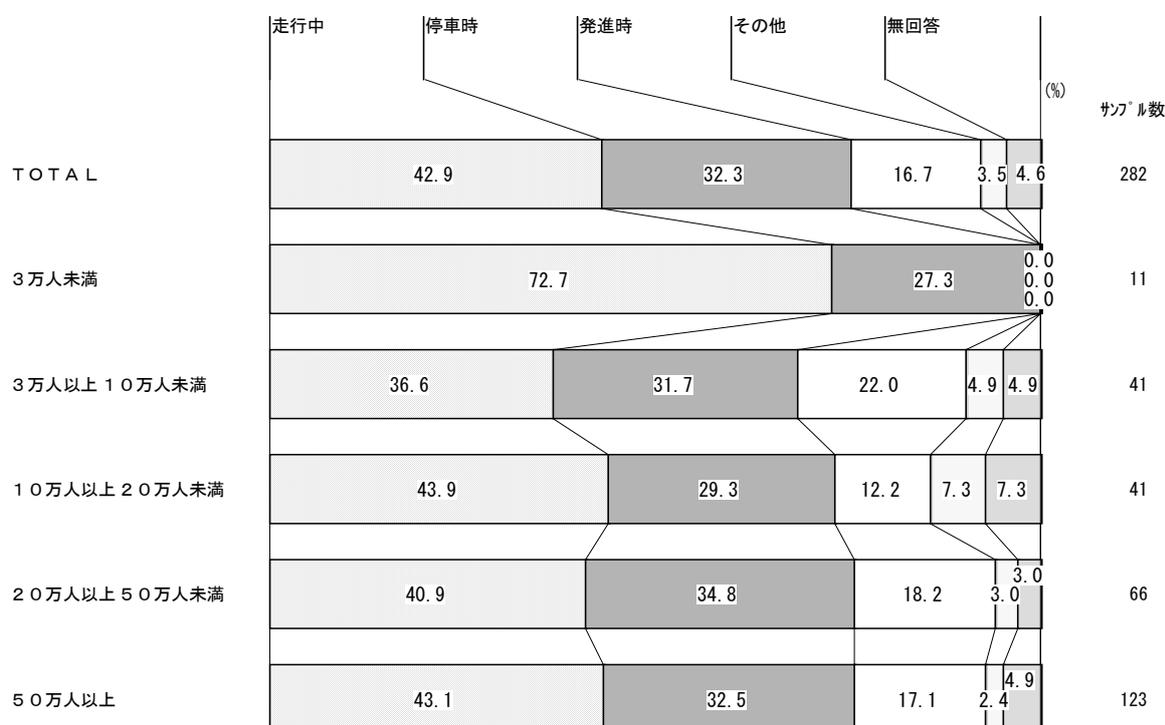


図 13-1-1 ケガをした時の事故の場面

(1) 全体

ケガをした時の事故の場面は、「走行中」が 42.9%、「停車時」が 32.3%、「発進時」が 16.7% である。

(2) 人口規模別

人口規模別には大きな差はみられない。なお、本設問以下、問 13-2-5 までは、人口規模「3 万人未満」についてはサンプル数が少ないため比較に当たっては留意が必要である。

表 13-1-1 ケガをした時の事故の場面

REPORT. NO:0033	TOTAL	1 走行中	2 停車時	3 発進時	4 その他	5 無回答
1 段目 度数	2 段目 権%					
0002:人口規模						
0) TOTAL	282 100.0	121 42.9	91 32.3	47 16.7	10 3.5	13 4.6
1) 3万人未満	11 100.0	8 72.7	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2) 3万人以上 10万人未満	41 100.0	15 36.6	13 31.7	9 22.0	2 4.9	2 4.9
3) 10万人以上 20万人未満	41 100.0	18 43.9	12 29.3	5 12.2	3 7.3	3 7.3
4) 20万人以上 50万人未満	66 100.0	27 40.9	23 34.8	12 18.2	2 3.0	2 3.0
5) 50万人以上	123 100.0	53 43.1	40 32.5	21 17.1	3 2.4	6 4.9

問 13-1-2 ケガをした時の事故の原因

本設問の集計に当たり、「その他」の内容を精査し、同様の回答が多かったものについては、新たなカテゴリとして設定¹⁰し、集計している。

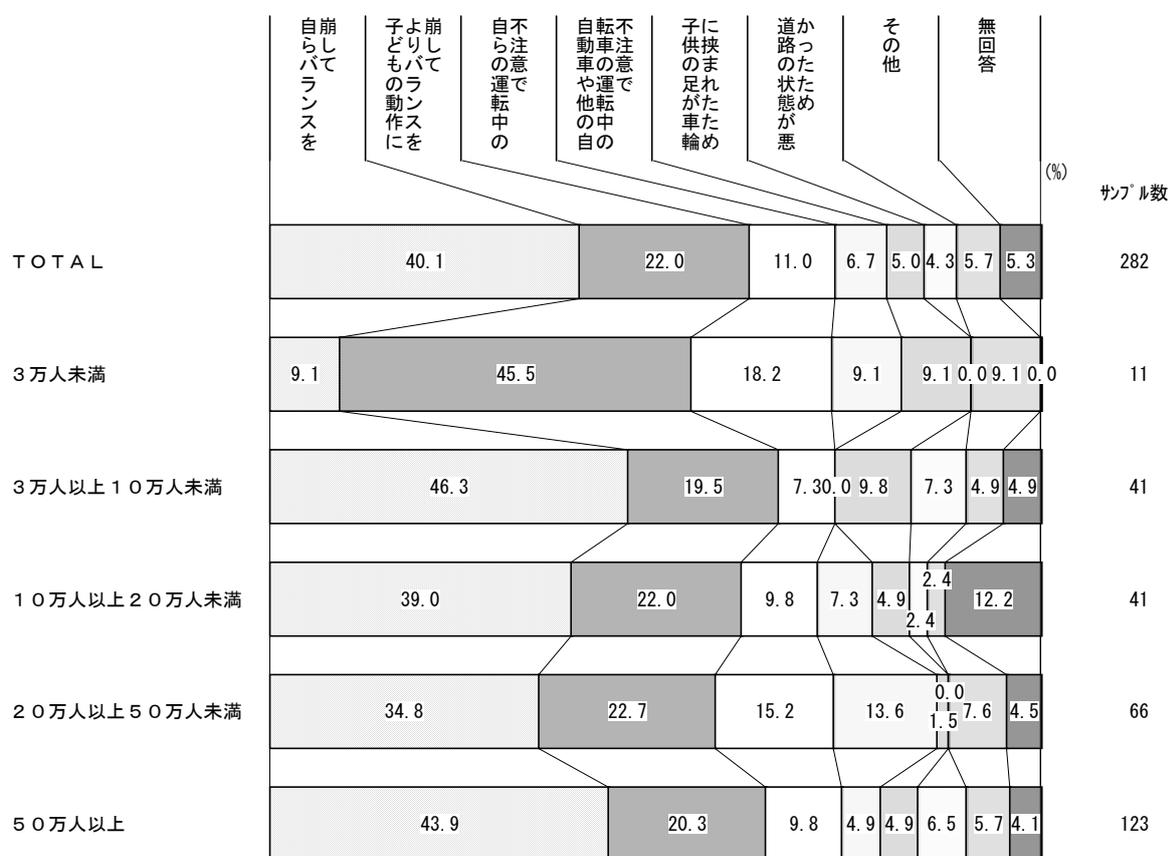


図 13-1-2 ケガをした時の事故の原因

(1) 全体

ケガをした時の事故の原因は、「自らバランスを崩して」が 40.1%、「子供の動作によりバランスを崩して」が 22.0%、「自らの運転の不注意で」が 11.0%、「子供の足が車輪に挟まれたため」が 6.7%となっている。

¹⁰ 「その他」の回答のうち「子どもの足が車輪に挟まれたため」「道路の状態が悪かったため」の2つを新たなカテゴリとして設定

(2) 人口規模別

人口規模別に大きな差はみられない。

表 13-1-2 ケガをした時の事故の原因

REPORT. NO: 0035	TOTAL	1 自らバランスを崩して	2 子どもの動作によりバランスを崩して	3 自らの運転中の不注意で	4 自動車や他の自転車の運転中の不注意で	5 子供の足が車輪に挟まれたため	6 道路の状態が悪かったため	7 その他	8 無回答
1 段目 度数 2 段目 積%									
0002: 人口規模									
0) TOTAL	282 100.0	113 40.1	62 22.0	31 11.0	19 6.7	14 5.0	12 4.3	16 5.7	15 5.3
1) 3万人未満	11 100.0	1 9.1	5 45.5	2 18.2	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	41 100.0	19 46.3	8 19.5	3 7.3	0 0.0	4 9.8	3 7.3	2 4.9	2 4.9
3) 10万人以上20万人未満	41 100.0	16 39.0	9 22.0	4 9.8	3 7.3	2 4.9	1 2.4	1 2.4	5 12.2
4) 20万人以上50万人未満	66 100.0	23 34.8	15 22.7	10 15.2	9 13.6	1 1.5	0 0.0	5 7.6	3 4.5
5) 50万人以上	123 100.0	54 43.9	25 20.3	12 9.8	6 4.9	6 4.9	8 6.5	7 5.7	5 4.1

問 13-1-3 ケガをした時の事故の状況

本設問の集計に当たり、「その他」の内容を精査し、適切な選択肢へ回答を移している場合がある。また、同様の回答が多かったものについては、新たなカテゴリとして設定¹¹し、集計している。

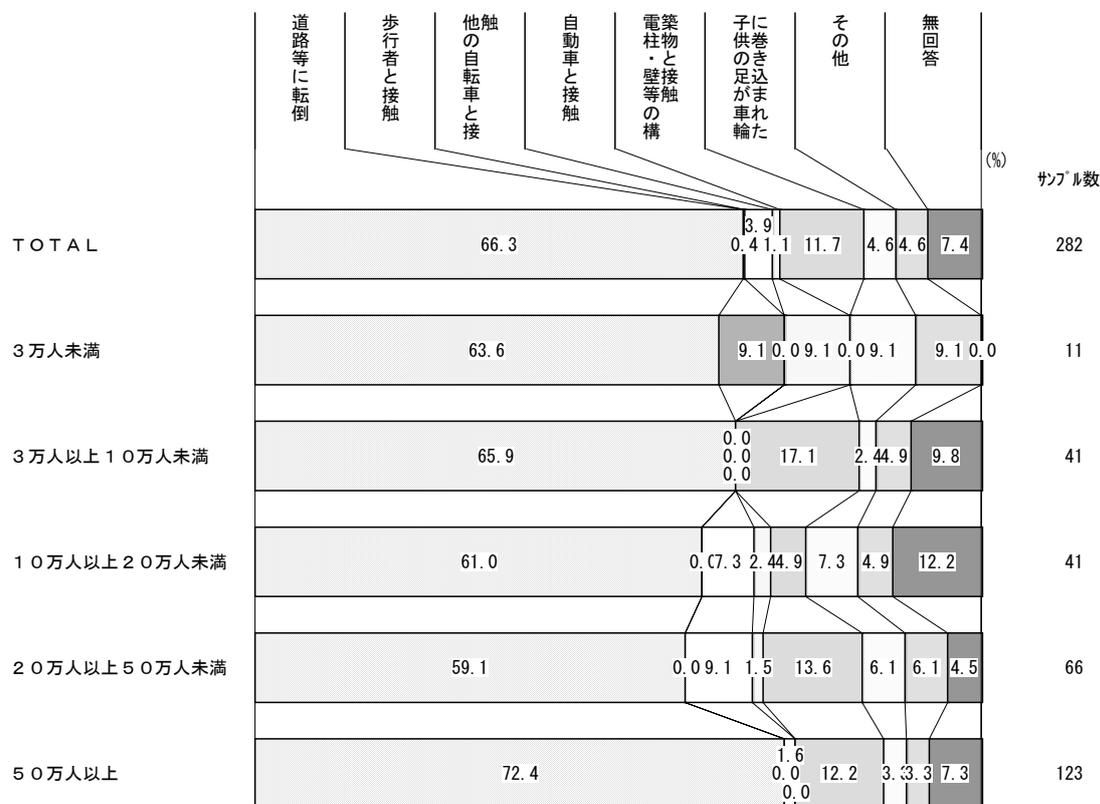


図 13-1-3 ケガをした時の事故の状況

(1) 全体

ケガをした時の事故の状況は、「道路等に転倒」が 66.3%と大半を占め、「電柱・壁等の構造物と接触」が 11.7%、「子供の足が車輪に巻き込まれた」が 4.6%となっている。

¹¹ 「その他」の回答のうち「子供の足が車輪に巻き込まれた」を新たなカテゴリとして設定

(2) 人口規模別

人口規模別に大きな差はみられない

表 13-1-3 ケガをした時の事故の状況

REPORT. NO:0037	TOTAL	1 道路等に転倒	2 歩行者と接触	3 他の自転車と接触	4 自動車と接触	5 電柱・壁等の構造物と接触	6 子供の足が車輪に巻き込まれた	7 その他	8 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%									
0002:人口規模									
0) TOTAL	282 100.0	187 66.3	1 0.4	11 3.9	3 1.1	33 11.7	13 4.6	13 4.6	21 7.4
1) 3万人未満	11 100.0	7 63.6	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	41 100.0	27 65.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 17.1	1 2.4	2 4.9	4 9.8
3) 10万人以上20万人未満	41 100.0	25 61.0	0 0.0	3 7.3	1 2.4	2 4.9	3 7.3	2 4.9	5 12.2
4) 20万人以上50万人未満	66 100.0	39 59.1	0 0.0	6 9.1	1 1.5	9 13.6	4 6.1	4 6.1	3 4.5
5) 50万人以上	123 100.0	89 72.4	0 0.0	2 1.6	0 0.0	15 12.2	4 3.3	4 3.3	9 7.3

問 13-2-1 ケガをした時の子供の年齢

本設問以下、問 13-2-5 までは、ケガをした時に同乗していた子供（最大 3 人まで）について質問しているため、ケガをしていない子供も母数に含まれている（母数=383）。

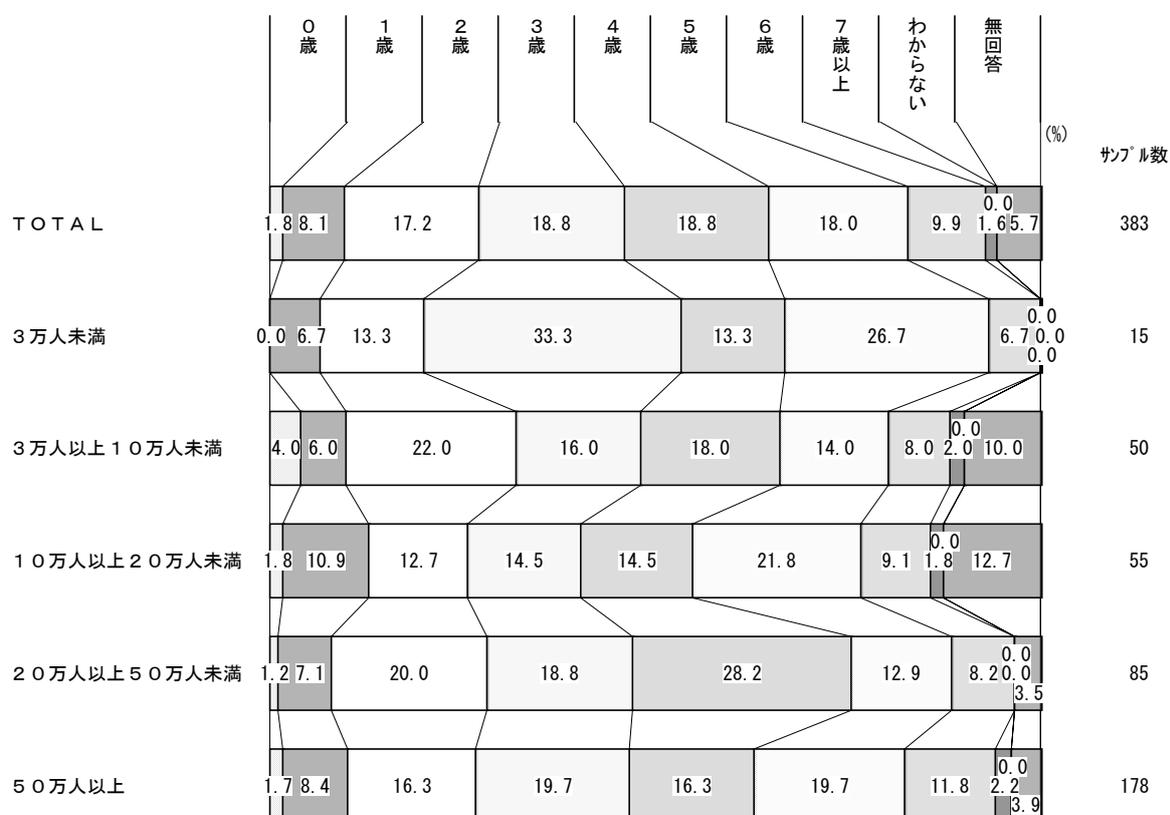


図 13-2-1 ケガをした時の子供の年齢

(1) 全体

ケガをした時の子供の年齢については、「3歳」及び「4歳」がそれぞれ 18.8%、「5歳」が 18.0%、「2歳」が 17.2%、「6歳」が 9.9%であった。

(2) 人口規模別

人口規模別に大きな差はみられない。

表 13-2-2 ケガをした時の子供の年齢

REPORT NO:0036	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	わからない	無回答	
2 段目 権%											
0002:人口規模											
0) TOTAL	383 100.0	7 1.8	31 8.1	66 17.2	72 18.8	72 18.8	69 18.0	38 9.9	6 1.6	0 0.0	22 5.7
1) 3万人未満	15 100.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	5 33.3	2 13.3	4 26.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	50 100.0	2 4.0	3 6.0	11 22.0	8 16.0	9 18.0	7 14.0	4 8.0	1 2.0	0 0.0	5 10.0
3) 10万人以上20万人未満	55 100.0	1 1.8	6 10.9	7 12.7	8 14.5	8 14.5	12 21.8	5 9.1	1 1.8	0 0.0	7 12.7
4) 20万人以上50万人未満	85 100.0	1 1.2	6 7.1	17 20.0	16 18.8	24 28.2	11 12.9	7 8.2	0 0.0	0 0.0	3 3.5
5) 50万人以上	178 100.0	3 1.7	15 8.4	29 16.3	29 16.3	35 19.7	29 16.3	35 19.7	21 11.8	4 2.2	7 3.9

問 13-2-2 ケガをした時の子供の同乗の形態

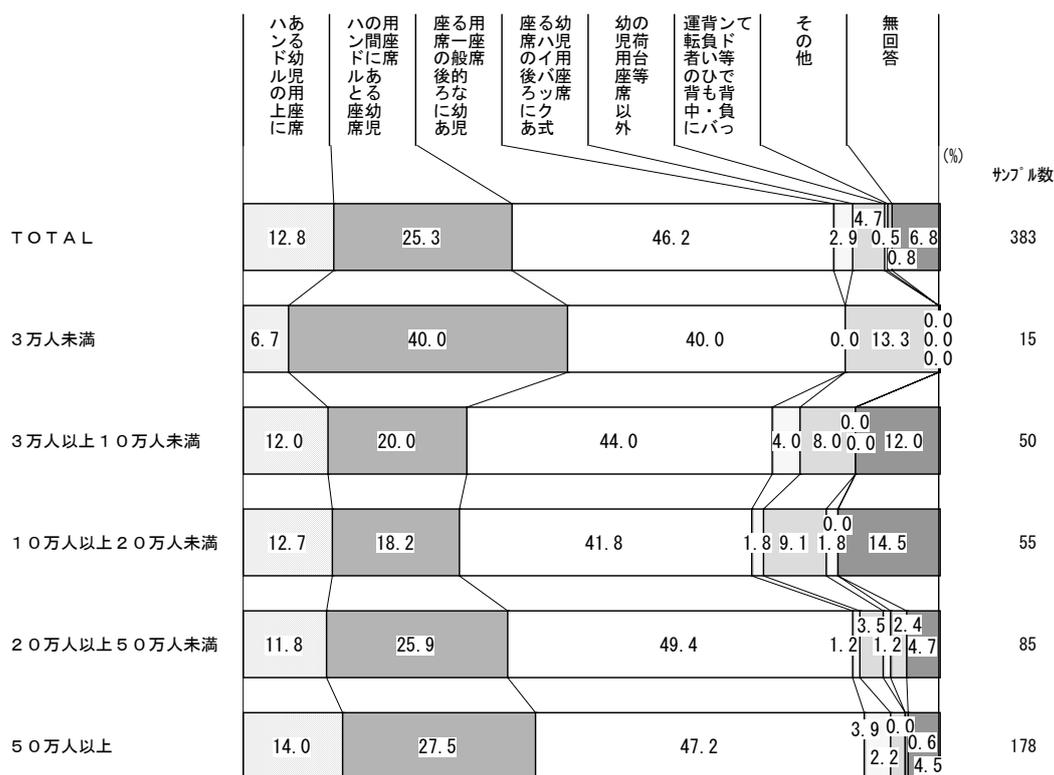


図 13-2-2 ケガをした時の子供の同乗の形態

(1) 全体

ケガをした時の子供の同乗の形態は、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が最も多く46.2%、次いで「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が25.3%、「ハンドルの上にある幼児用座席」が12.8%、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」が2.9%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が4～5割と多く、次いで、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が2～3割となっている。

表 13-2-2 ケガをした時の子供の同乗の形態

REPORT. NO:0040	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
1 段目 度数 2 段目 権%		ハンドルの上にある幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	幼児用座席以外の幼児用座席等	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	その他	無回答
0002:人口規模									
0) TOTAL	383 100.0	49 12.8	97 25.3	177 46.2	11 2.9	18 4.7	2 0.5	3 0.8	26 6.8
1) 3万人未満	15 100.0	1 6.7	6 40.0	6 40.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	50 100.0	6 12.0	10 20.0	22 44.0	2 4.0	4 8.0	0 0.0	0 0.0	6 12.0
3) 10万人以上20万人未満	55 100.0	7 12.7	10 18.2	23 41.8	1 1.8	5 9.1	1 1.8	0 0.0	8 14.5
4) 20万人以上50万人未満	85 100.0	10 11.8	22 25.9	42 49.4	1 1.2	3 3.5	1 1.2	2 2.4	4 4.7
5) 50万人以上	178 100.0	25 14.0	49 27.5	84 47.2	7 3.9	4 2.2	0 0.0	1 0.6	8 4.5

問 13-2-3 ケガの最も大きかった部分

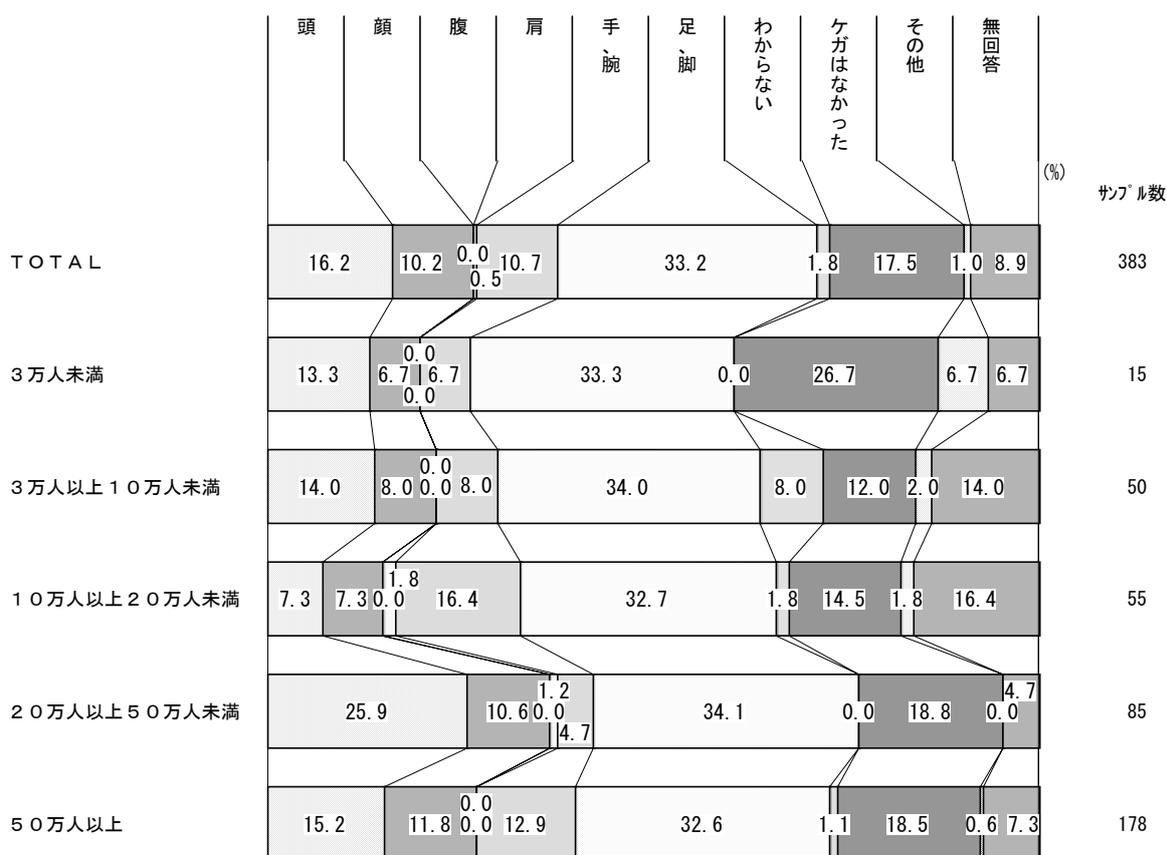


図 13-2-3 ケガの最も大きかった部分

(1) 全体

ケガの最も大きかった部分は、「足・脚」が33.2%（「ケガはなかった」という67人を除いた場合40.2%）、「頭」が16.2%（同19.6%）、「手・腕」が10.7%（同13.0%）、「顔」が10.2%（同12.3%）と続いている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「足・脚」との回答が3割程度と最も多くなっている。

表 13-2-3 ケガの最も大きかった部分

REPORT. NO: 0044	TOTAL	1 頭	2 顔	3 腹	4 肩	5 手・腕	6 足・脚	7 わからない	8 ケガはなかった	9 その他	10 無回答
1 段目 2 段目 度数 横%											
0002: 人口規模											
0) TOTAL	383 100.0	62 16.2	39 10.2	0 0.0	2 0.5	41 10.7	127 33.2	7 1.8	67 17.5	4 1.0	34 8.9
1) 3万人未満	15 100.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	5 33.3	0 0.0	4 26.7	1 6.7	1 6.7
2) 3万人以上10万人未満	50 100.0	7 14.0	4 8.0	0 0.0	0 0.0	4 8.0	17 34.0	4 8.0	6 12.0	1 2.0	7 14.0
3) 10万人以上20万人未満	55 100.0	4 7.3	4 7.3	0 0.0	1 1.8	9 16.4	18 32.7	1 1.8	8 14.5	1 1.8	9 16.4
4) 20万人以上50万人未満	85 100.0	22 25.9	9 10.6	0 0.0	1 1.2	4 4.7	29 34.1	0 0.0	16 18.8	0 0.0	4 4.7
5) 50万人以上	178 100.0	27 15.2	21 11.8	0 0.0	0 0.0	23 12.9	58 32.6	2 1.1	33 18.5	1 0.6	13 7.3

問 13-2-4 ケガの程度

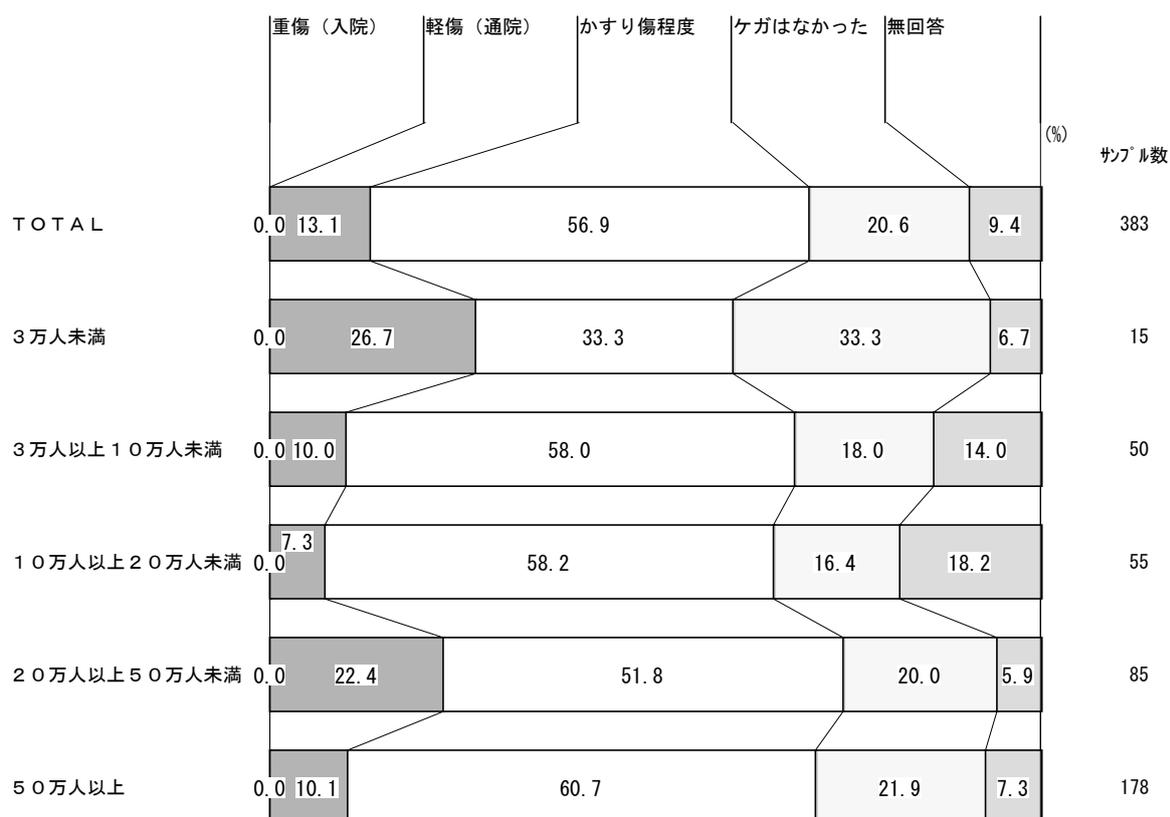


図 13-2-4 ケガの程度

(1) 全体

ケガの程度については、「かすり傷程度」が56.9%、「軽傷（通院）」が13.1%、「ケガはなかった」が20.6%であった。なお、「重傷（入院）」との回答はなかった。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、いずれの規模においても「かすり傷程度」との回答の割合が5~6割を占めている。

表 13-2-4 ケガの程度

REPORT. NO:0048	TOTAL	1 重傷（入院）	2 軽傷（通院）	3 かすり傷程度	4 ケガはなかった	5 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%						
0002:人口規模						
0) TOTAL	383 100.0	0 0.0	50 13.1	218 56.9	79 20.6	36 9.4
1) 3万人未満	15 100.0	0 0.0	4 26.7	5 33.3	5 33.3	1 6.7
2) 3万人以上10万人未満	50 100.0	0 0.0	5 10.0	29 58.0	9 18.0	7 14.0
3) 10万人以上20万人未満	55 100.0	0 0.0	4 7.3	32 58.2	9 16.4	10 18.2
4) 20万人以上50万人未満	85 100.0	0 0.0	19 22.4	44 51.8	17 20.0	5 5.9
5) 50万人以上	178 100.0	0 0.0	18 10.1	108 60.7	39 21.9	13 7.3

問 13-2-5 ケガをした時のヘルメットの着用の有無

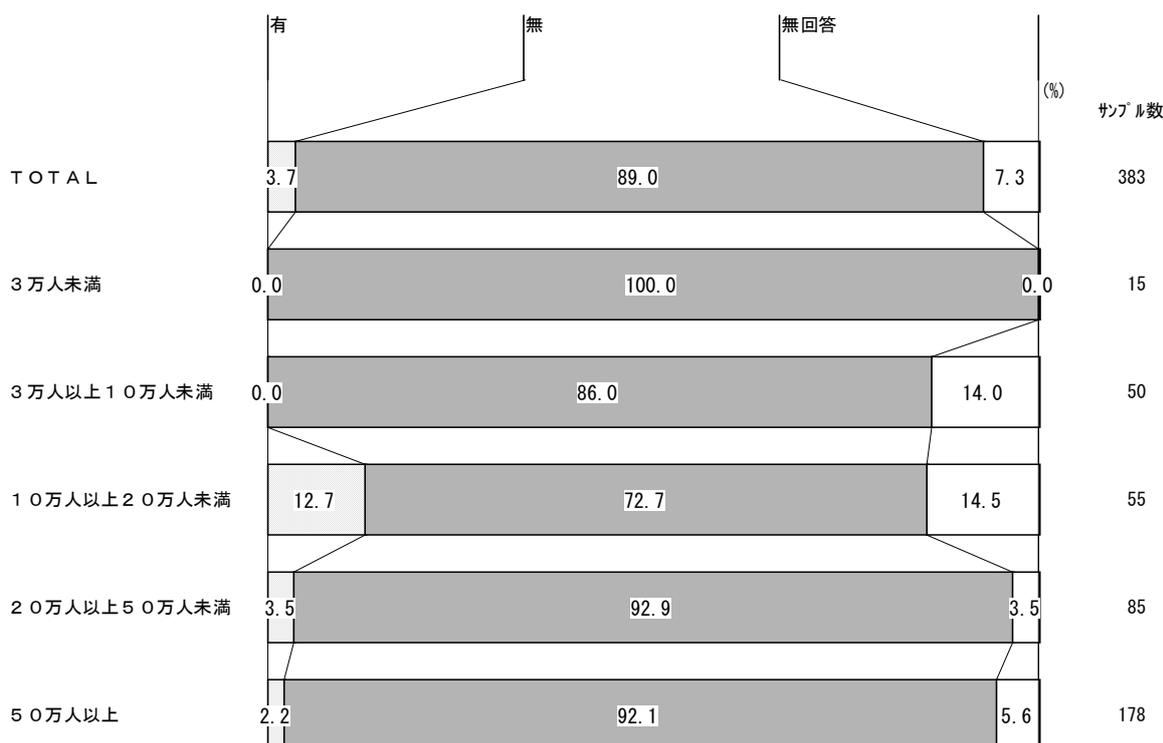


図 13-2-5 ケガをした時のヘルメットの着用の有無

(1) 全体

ケガをした時のヘルメットの着用の有無については、「無」が 89.0%と大半を占め、「有」は 3.7%であり、ほとんどが着用していなかった。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、ヘルメットを着用していたとの回答の割合は、「10 万人以上 20 万人未満」で 12.7%と他に比較して高くなっている。

表 13-2-5 ケガをした時のヘルメットの着用の有無

REPORT. NO:0052 1 段目 度数 2 段目 権%	TOTAL	1	2	3
		有	無	無回答
0002:人口規模				
0) TOTAL	383 100.0	14 3.7	341 89.0	28 7.3
1) 3万人未満	15 100.0	0 0.0	15 100.0	0 0.0
2) 3万人以上10万人未満	50 100.0	0 0.0	43 86.0	7 14.0
3) 10万人以上20万人未満	55 100.0	7 12.7	40 72.7	8 14.5
4) 20万人以上50万人未満	85 100.0	3 3.5	79 92.9	3 3.5
5) 50万人以上	178 100.0	4 2.2	164 92.1	10 5.6

問 14 ヘルメットの着用義務化についての所見

	ただちに義務化すべきである	将来的には義務化すべきである	義務化にはなじまない	その他	わからない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	19.7	33.0	28.9	2.0	12.0	4.4		6,486
3万人未満	19.0	37.1	24.7	1.6	13.7	3.9		819
3万人以上10万人未満	23.1	31.3	26.9	1.9	11.9	4.9		1,440
10万人以上20万人未満	18.4	32.1	29.4	2.1	13.4	4.7		1,018
20万人以上50万人未満	18.6	32.3	31.2	1.9	11.0	5.2		1,277
50万人以上	19.0	33.4	30.4	2.2	11.4	3.6		1,932

図 14 ヘルメットの着用義務化についての所見

(1) 全体

ヘルメットの着用義務化については、「ただちに義務化すべきである」が 19.7%、「将来的には義務化すべきである」が 33.0%、「義務化にはなじまない」が 28.9%と、義務化に賛成とする回答が半数以上となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、いずれの規模においても「ただちに義務化すべきである」との回答は 2 割弱～2 割強、「将来的には義務化すべきである」との回答が 3～4 割弱となっている。

「ただちに義務化すべきである」「将来的には義務化すべきである」を合わせた賛成派は、「3 万人未満」では 56.1%、「3 万人以上 10 万人未満」が 54.4%、「10 万人以上 20 万人未満」が 50.4%、「20 万人以上 50 万人未満」が 50.9%、「50 万人以上」は 52.4%となり、人口規模の小さい地域で比較的多くなっている。

一方、「義務化にはなじまない」との回答の割合は、人口規模の大きい地域で高くなっており、自転車の同乗頻度との関連性がみられる。

表 14 ヘルメットの着用義務化についての所見

REPORT. NO:0056	TOTAL	1 ただちに義務化すべきである	2 将来的には義務化すべきである	3 義務化にはなじまない	4 その他	5 わからない	6 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%							
0002:人口規模							
0) TOTAL	6,486 100.0	1,280 19.7	2,138 33.0	1,874 28.9	128 2.0	780 12.0	286 4.4
1) 3万人未満	819 100.0	156 19.0	304 37.1	202 24.7	13 1.6	112 13.7	32 3.9
2) 3万人以上10万人未満	1,440 100.0	333 23.1	450 31.3	387 26.9	27 1.9	172 11.9	71 4.9
3) 10万人以上20万人未満	1,018 100.0	187 18.4	327 32.1	299 29.4	21 2.1	136 13.4	48 4.7
4) 20万人以上50万人未満	1,277 100.0	237 18.6	412 32.3	398 31.2	24 1.9	140 11.0	66 5.2
5) 50万人以上	1,932 100.0	367 19.0	645 33.4	588 30.4	43 2.2	220 11.4	69 3.6

問 14-1 義務化の対象とすべき年齢層

本設問は、問 14 において「ただちに義務化すべきである」または「将来的には義務化すべきである」と回答した人を対象としている（母数=3,418）。

なお、集計に当たって、「その他」の回答内容を精査し、同様の回答が多かったものについて新たなカテゴリとして設定¹²し、集計した。

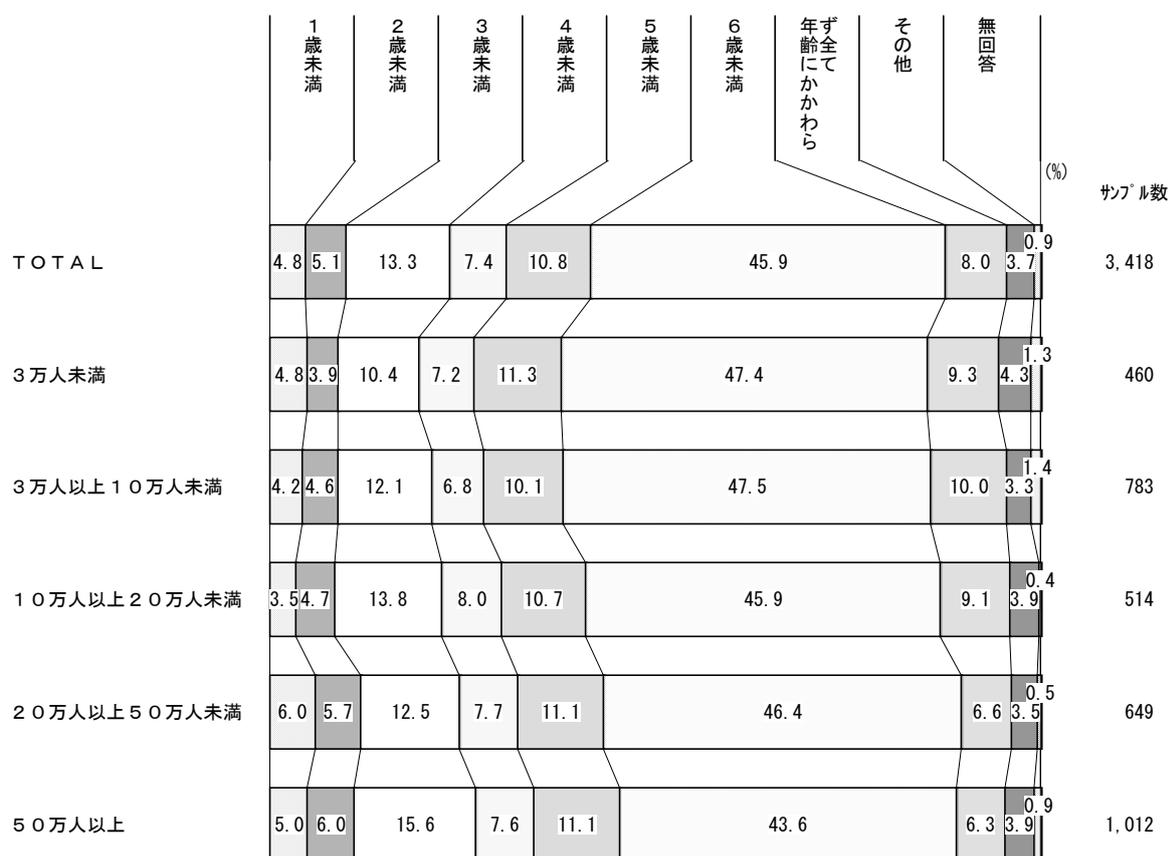


図 14-1 義務化の対象とすべき年齢層

(1) 全体

義務化の対象とすべき年齢層については、「6歳未満」が最も多く 45.9%、「3歳未満」が 13.3%、「5歳未満」が 10.8%、「年齢にかかわらず全て」が 8.0%、「4歳未満」が 7.4%と続いている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、人口規模の大きい地域ほど、対象とすべき年齢層を低くみており、「1歳未満」「2歳未満」「3歳未満」を合わせた回答の割合は、「3万人未満」が 19.1%であるのに対し、「50万人以上」では 26.6%となっており、7.5ポイントの開きがある。

¹² 「その他」の回答のうち「年齢にかかわらず同乗する子供すべて」を新たなカテゴリとして設定

表 14-1 義務化の対象とすべき年齢層

REPORT. NO:0060	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 段目 度数 2 段目 権%		1 歳未満	2 歳未満	3 歳未満	4 歳未満	5 歳未満	6 歳未満	年齢にかかわらず全て	その他	無回答
0002:人口規模										
0) TOTAL	3,418 100.0	163 4.8	176 5.1	453 13.3	254 7.4	370 10.8	1,568 45.9	275 8.0	128 3.7	31 0.9
1) 3 万人未満	460 100.0	22 4.8	18 3.9	48 10.4	33 7.2	52 11.3	218 47.4	43 9.3	20 4.3	6 1.3
2) 3 万人以上 10 万人未満	783 100.0	33 4.2	36 4.6	95 12.1	53 6.8	79 10.1	372 47.5	78 10.0	26 3.3	11 1.4
3) 10 万人以上 20 万人未満	514 100.0	18 3.5	24 4.7	71 13.8	41 8.0	55 10.7	236 45.9	47 9.1	20 3.9	2 0.4
4) 20 万人以上 50 万人未満	649 100.0	39 6.0	37 5.7	81 12.5	50 7.7	72 11.1	301 46.4	43 6.6	23 3.5	3 0.5
5) 50 万人以上	1,012 100.0	51 5.0	61 6.0	158 15.6	77 7.6	112 11.1	441 43.6	64 6.3	39 3.9	9 0.9

問 14-2 義務化にはなじまないと考える理由（複数回答）

本設問は、問 14 において「義務化にはなじまない」と回答した人を対象としている（母数=1,874）。

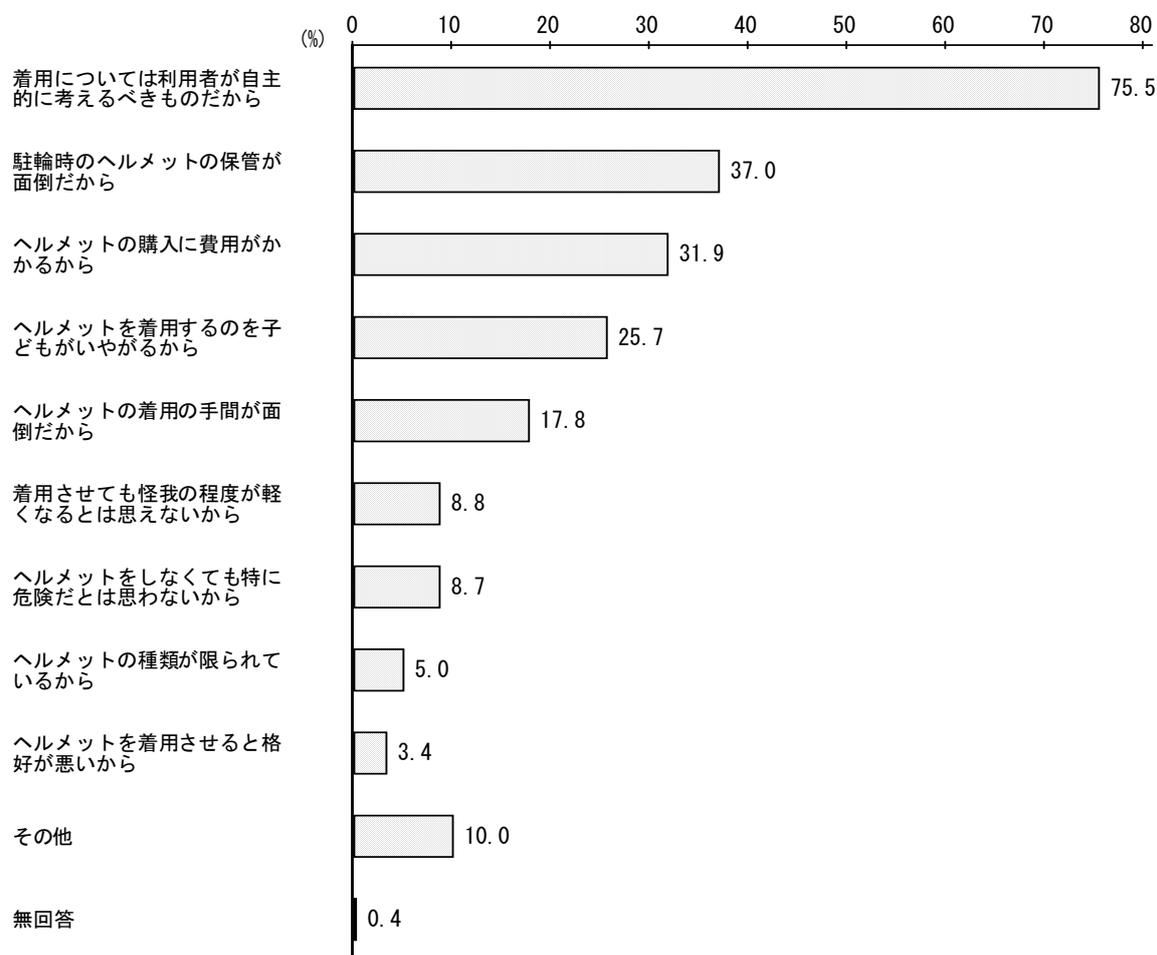


図 14-2 義務化にはなじまないと考える理由（複数回答）

（1）全体

ヘルメット着用の義務化にはなじまないと考える理由を聞いたところ、「着用については利用者が自主的に考えるべきものだから」が 75.5%と最も多く、「駐輪時のヘルメットの保管が面倒だから」が 37.0%、「ヘルメットの購入に費用がかかるから」が 31.9%、「ヘルメットを着用するのを子どもが嫌がるから」が 25.7%と続いている。

（2）人口規模別

人口規模別により差がある項目としては、「ヘルメット着用の手間が面倒だから」「駐輪時のヘルメットの保管が面倒だから」との回答があげられ、人口規模の大きいところほど割合が高くなっており、「3万人未満」と「50万人以上」とを比較するとそれぞれ 12ポイント以上の開きがある。

問 9 の「ヘルメットを着用させていない理由」とも関連しているが、人口規模の大きい地域ほどヘルメット着用に伴う手間を、負担と感じている傾向が強いことがうかがえる。

表 14-2 義務化にはなじまないと考える理由

REPORT.NO:0058	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1 段目 度数 2 段目 権%		着用については利用者が自主的に考えるべきものだから	ヘルメットをしなくても特に危険だとは思わないから	着用させても怪我の程度が軽くなるとは思えないから	ヘルメットの購入に費用がかかるから	ヘルメットの種類が限られているから	ヘルメットを着用させると格好が悪いから	ヘルメットを着用するのを子どもがいやがるから	ヘルメットの着用の手間が面倒だから	駐輪時のヘルメットの保管が面倒だから	その他	無回答
0002:人口規模												
0) TOTAL	1,874 100.0	1,414 75.5	163 8.7	164 8.8	598 31.9	94 5.0	64 3.4	482 25.7	333 17.8	693 37.0	188 10.0	7 0.4
1) 3万人未満	202 100.0	147 72.8	15 7.4	19 9.4	63 31.2	10 5.0	6 3.0	48 23.8	23 11.4	62 30.7	15 7.4	1 0.5
2) 3万人以上10万人未満	387 100.0	295 76.2	21 5.4	38 9.8	116 30.0	22 5.7	17 4.4	101 26.1	49 12.7	111 28.7	43 11.1	1 0.3
3) 10万人以上20万人未満	299 100.0	237 79.3	23 7.7	24 8.0	98 32.8	15 5.0	6 2.0	93 31.1	50 16.7	109 36.5	32 10.7	1 0.3
4) 20万人以上50万人未満	398 100.0	296 74.4	38 9.5	40 10.1	128 32.2	20 5.0	10 2.5	100 25.1	72 18.1	157 39.4	37 9.3	2 0.5
5) 50万人以上	588 100.0	439 74.7	66 11.2	43 7.3	193 32.8	27 4.6	25 4.3	140 23.8	139 23.6	254 43.2	61 10.4	2 0.3

問 15 自転車に子供を同乗させることの是非

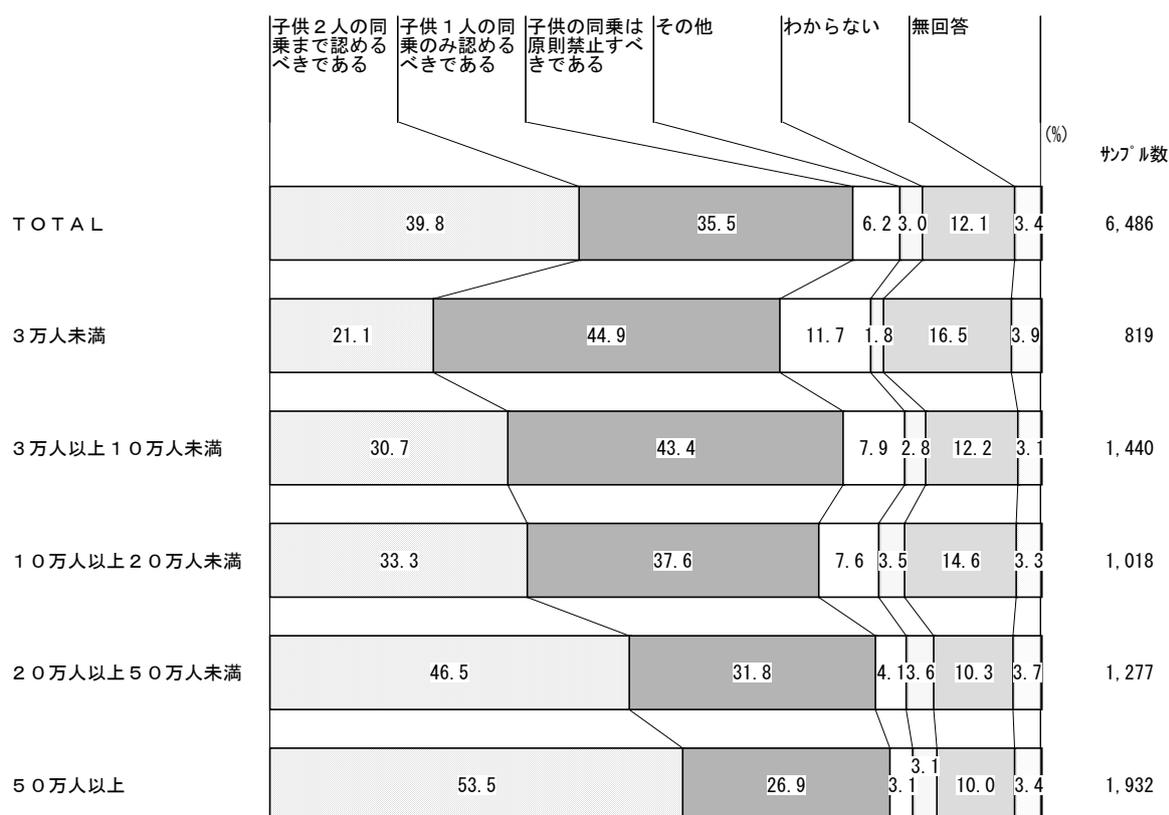


図 15 自転車に子供を同乗させることの是非

(1) 全体

自転車に子供を同乗させることの是非については、「子供2人の同乗まで認めるべき」が39.8%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が35.5%、「子供の同乗は原則禁止すべき」が6.2%であり、同乗を認めるべきと考える人が圧倒的に多くなっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「3万人未満」では「子供2人の同乗まで認めるべき」が21.1%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が44.9%と、1人の同乗を認めるべきとの回答の割合の方が高いが、規模が大きくなるにつれ双方の比率は逆転しており、「50万人以上」では「子供2人の同乗まで認めるべき」が53.5%、「子供1人の同乗のみ認めるべきである」が28.9%と、2人の同乗を認めるべきとの回答の割合が高くなっている。

また、「子供の同乗は原則禁止すべき」との回答は、人口規模の小さいところほど回答割合が高く、「3万人未満」が11.7%であるのに対し、「50万人以上」では3.1%と低くなっている。

表 15 自転車に子供を同乗させることの是非

REPORT. NO:0062	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数 2 段目 横%		子供 2 人の 同乗まで認 めるべきで ある	子供 1 人の 同乗のみ認 めるべきで ある	子供の同乗 は原則禁止 すべきであ る	その他	わからない	無回答
0002:人口規模							
0) TOTAL	6,486 100.0	2,582 39.8	2,301 35.5	399 6.2	197 3.0	785 12.1	222 3.4
1) 3万人未満	819 100.0	173 21.1	368 44.9	96 11.7	15 1.8	135 16.5	32 3.9
2) 3万人以上10万人未満	1,440 100.0	442 30.7	625 43.4	114 7.9	40 2.8	175 12.2	44 3.1
3) 10万人以上20万人未満	1,018 100.0	339 33.3	383 37.6	77 7.6	36 3.5	149 14.6	34 3.3
4) 20万人以上50万人未満	1,277 100.0	594 46.5	406 31.8	52 4.1	46 3.6	132 10.3	47 3.7
5) 50万人以上	1,932 100.0	1,034 53.5	519 26.9	60 3.1	60 3.1	194 10.0	65 3.4

問 15-1 子供の自転車同乗を認めるべきと考える理由（複数回答）

本設問及び問 15-2 は、問 15 において「子供 2 人の同乗まで認めるべき」「子供 1 人の同乗のみ認めるべき」と回答した人を対象として集計している（母数=4,883）。

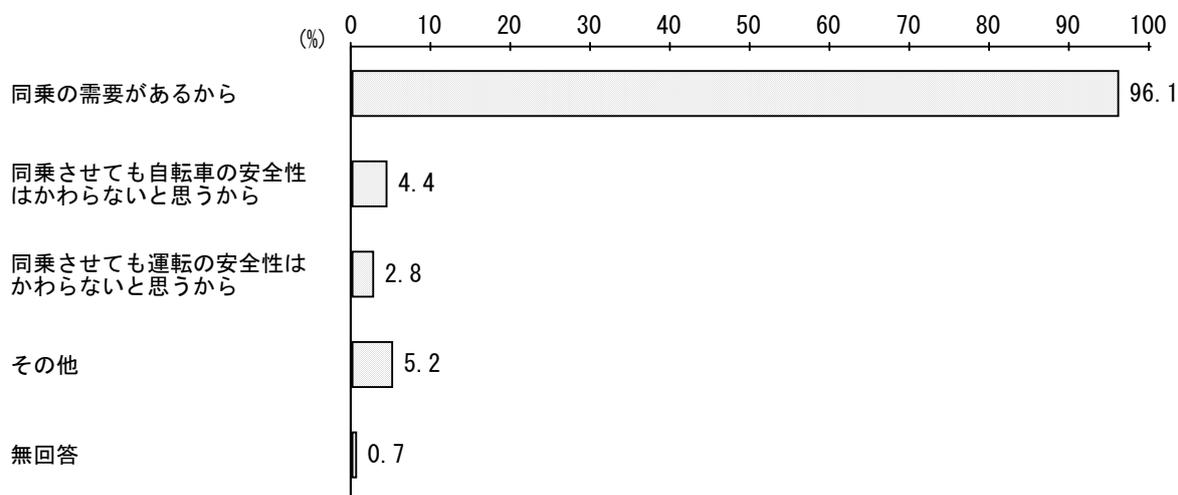


図 15-1 子供の自転車同乗を認めるべきと考える理由（複数回答）

(1) 全体

自転車への子供の同乗を認めるべきと考える理由を聞いたところ、「同乗の必要があるから」が 96.1%とほとんどを占め、「同乗させても自転車の安全性は変わらないと思うから」が 4.4%、「同乗させても運転の安全性は変わらないと思うから」は 2.8%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別には、特段の差はみられない。

表 15-1 子供の自転車同乗を認めるべきと考える理由

REPORT. NO:0060 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4	5
		同乗の必要があるから	同乗させても自転車の安全性はかわらないと思うから	同乗させても運転の安全性はかわらないと思うから	その他	無回答
0002:人口規模						
0) TOTAL	4,883 100.0	4,693 96.1	216 4.4	138 2.8	253 5.2	32 0.7
1) 3 万人未満	541 100.0	514 95.0	23 4.3	11 2.0	27 5.0	2 0.4
2) 3 万人以上 10 万人未満	1,067 100.0	1,013 94.9	48 4.5	31 2.9	60 5.6	6 0.6
3) 10 万人以上 20 万人未満	722 100.0	696 96.4	35 4.8	18 2.5	35 4.8	4 0.6
4) 20 万人以上 50 万人未満	1,000 100.0	961 96.1	41 4.1	28 2.8	56 5.6	9 0.9
5) 50 万人以上	1,553 100.0	1,509 97.2	69 4.4	50 3.2	75 4.8	11 0.7

問 15-2 同乗容認に当たり必要な安全対策（複数回答）

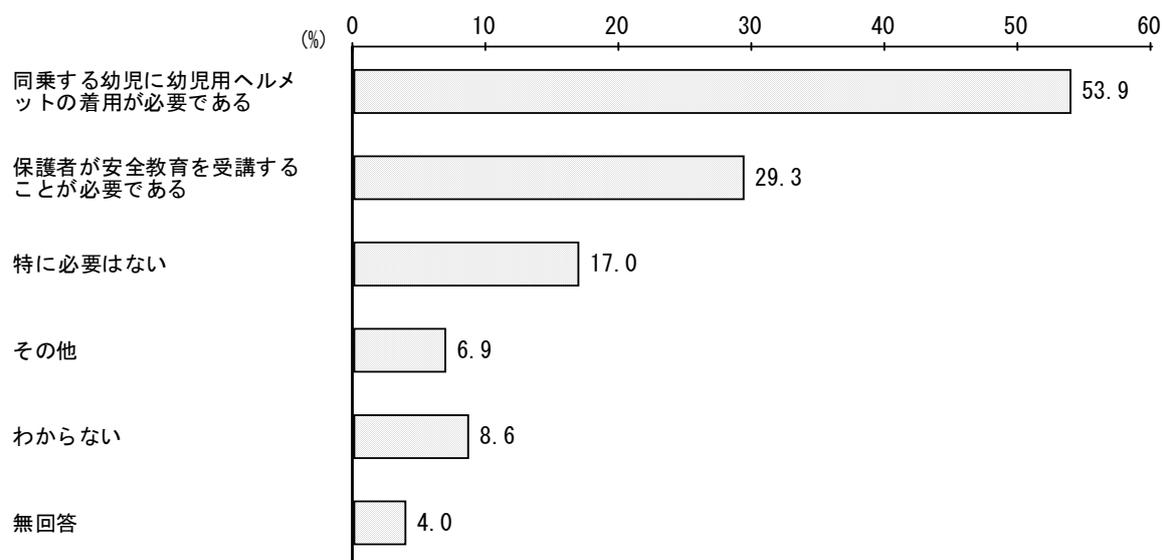


図 15-2 同乗容認に当たり必要な安全対策（複数回答）

（1）全体

子供の同乗を認めるに当たり必要な安全対策については、「同乗する幼児に幼児用ヘルメットの着用が必要である」が 53.9%、「保護者が安全教育を受講することが必要である」が 29.3%となっており、「特に必要はない」との回答は 17.0%であった。

（2）人口規模別

人口規模別にみると、「同乗する幼児に幼児用ヘルメットの着用が必要である」との回答は、「3万人未満」が 60.8%であるのに対し、「50万人以上」では 50.9%となっており、同乗容認に当たっての安全対策として、ヘルメット着用の必要性をあげる割合は、人口規模の小さいところほど高くなっている。

表 15-2 同乗容認に当たり必要な安全対策

REPORT. NO:0061	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数		同乗する幼児に幼児用ヘルメットの着用が必要である	保護者が安全教育を受講することが必要である	特に必要はない	その他	わからない	無回答
2 段目 横%							
0002:人口規模							
0) TOTAL	4,883 100.0	2,633 53.9	1,431 29.3	829 17.0	336 6.9	421 8.6	193 4.0
1) 3万人未満	541 100.0	329 60.8	183 33.8	66 12.2	30 5.5	33 6.1	25 4.6
2) 3万人以上10万人未満	1,067 100.0	617 57.8	325 30.5	168 15.7	75 7.0	66 6.2	48 4.5
3) 10万人以上20万人未満	722 100.0	387 53.6	241 33.4	113 15.7	49 6.8	62 8.6	22 3.0
4) 20万人以上50万人未満	1,000 100.0	510 51.0	274 27.4	203 20.3	60 6.0	84 8.4	42 4.2
5) 50万人以上	1,553 100.0	790 50.9	408 26.3	279 18.0	122 7.9	176 11.3	56 3.6

問 15-3 子供の同乗を認めるべきでないとする理由（複数回答）

本設問は、問 15 において「子供の同乗は原則禁止すべき」と回答した人を対象としている（母数=399）。

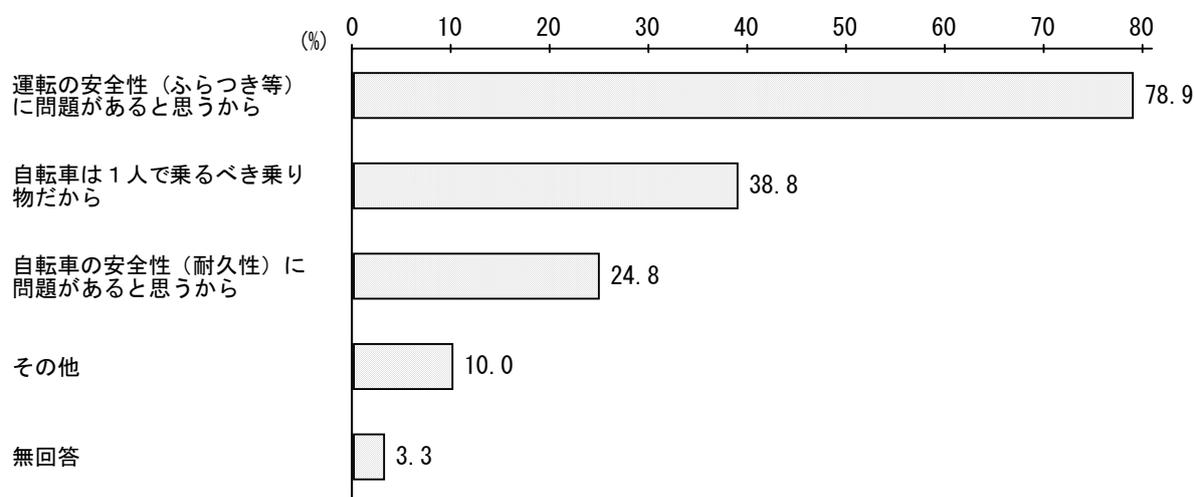


図 15-3 子供の同乗を認めるべきでないとする理由（複数回答）

（1）全体

自転車への子供の同乗を認めるべきでないとする理由については、「運転の安全性（ふらつき等）に問題があると思うから」が最も多く 78.9%、「自転車は1人で乗るべき乗り物だから」が 38.8%、「自転車の安全性（耐久性）に問題があると思うから」が 24.8%となっている。

（2）人口規模別

人口規模別にみると、いずれの人口規模においても「運転の安全性（ふらつき等）に問題があると思うから」との回答が7～8割あげられている。

一方、「自転車は1人で乗るべき乗り物だから」との回答は人口規模により差がみられ、人口規模の小さいところほど回答の割合が高い傾向にある。

表 15-3 子供の同乗を認めるべきでないとする理由

REPORT. NO:0062	TOTAL	1	2	3	4	5
1 段目 度数 2 段目 横%		自転車は1人で乗るべき乗り物だから	自転車の安全性（耐久性）に問題があると思うから	運転の安全性（ふらつき等）に問題があると思うから	その他	無回答
0002:人口規模						
0) TOTAL	399 100.0	155 38.8	99 24.8	315 78.9	40 10.0	13 3.3
1) 3万人未満	96 100.0	44 45.8	22 22.9	75 78.1	5 5.2	2 2.1
2) 3万人以上10万人未満	114 100.0	53 46.5	27 23.7	92 80.7	12 10.5	0 0.0
3) 10万人以上20万人未満	77 100.0	24 31.2	22 28.6	64 83.1	10 13.0	3 3.9
4) 20万人以上50万人未満	52 100.0	20 38.5	15 28.8	40 76.9	8 15.4	4 7.7
5) 50万人以上	60 100.0	14 23.3	13 21.7	44 73.3	5 8.3	4 6.7

問 16 幼児用座席、ヘルメット等についての意見・要望等

幼児用座席について

- 価格が様々で安価なものもあるが、安全性が疑問。
- 幼児用座席のネジやボルト、ナットの数を増やし、外れにくくするなどの工夫が必要。
- 幼児用座席付の自転車は子供を同乗するには安全と思うが値段が高いのが難点。
- ハンドルと座席の間につける幼児用座席を使うと、子供が大きくなるにつれて降ろしにくいのと前が見にくくなるので危険を感じる。
- ハンドルの上にある幼児用座席を使用している。ふらつかず、安定感が高いが、前に誰も乗せずに後ろにのみ乗せると大変安定性が悪くなり危険。

ヘルメットについて

- 自動車用のチャイルドシートのように、もっと多くの製品を作ってもらってからでないと、選択の幅が小さい。また、一定の安全基準等を整備してからヘルメットの着用義務化をすべき。
- 今迄、自転車の同乗での事故が何回か起きているのを聞くとその時点でヘルメット着用義務化をすべき。
- 子供のためにはリスクは出来るだけ取り除くのは親の責任であり、義務として負わせなくてもよい。
- 距離等に関係なく一律にヘルメット着用義務を課すのには反対。
- ヘルメットが義務化になったら、一番困るのは保管。電車でもっていくわけにもいかない。
- 義務化するのであれば子供だけでなく、自転車に乗る人全てを対象とすべき。
- 着用していない場合の危険性のアピールをすべき。

子供の同乗について

- 親の自己責任の下で同乗させているのだから規制する必要は無い。
- 同乗の利便性を考えるとあまり義務化など厳しくしない方がよい。保護者が自ら危険度を考え、責任を持ってその上で同乗させるかさせないか判断して行動すれば問題は無い。
- 同乗させるに当たって少しでも不安等がある人は、乗るべきではない。車等運転者からみてふらつき運転は迷惑。子供 1 人、2 人同乗に関係なくその他に荷物を沢山乗せれば危険。

シートベルトについて

- シートベルトをしていると、転倒した時に子供が自ら身をかかわすことができず、そのまま自転車と倒れてしまい、かえって危険ではないか。
- シートベルトがついているが、耐久性に欠けているものが多いので、もっとしっかりしたものをつけてほしい。
- チャイルドシートのように肩からシートベルトがあるものの方が、身動きがとり難く落ち難くなっていい。バランスもとりやすくなるのではないか。

自転車本体の機能、安全性について

- 走行中より、乗せる時、降ろす時のぐらつきがなくなればと思う。スタンドの安定性の向上が必要。乗せる時前輪が固定できたらと思う。
- 前のハンドル部分がぐらつかないよう工夫された自転車の開発。
- すべりにくいタイヤの開発。
- ふらつきの不安がある為、子供を後部に乗せ前かごが軽い時や前に子供を乗せた時等、状況に応じて重心を変えられたりできる物（自転車）があつたら良いと思う。
- 自転車自体を子供を乗せることを想定したそれなりの強度や安全性を持ったものとして改良して欲しい。

道路の改良、自転車専用道路の整備等について

- 自転車専用道路の整備が不可欠。又、自転車にもある程度法定ルールを作成し違反者にはそれなりの処罰も必要。（右側通行、乗車中の携帯電話の使用禁止等）
- デコボコ道路や車道から歩道へ登る時の段差がないように、舗装道路を整備して欲しい。2輪車（自転車）の通行区分があればいいと思う。

国や市町村の支援の必要性について

- チャイルドシートやジュニアシートなどの購入もあるので自転車にもヘルメットを義務付けられると経済的にも負担が大きい。無料で貸し出して頂ければ着用したい。
- 国が助成金を出し小額で購入できることや、駐輪時の保管場所を作ってもらえるとよい。
- 義務化するというならば、購入時の助成をするなどの利用者の負担軽減も組み込んだ考えが必要なのでは。
- 市町村で無料で借りられるようにする（期間限定で使用するものなので）等、何らかの対策を取っていかないと普及しないのではないかと思う

その他

- 自転車は手軽だからよいのであって、ヘルメットの義務化をすると、いつでもどこでもすぐ乗れるという訳にはいかならないのではないか。
- 事故件数や状況についての情報提供を求める。
- ヘルメット着用することにより、安全性がどの程度上がるかなどが明確になれば、着用する人も増えるのではないか。
- 年に一度、無料で自転車の安全点検を受けられる制度を作ってほしい。
- 子供を2人乗せても安定感のある自転車を期間限定でレンタルできるとよい。
- 通園・通学時の安全確保は基本的には自己責任であるが行政側の子育て支援として安全啓蒙には、なんらかの活動が必要。
- 幼児用座席とヘルメットのセット販売をしてほしい。
- 安全教育を実施するのであれば、自転車を購入する人全員にすべき。

問 17 自動車・オートバイ・原動機付自転車などの運転免許保有状況

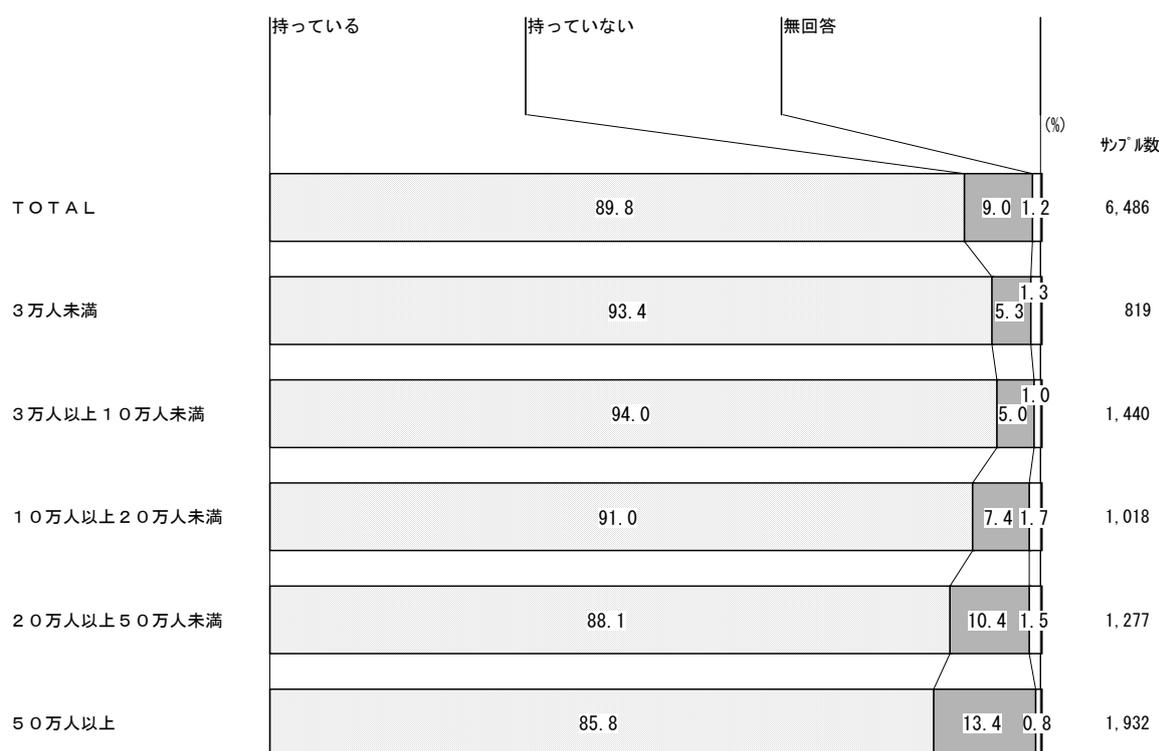


図 17 自動車・オートバイ・原動機付自転車などの運転免許保有状況

(1) 全体

自転車、オートバイ、原動機付自転車などの運転免許の保有状況は、「持っている」が 89.8%、と約 9 割を占め、「持っていない」は 9.0%となっている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、自転車、オートバイ、原動機付自転車などの運転免許の保有率は、「3 万人以上 10 万人未満」「3 万人未満」「10 万人以上 20 万人未満」「20 万人以上 50 万人未満」「50 万人以上」の順となっており、概ね人口規模の小さいところの保有率が高くなっている。

表 17 自動車・オートバイ・原動機付自転車などの運転免許保有状況

REPORT. NO:0063	TOTAL	1 持っている	2 持っていない	3 無回答
1 段目 度数				
2 段目 横%				
0002:人口規模				
0) TOTAL	6,486 100.0	5,827 89.8	582 9.0	77 1.2
1) 3万人未満	819 100.0	765 93.4	43 5.3	11 1.3
2) 3万人以上10万人未満	1,440 100.0	1,353 94.0	72 5.0	15 1.0
3) 10万人以上20万人未満	1,018 100.0	926 91.0	75 7.4	17 1.7
4) 20万人以上50万人未満	1,277 100.0	1,125 88.1	133 10.4	19 1.5
5) 50万人以上	1,932 100.0	1,658 85.8	259 13.4	15 0.8

問18 子供を自転車に同乗させるようになってからの期間

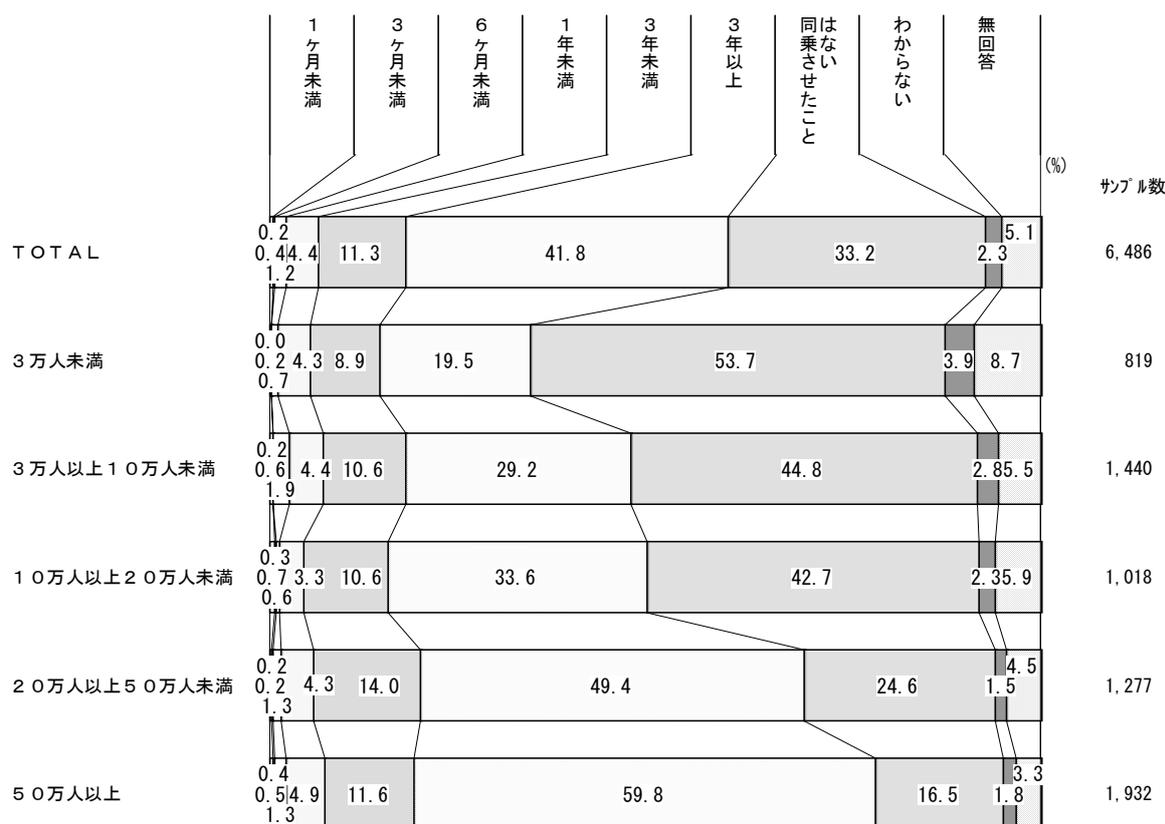


図 18 子供を自転車に同乗させるようになってからの期間

(1) 全体

子供を自転車に同乗させるようになってからの期間については、「3年以上」が 41.8%、「3年未満」が 11.3%、「1年未満」が 4.4%、「6ヶ月未満」が 1.2%となっている。

一方、「同乗させたことはない」が 33.2%と約 1/3 を占めている。

(2) 人口規模別

人口規模別にみると、「3年以上」との回答は人口規模の大きいところほど割合が高くなっており、「3万人未満」が 19.5%であるのに対し、「50万人以上」では 59.8%と約 3 倍の開きがある。

一方、「同乗させたことはない」との回答は、「3万人未満」が 53.7%であるのに対し、「50万人以上」では 16.5%となっており、人口規模の小さいところほど同乗させたことがないとの回答が多くなっている。

表 18 子供を自転車に同乗させるようになってからの期間

REPORT. NO: 0064 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	3年未満	3年以上	同乗させた ことはない	わからない	無回答
0002: 人口規模										
0) TOTAL	6,486 100.0	29 0.4	16 0.2	81 1.2	283 4.4	736 11.3	2,708 41.8	2,153 33.2	149 2.3	331 5.1
1) 3万人未満	819 100.0	2 0.2	0 0.0	6 0.7	35 4.3	73 8.9	160 19.5	440 53.7	32 3.9	71 8.7
2) 3万人以上10万人未満	1,440 100.0	8 0.6	3 0.2	28 1.9	64 4.4	152 10.6	420 29.2	645 44.8	41 2.8	79 5.5
3) 10万人以上20万人未満	1,018 100.0	7 0.7	3 0.3	6 0.6	34 3.3	108 10.6	342 33.6	435 42.7	23 2.3	60 5.9
4) 20万人以上50万人未満	1,277 100.0	3 0.2	3 0.2	16 1.3	55 4.3	179 14.0	631 49.4	314 24.6	19 1.5	57 4.5
5) 50万人以上	1,932 100.0	9 0.5	7 0.4	25 1.3	95 4.9	224 11.6	1,155 59.8	319 16.5	34 1.8	64 3.3

Ⅲ. クロス集計結果

1. 自転車の子供との同乗状況（問1）×同乗させる子供の年齢（問6-1）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	わからない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	1.3	7.0	12.1	13.0	22.5	24.2	16.9	0.0	0.9	2.0		4,742
1人を同乗させる（2人乗）	0.6	4.5	8.9	10.9	24.2	28.2	19.6	0.1	0.7	2.3		2,977
2人を同乗させる（3人乗）	2.3	11.2	17.2	17.0	19.6	17.7	12.7	0.0	1.1	1.4		1,699
3人を同乗させる（4人乗）	9.1	10.6	24.2	7.6	21.2	12.1	6.1	0.0	3.0	6.1		66

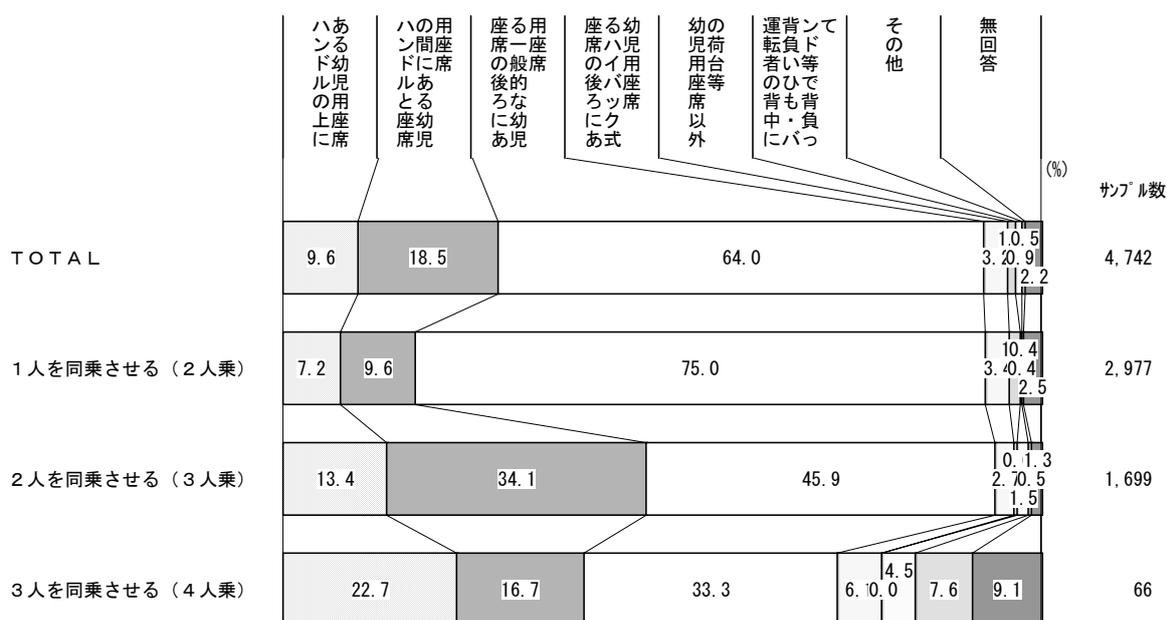
自転車に同乗させる子供の年齢を自転車の同乗状況別にみると、「1人を同乗させる」場合は「4歳」が24.2%、「5歳」が28.2%、「6歳」が19.6%と年齢の高い場合が多くなっている。

「2人を同乗させる」場合は「1歳」～「6歳」までが、それぞれ10%～20%程度となっており、各年齢に分散している。

「3人を同乗させる」場合は「0歳」が9.1%、「1歳」が10.6%と、乳児を同乗させる場合が多くなっており、0歳～3歳で半数を占めている。

REPORT NO:0001	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	わからない	無回答
2 段目 権%											
0001:問1 昨年1年間の幼児の自転車同乗状況											
0) TOTAL	4,742	64	330	573	618	1,067	1,147	803	42	2	96
	100.0	1.3	7.0	12.1	13.0	22.5	24.2	16.9	0.9	0.0	2.0
1) 1人を同乗させる（2人乗）	2,977	19	133	265	325	720	839	584	21	2	69
	100.0	0.6	4.5	8.9	10.9	24.2	28.2	19.6	0.7	0.1	2.3
2) 2人を同乗させる（3人乗）	1,699	39	190	292	288	333	300	215	19	0	23
	100.0	2.3	11.2	17.2	17.0	19.6	17.7	12.7	1.1	0.0	1.4
3) 3人を同乗させる（4人乗）	66	6	7	16	5	14	8	4	2	0	4
	100.0	9.1	10.6	24.2	7.6	21.2	12.1	6.1	3.0	0.0	6.1

2. 自転車の子供との同乗状況（問1）×自転車の子供の同乗形態（問6-2）



自転車の子供との同乗形態を自転車の同乗状況別にみると、「1人を同乗させる」場合は「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が75.0%を占め、それ以外の場所は10%未満となっている。

「2人を同乗させる」場合は「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が最も多く45.9%、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が34.1%、「ハンドルの上にある幼児用座席」が13.4%となっている。

「3人を同乗させる」場合は、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が33.3%、「ハンドルの上にある幼児用座席」が22.7%、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が16.7%となっている。

REPORT. NO: 0002	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8
1 段目 2 段目	度数 %	ハンドルの上にある幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	幼児用座席以外の荷物等	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	その他	無回答
0001:問1	昨年1年間の幼児の自転車同乗状況								
0) TOTAL	4,742 100.0	457 9.6	876 18.5	3,033 64.0	150 3.2	57 1.2	41 0.9	26 0.5	102 2.2
1) 1人を同乗させる（2人乗）	2,977 100.0	214 7.2	286 9.6	2,232 75.0	100 3.4	47 1.6	12 0.4	12 0.4	74 2.5
2) 2人を同乗させる（3人乗）	1,699 100.0	228 13.4	579 34.1	779 45.9	46 2.7	10 0.6	26 1.5	9 0.5	22 1.3
3) 3人を同乗させる（4人乗）	66 100.0	15 22.7	11 16.7	22 33.3	4 6.1	0 0.0	3 4.5	5 7.6	6 9.1

なお、「2人を同乗させる」「3人を同乗させる」場合の同乗形態の組み合わせについては、次頁の表のとおり（組み合わせについては順不同）。

2人同乗パターンでは、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」と「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」の組み合わせが60.6%と最も多く、次いで、「ハンドルの上にある幼児用座席」と「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」の組み合わせが26.2%となっており、それ以外の同乗形態はいずれも5%未満となっている。

3人同乗パターンでは、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」及び「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」の組み合わせと、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」及び「運転者の背

に背負いひも・バンド等で背負って」の組み合わせが、それぞれ 14.3%となっているが、他は少数で多様な同乗形態となっている。

2人同乗の場合の同乗形態パターン		件数	割合
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	490	60.6%
ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	212	26.2%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	26	3.2%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	23	2.8%
ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	18	2.2%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	7	0.9%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	幼児用座席以外の荷台等	5	0.6%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	4	0.5%
ハンドルの上にある幼児用座席	ハンドルの上にある幼児用座席	3	0.4%
ハンドルの上にある幼児用座席	幼児用座席以外の荷台等	3	0.4%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	その他	3	0.4%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	その他	3	0.4%
幼児用座席以外の荷台等	幼児用座席以外の荷台等	2	0.2%
ハンドルの上にある幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	1	0.1%
ハンドルの上にある幼児用座席	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	1	0.1%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	1	0.1%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	1	0.1%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	幼児用座席以外の荷台等	1	0.1%
運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	1	0.1%
その他	その他	1	0.1%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	無回答	3	0.4%
ハンドルの上にある幼児用座席	無回答	1	0.1%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	無回答	1	0.1%
無回答	無回答	3	0.4%
合 計		809	100.0%

3人同乗の場合の同乗形態パターン			件数	割合
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	4	14.3%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	4	14.3%
ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	無回答	3	10.7%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	その他	3	10.7%
ハンドルの上にある幼児用座席	その他	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	2	7.1%
運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	2	7.1%
ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	その他	1	3.6%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	ハンドルの上にある幼児用座席	1	3.6%
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	幼児用座席以外の荷台等	1	3.6%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	ハンドルと座席の間にある幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	1	3.6%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	座席の後ろにある一般的な幼児用座席	1	3.6%
運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	ハンドルの上にある幼児用座席	座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	1	3.6%
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	無回答	無回答	3	10.7%
無回答	無回答	無回答	1	3.6%
合 計			28	100.0%

3. 自転車の子供との同乗状況（問1）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）

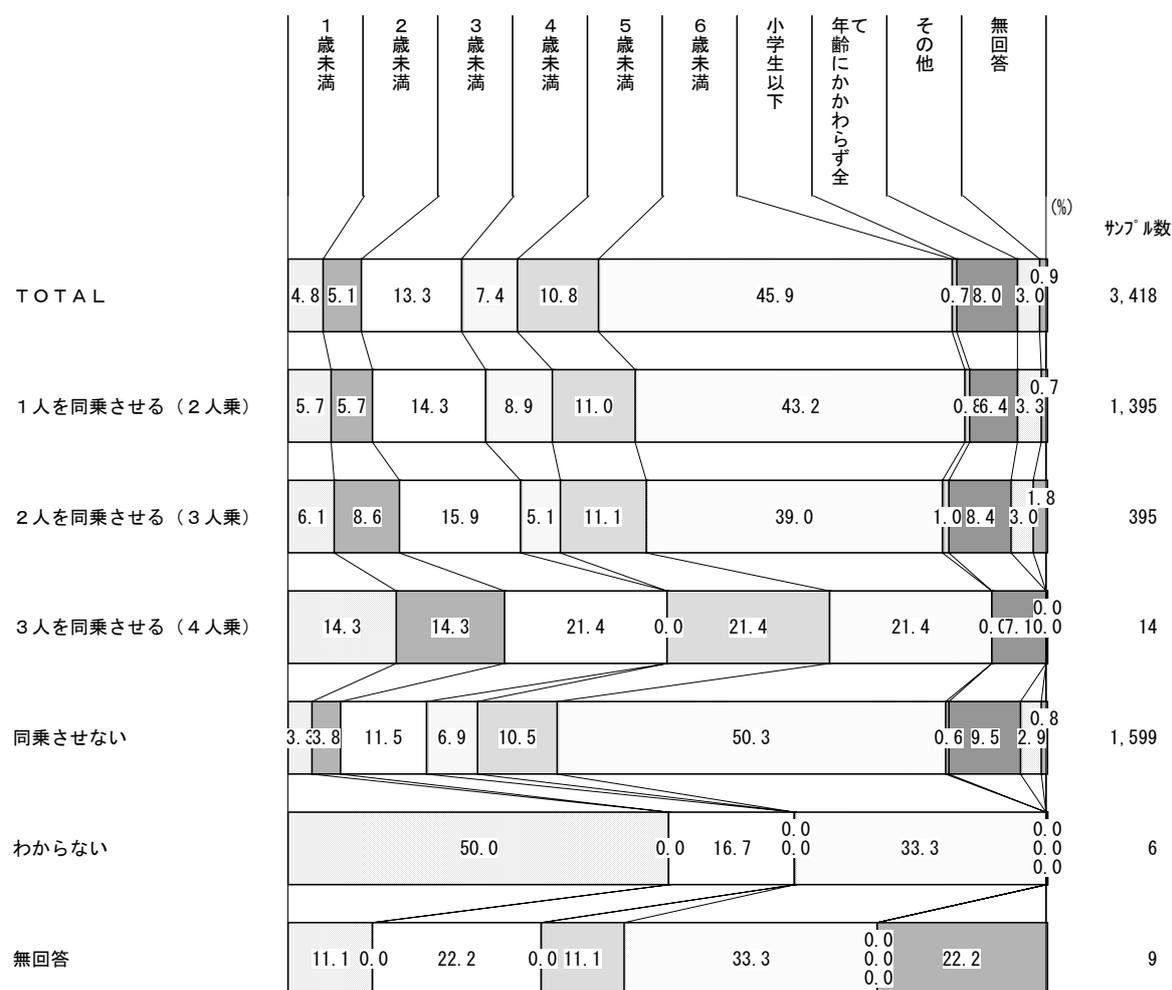
	ただちに義務化すべきである	将来的には義務化すべきである	義務化にはなじまない	その他	わからない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	19.7	33.0	28.9	2.0	12.0	4.4		6,486
1人を同乗させる（2人乗）	15.2	34.6	33.3	1.9	10.6	4.3		2,801
2人を同乗させる（3人乗）	14.5	31.8	37.2	2.1	10.7	3.8		853
3人を同乗させる（4人乗）	25.9	25.9	40.7	0.0	7.4	0.0		27
同乗させない	26.0	32.1	21.7	2.0	13.8	4.4		2,750
わからない	29.4	5.9	35.3	0.0	23.5	5.9		17
無回答	10.5	13.2	26.3	0.0	18.4	31.6		38

ヘルメットの着用義務化について、自転車の同乗状況別にみると、「義務化にはなじまない」との回答は、「1人を同乗させる」が33.3%、「2人を同乗させる」が37.2%、「3人を同乗させる」が40.7%となっており、同乗の人数が多い人ほど「義務化にはなじまない」とする割合が高くなっている。

また、「同乗させない」との回答の場合は、「ただちに義務化すべき」が26.0%、「将来的には義務化すべき」が32.1%であり、義務化に賛成する割合は合わせて58.1%と高くなっている。

REPORT. NO:0023	TOTAL	1 ただちに義務化すべきである	2 将来的には義務化すべきである	3 義務化にはなじまない	4 その他	5 わからない	6 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%							
0004:問1 昨年1年間の幼児の自転車同乗状況							
0) TOTAL	6,486 100.0	1,280 19.7	2,138 33.0	1,874 28.9	128 2.0	780 12.0	286 4.4
1) 1人を同乗させる（2人乗）	2,801 100.0	425 15.2	970 34.6	934 33.3	54 1.9	297 10.6	121 4.3
2) 2人を同乗させる（3人乗）	853 100.0	124 14.5	271 31.8	317 37.2	18 2.1	91 10.7	32 3.8
3) 3人を同乗させる（4人乗）	27 100.0	7 25.9	7 25.9	11 40.7	0 0.0	2 7.4	0 0.0
4) 同乗させない	2,750 100.0	715 26.0	884 32.1	596 21.7	56 2.0	379 13.8	120 4.4
5) わからない	17 100.0	5 29.4	1 5.9	6 35.3	0 0.0	4 23.5	1 5.9
6) 無回答	38 100.0	4 10.5	5 13.2	10 26.3	0 0.0	7 18.4	12 31.6

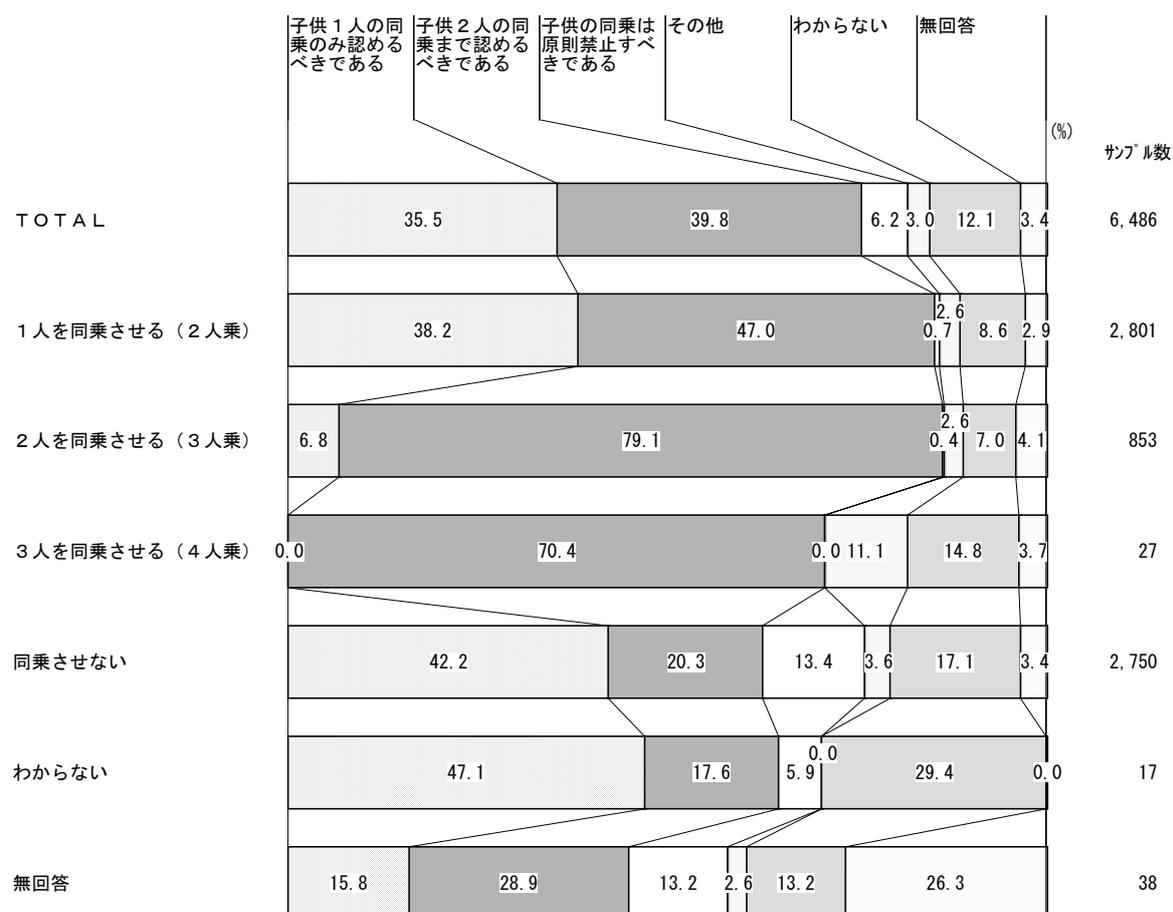
4. 自転車の子供との同乗状況（問1）×ヘルメット着用義務化対象年齢層（問14-1）



ヘルメット着用義務化の対象年齢層について、自転車の同乗状況別にみると、「1歳未満」「2歳未満」「3歳未満」を合わせた回答は、「1人を同乗させる」が33.3%、「2人を同乗させる」が37.2%、「3人を同乗させる」が40.7%となっており、同乗の人数が多い人ほど、対象とすべき年齢を低くすべきと考える傾向にある。

REPORT NO:0025	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1段目 度数		1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	小学生以下	年齢にかかわらず全	その他	無回答
2段目 権%											
0004:問1 昨年1年間の幼児の自転車同乗状況											
0) TOTAL	3,418 100.0	163 4.8	176 5.1	453 13.3	254 7.4	370 10.8	1,568 45.9	24 0.7	275 8.0	104 3.0	31 0.9
1) 1人を同乗させる（2人乗）	1,395 100.0	80 5.7	79 5.7	200 14.3	124 8.9	154 11.0	602 43.2	11 0.8	89 6.4	46 3.3	10 0.7
2) 2人を同乗させる（3人乗）	395 100.0	24 6.1	34 8.6	63 15.9	20 5.1	44 11.1	154 39.0	4 1.0	33 8.4	12 3.0	7 1.8
3) 3人を同乗させる（4人乗）	14 100.0	2 14.3	2 14.3	3 21.4	0 0.0	3 21.4	3 21.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0
4) 同乗させない	1,599 100.0	53 3.3	61 3.8	184 11.5	110 6.9	168 10.5	804 50.3	9 0.6	152 9.5	46 2.9	12 0.8
5) わからない	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	33.3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
6) 無回答	9 100.0	1 11.1	0 0.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2

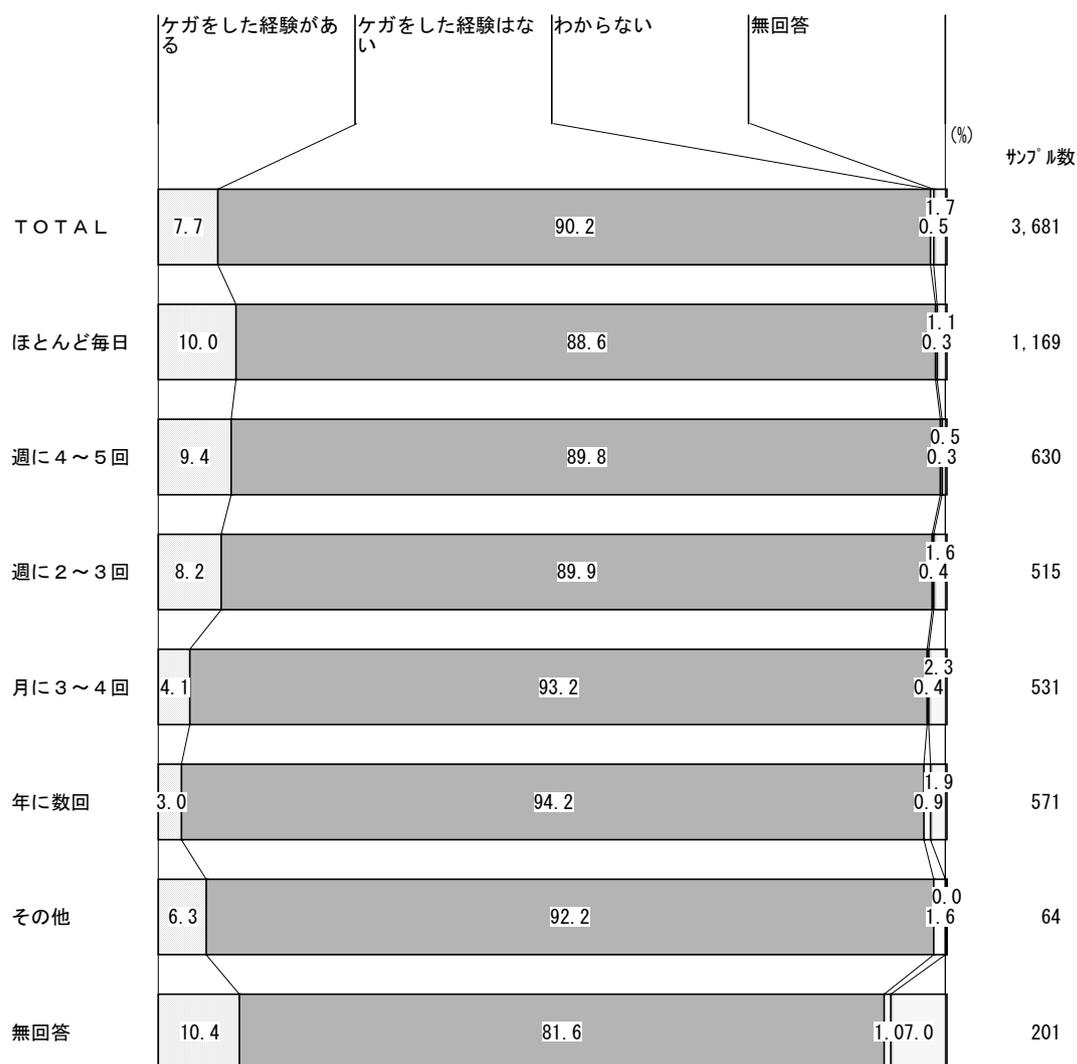
5. 自転車の子供との同乗状況（問1）×自転車の子供との同乗の是非（問15）



自転車の子供との同乗の是非について、自転車の同乗状況別にみると、「1人を同乗させる」場合は、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が38.2%、「子供2人の同乗まで認めるべき」が47.0%となっている。「2人を同乗させる」場合は「子供1人の同乗のみ認めるべき」が6.8%であるのに対し、「子供2人の同乗まで認めるべき」は79.1%と高くなっており、同乗人数との関連がみられる。

REPORT. NO:0025	TOTAL	1 子供1人の同乗のみ認めるべきである	2 子供2人の同乗まで認めるべきである	3 子供の同乗は原則禁止すべきである	4 その他	5 わからない	6 無回答
0003:問1 昨年1年間の幼児の自転車同乗状況							
0) TOTAL	6,486 100.0	2,301 35.5	2,582 39.8	399 6.2	197 3.0	785 12.1	222 3.4
1) 1人を同乗させる（2人乗）	2,801 100.0	1,069 38.2	1,316 47.0	21 0.7	73 2.6	240 8.6	82 2.9
2) 2人を同乗させる（3人乗）	853 100.0	58 6.8	675 79.1	3 0.4	22 2.6	60 7.0	35 4.1
3) 3人を同乗させる（4人乗）	27 100.0	0 0.0	19 70.4	0 0.0	3 11.1	4 14.8	1 3.7
4) 同乗させない	2,750 100.0	1,160 42.2	558 20.3	369 13.4	98 3.6	471 17.1	94 3.4
5) わからない	17 100.0	8 47.1	3 17.6	1 5.9	0 0.0	5 29.4	0 0.0
6) 無回答	38 100.0	6 15.8	11 28.9	5 13.2	1 2.6	5 13.2	10 26.3

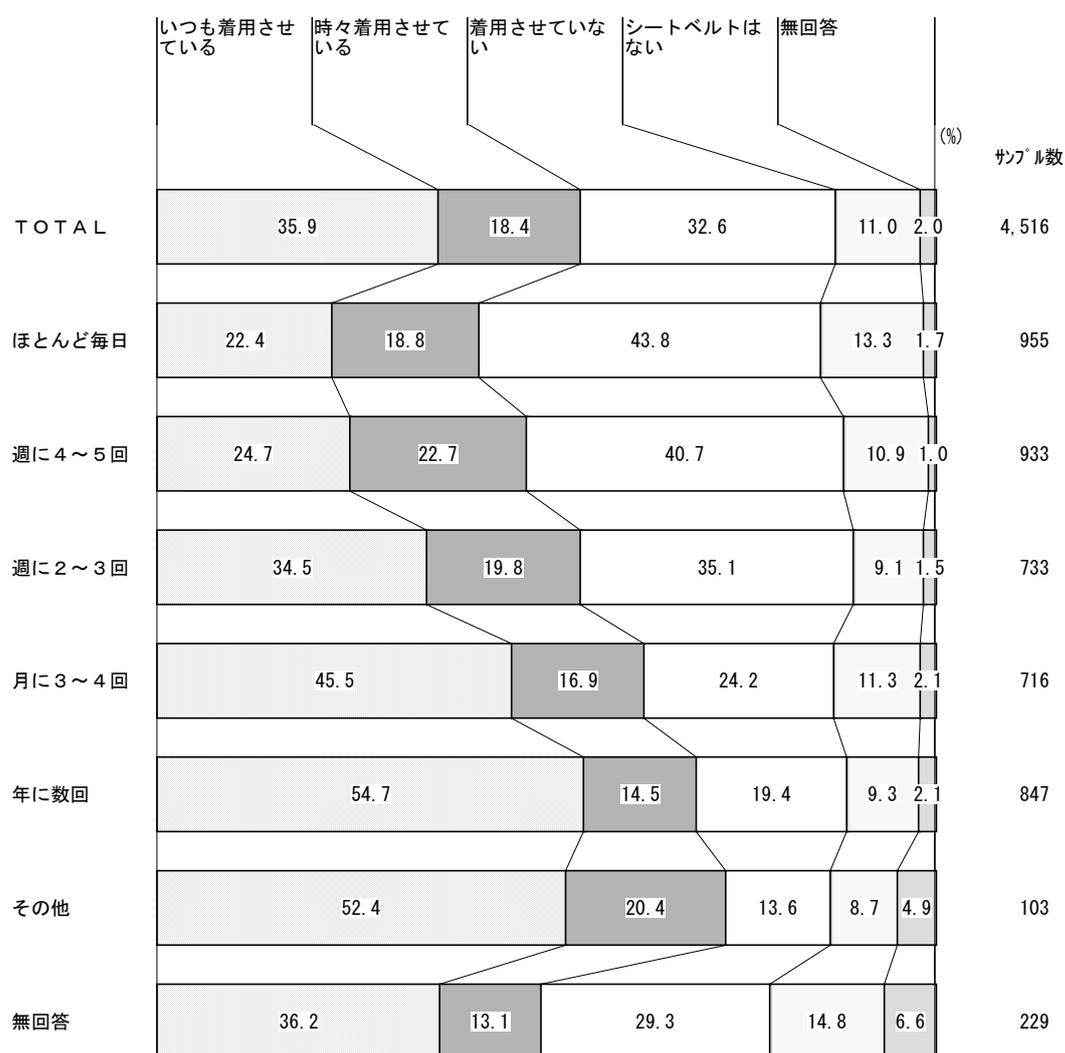
6. 自転車の乗車頻度（問4-1）×同乗時のケガの経験有無（問11）



自転車同乗時の子供のケガの経験の有無について、「ケガをした経験がある」人は、「ほとんど毎日」10.0%、「週に4~5回」が9.4%、「週に2~3日」が8.2%、「月に3~4回」が4.1%、「年に数回」が3.0%と、わずかながら乗車頻度が高くなるにつれて、ケガの経験も多くなる傾向がある。

REPORT. NO:0005 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4
		ケガをした 経験がある	ケガをした 経験はない	わからない	無回答
0004:問4 自転車乗車頻度/幼児の自転車同乗頻度 ①自転車乗車頻度					
0) TOTAL	3,681 100.0	282 7.7	3,321 90.2	17 0.5	61 1.7
1) ほとんど毎日	1,169 100.0	117 10.0	1,036 88.6	3 0.3	13 1.1
2) 週に4~5回	630 100.0	59 9.4	566 89.8	2 0.3	3 0.5
3) 週に2~3回	515 100.0	42 8.2	463 89.9	2 0.4	8 1.6
4) 月に3~4回	531 100.0	22 4.1	495 93.2	2 0.4	12 2.3
5) 年に数回	571 100.0	17 3.0	538 94.2	5 0.9	11 1.9
6) その他	64 100.0	4 6.3	59 92.2	1 1.6	0 0.0
7) 無回答	201 100.0	21 10.4	164 81.6	2 1.0	14 7.0

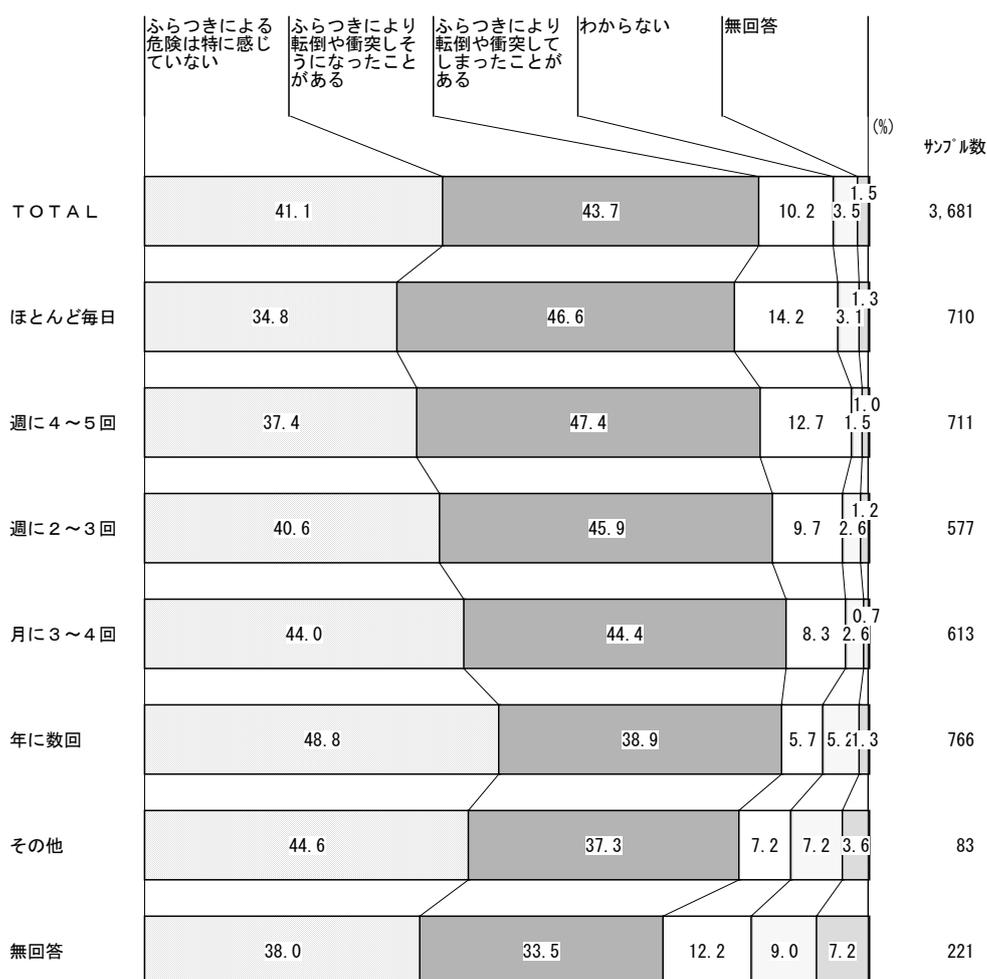
7. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×シートベルトの着用状況（問6-3）



シートベルトの着用状況について、「いつも着用させている」と回答した人を自転車の同乗頻度別にみると、「ほとんど毎日」が22.4%、「週に4~5回」が24.7%、「週に2~3回」が34.5%、「月に3~4回」が45.5%、「年に数回」が54.7%と自転車の同乗頻度が高くなるにつれて、シートベルトの着用率が低くなる傾向にある。

REPORT. NO:0008	TOTAL	1	2	3	4	5
		いつも着用させている	時々着用させている	着用させていない	シートベルトはない	無回答
1 段目 2 段目 度数 横%						
0007:問4 自転車乗車頻度/幼児の自転車同乗頻度 ②自転車に幼児を同乗させる頻度						
0) TOTAL	4,516 100.0	1,623 35.9	832 18.4	1,473 32.6	499 11.0	89 2.0
1) ほとんど毎日	955 100.0	214 22.4	180 18.8	418 43.8	127 13.3	16 1.7
2) 週に4~5回	933 100.0	230 24.7	212 22.7	380 40.7	102 10.9	9 1.0
3) 週に2~3回	733 100.0	253 34.5	145 19.8	257 35.1	67 9.1	11 1.5
4) 月に3~4回	716 100.0	326 45.5	121 16.9	173 24.2	81 11.3	15 2.1
5) 年に数回	847 100.0	463 54.7	123 14.5	164 19.4	79 9.3	18 2.1
6) その他	103 100.0	54 52.4	21 20.4	14 13.6	9 8.7	5 4.9
7) 無回答	229 100.0	83 36.2	30 13.1	67 29.3	34 14.8	15 6.6

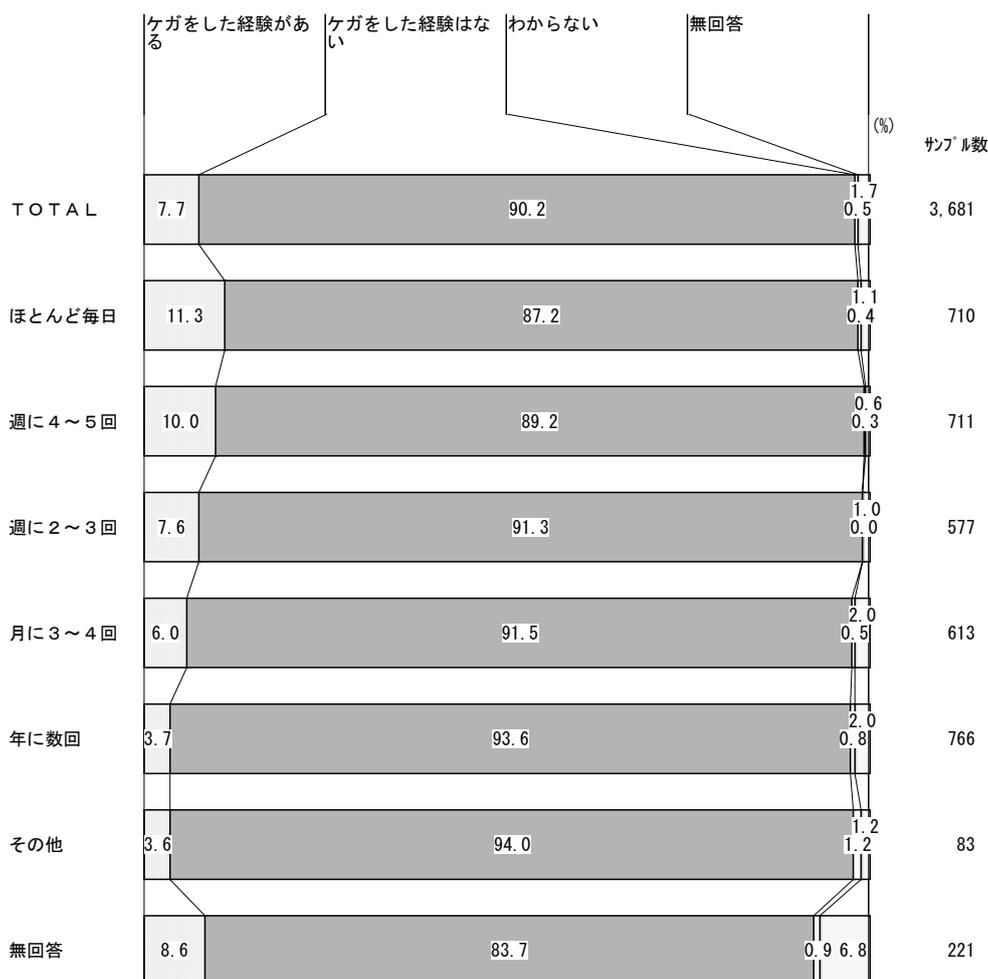
8. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×ふらつきによる危険性（問10）



子供を同乗させた時のふらつきによる危険性について、「ふらつきによる危険は特に感じていない」と回答した人を自転車の同乗頻度別にみると、「ほとんど毎日」が34.8%、「週に4~5回」が37.4%、「週に2~3回」が40.6%、「月に3~4回」が44.0%、「年に数回」が48.8%と、自転車の乗車頻度が高くなるにつれて、「ふらつきによる危険は特に感じていない」と回答する割合が低くなり、反対に「ふらつきにより転倒や衝突しそうになったことがある」もしくは「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」と回答する割合が高くなっている。

REPORT. NO:0011	TOTAL	1 ふらつきによる危険は特に感じていない	2 ふらつきにより転倒や衝突しそうになったことがある	3 ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある	4 わからない	5 無回答
1 段目 度数						
2 段目 権%						
0007:問4 自転車乗車頻度/幼児の自転車同乗頻度						
0) TOTAL	3,681 100.0	1,512 41.1	1,608 43.7	375 10.2	130 3.5	56 1.5
1) ほとんど毎日	710 100.0	247 34.8	331 46.6	101 14.2	22 3.1	9 1.3
2) 週に4~5回	711 100.0	266 37.4	337 47.4	90 12.7	11 1.5	7 1.0
3) 週に2~3回	577 100.0	234 40.6	265 45.9	56 9.7	15 2.6	7 1.2
4) 月に3~4回	613 100.0	270 44.0	272 44.4	51 8.3	16 2.6	4 0.7
5) 年に数回	766 100.0	374 48.8	298 38.9	44 5.7	40 5.2	10 1.3
6) その他	83 100.0	37 44.6	31 37.3	6 7.2	6 7.2	3 3.6
7) 無回答	221 100.0	84 38.0	74 33.5	27 12.2	20 9.0	16 7.2

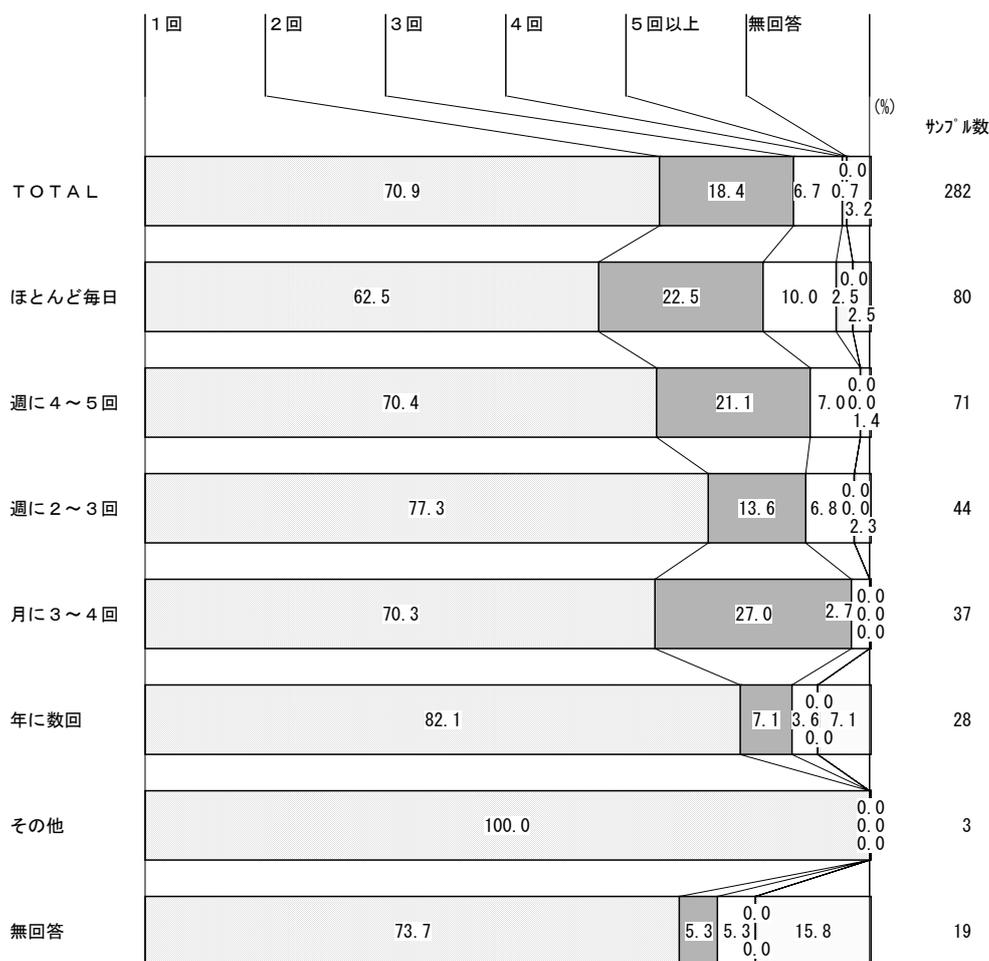
9. 自転車の子供との同乗頻度（問4-2）×同乗時のケガの経験有無（問11）



自転車同乗時の子供のケガの経験有無について、「ケガをした経験がある」と回答した人を、自転車の同乗頻度別にみると、「ほとんど毎日」が11.3%、「週に4~5回」が10.0%、「週に2~3回」が7.6%、「月に3~4回」が6.0%、「年に数回」が3.7%と、自転車の乗車頻度が高くなるにつれて、ケガの経験が多くなる傾向がある。

1 段目 2 段目	度数 横%	TOTAL			
		1 ケガをした 経験がある	2 ケガをした 経験はない	3 わからない	4 無回答
0008:問4	自転車乗車頻度/幼児の自転車同乗頻度	②自転車に幼児を同乗させる頻度			
0) TOTAL	3,681 100.0	282 7.7	3,321 90.2	17 0.5	61 1.7
1) ほとんど毎日	710 100.0	80 11.3	619 87.2	3 0.4	8 1.1
2) 週に4~5回	711 100.0	71 10.0	634 89.2	2 0.3	4 0.6
3) 週に2~3回	577 100.0	44 7.6	527 91.3	0 0.0	6 1.0
4) 月に3~4回	613 100.0	37 6.0	561 91.5	3 0.5	12 2.0
5) 年に数回	766 100.0	28 3.7	717 93.6	6 0.8	15 2.0
6) その他	83 100.0	3 3.6	78 94.0	1 1.2	1 1.2
7) 無回答	221 100.0	19 8.6	185 83.7	2 0.9	15 6.8

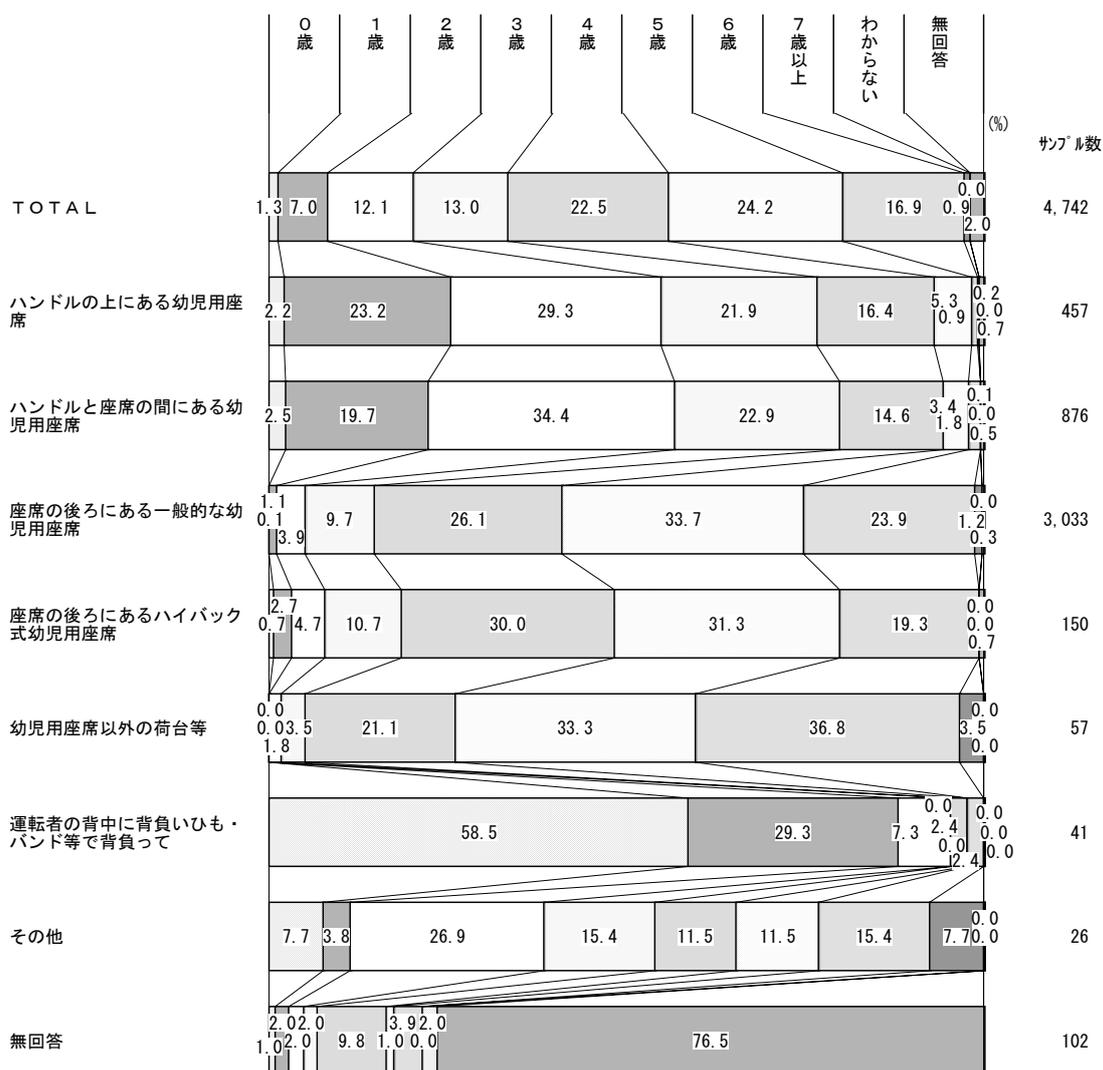
10. 自転車の子供との同乗頻度（問 4-2）×同乗時のケガの経験回数（問 12）



自転車同乗時の子供のケガの経験回数について、「2回以上」と回答した人を、自転車の同乗頻度別にみると、「ほとんど毎日」が35.0%、「週に4~5回」が28.1%、「週に2~3回」が20.4%、「月に3~4回」が29.7%、「年に数回」が10.7%となっており、同乗頻度が高いほど、ケガをする回数が多い傾向にある。

1 段目 2 段目	度 横%	TOTAL	1	2	3	4	5	6
		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答	
0007:問4	自転車乗車頻度/幼児の自転車同乗頻度 ②自転車に幼児を同乗させる頻度							
0) TOTAL		282 100.0	200 70.9	52 18.4	19 6.7	2 0.7	0 0.0	9 3.2
1) ほとんど毎日		80 100.0	50 62.5	18 22.5	8 10.0	2 2.5	0 0.0	2 2.5
2) 週に4~5回		71 100.0	50 70.4	15 21.1	5 7.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4
3) 週に2~3回		44 100.0	34 77.3	6 13.6	3 6.8	0 0.0	0 0.0	1 2.3
4) 月に3~4回		37 100.0	26 70.3	10 27.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5) 年に数回		28 100.0	23 82.1	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	2 7.1
6) その他		3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7) 無回答		19 100.0	14 73.7	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	3 15.8

11. 自転車の子供の同乗形態（問 6-2）×同乗させる子供の年齢（問 6-1）



同乗させる子供の年齢を同乗形態別にみると、「1歳」「2歳」では「ハンドルの上にある幼児用座席」もしくは「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」の回答の割合がそれぞれ2割と他と比較して高くなっている。

一方、「4歳」「5歳」「6歳」では「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」の回答の割合が高く、幼児用座席の種類により年齢別に同乗の形態が異なっていることがわかる。

REPORT NO:0006	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数 2 段目 権%		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳以上	わからない	無回答
0010:問6 (2) 自転車同乗時の同乗の形態											
0) TOTAL	4,742 100.0	64 1.3	330 7.0	573 12.1	618 13.0	1,067 22.5	1,147 24.2	803 16.9	42 0.9	2 0.0	96 2.0
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	10 2.2	106 23.2	134 29.3	100 21.9	75 16.4	24 5.3	4 0.9	1 0.2	0 0.0	3 0.7
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	22 2.5	173 19.7	301 34.4	201 22.9	128 14.6	30 3.4	16 1.8	1 0.1	0 0.0	4 0.5
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	4 0.1	32 1.1	118 3.9	293 9.7	793 26.1	1,023 33.7	724 23.9	36 1.2	0 0.0	10 0.3
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	1 0.7	4 2.7	7 4.7	16 10.7	45 30.0	47 31.3	29 19.3	0 0.0	0 0.0	1 0.7
5) 幼児用座席以外の荷台等	57 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.5	12 21.1	19 33.3	21 36.8	2 3.5	0 0.0	0 0.0
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	41 100.0	24 58.5	12 29.3	3 7.3	0 0.0	1 2.4	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7) その他	26 100.0	2 7.7	1 3.8	7 26.9	4 15.4	3 11.5	3 11.5	4 15.4	2 7.7	0 0.0	0 0.0
8) 無回答	102 100.0	1 1.0	2 2.0	2 2.0	2 2.0	10 9.8	1 1.0	4 3.9	0 0.0	2 2.0	78 76.5

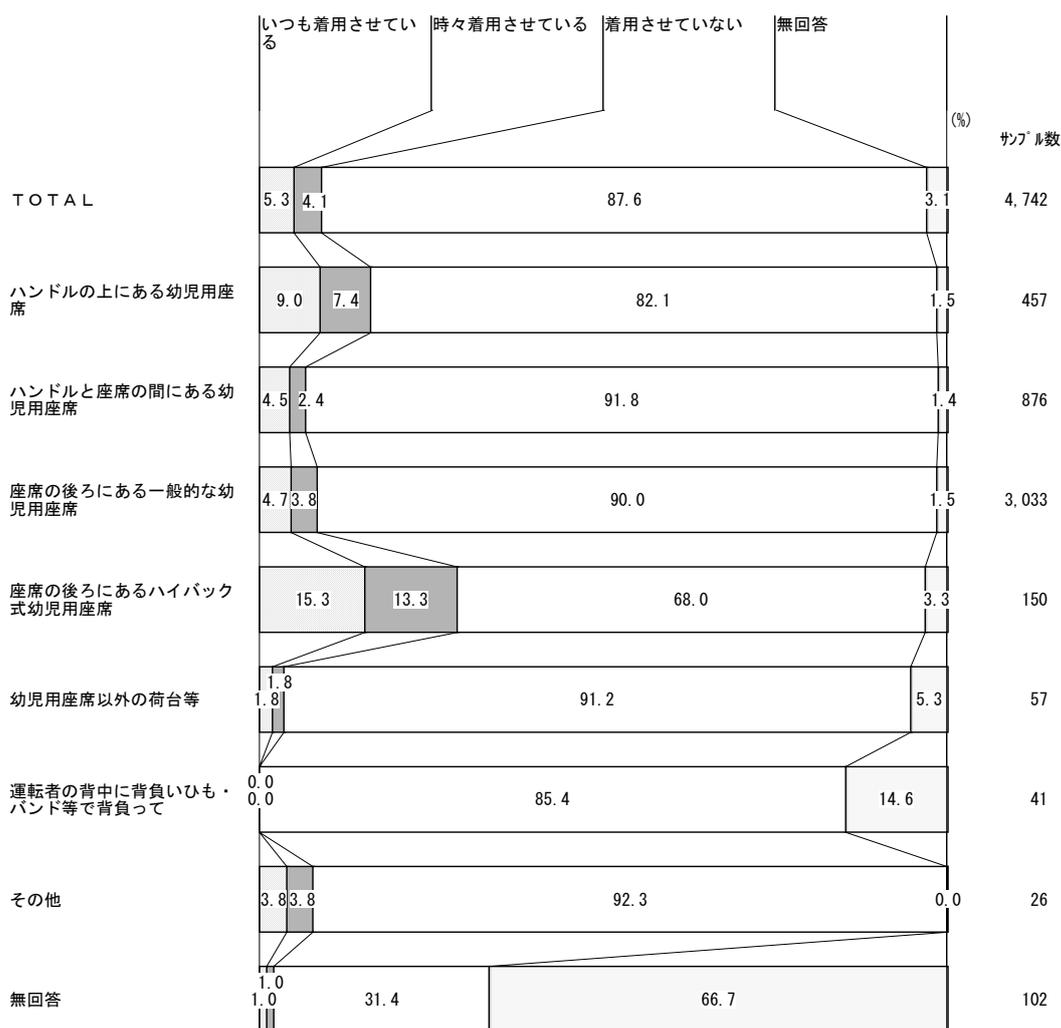
12. 自転車の子供の同乗形態（問 6-2）×シートベルトの着用状況（問 6-3）

	いつも着用させている	時々着用させている	着用させていない	シートベルトはない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	35.9	18.4	32.6	11.0	2.0		4,516
ハンドルの上にある幼児用座席	44.9	17.1	26.9	8.1	3.1		457
ハンドルと座席の間にある幼児用座席	42.0	19.1	23.4	13.1	2.4		876
座席の後ろにある一般的な幼児用座席	32.4	18.2	36.7	11.1	1.7		3,033
座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	45.3	24.0	22.0	6.7	2.0		150

幼児用座席のシートベルトの着用状況について、同乗の形態別にみると、「いつも着用させている」と回答した人は、「ハンドルの上にある幼児用座席」が 44.9%、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が 42.0%、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」が 32.4%、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」が 45.3%となっており、「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」では他と比べ 10 ポイント程度着用率が低くなっている。

REPORT. NO:0008	TOTAL	1 いつも着用 させている	2 時々着用さ せている	3 着用させて いない	4 シートベル トはない	5 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%						
0010:問 6 (2) 自転車同乗時の同乗の形態						
0) TOTAL	4,516 100.0	1,623 35.9	832 18.4	1,473 32.6	499 11.0	89 2.0
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	205 44.9	78 17.1	123 26.9	37 8.1	14 3.1
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	368 42.0	167 19.1	205 23.4	115 13.1	21 2.4
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	982 32.4	551 18.2	1,112 36.7	337 11.1	51 1.7
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	68 45.3	36 24.0	33 22.0	10 6.7	3 2.0

13. 自転車の子供の同乗形態（問 6-2）×ヘルメットの着用状況（問 7-1）

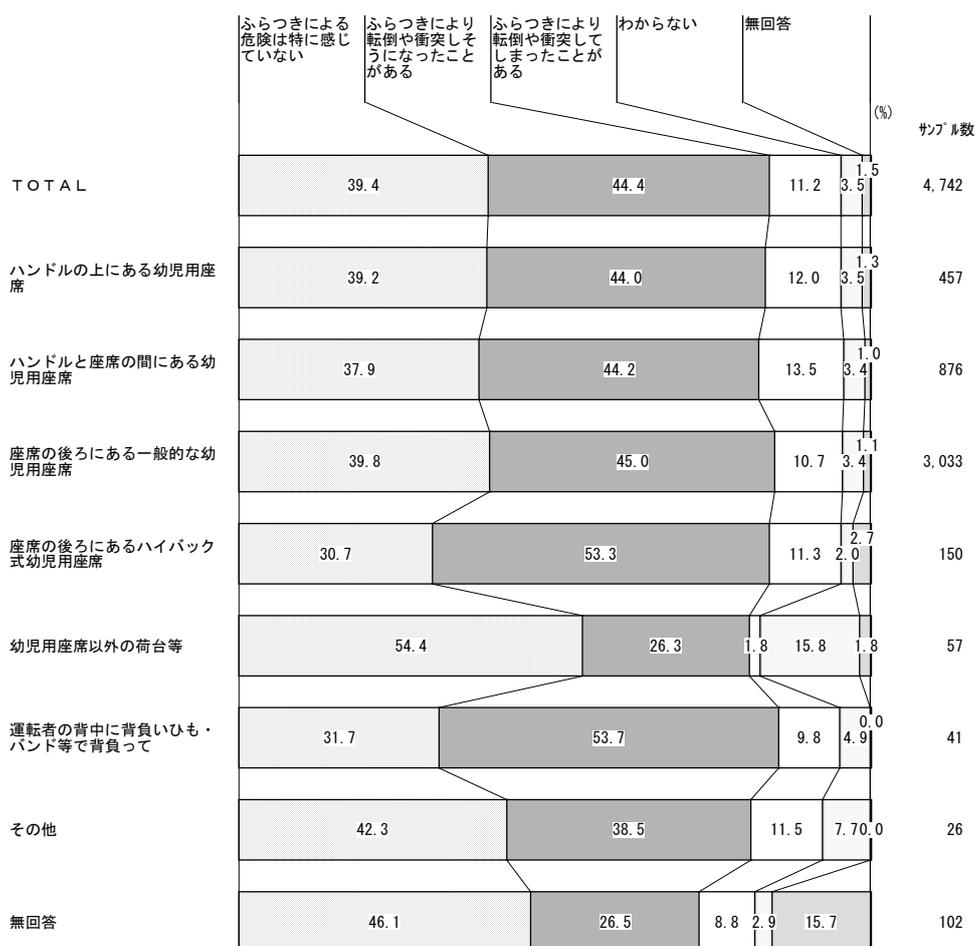


ヘルメットの着用状況について、同乗の形態別にみると、「いつも着用させている」と回答した人は、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」が 15.3%と多くなっており、次いで「ハンドルの上にある幼児用座席」が 9.0%となっている。

一方、「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」及び「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」については、「時々着用させている」と回答した人を含めても 7~8%に止まり、着用率が低い状況にある。

REPORT.NO:0009	TOTAL	1	2	3	4
1 段目 度数 2 段目 権%		いつも着用 させている	時々着用さ せている	着用させて いない	無回答
0010:問6(2) 自転車同乗時の同乗の形態					
0) TOTAL	4,742 100.0	249 5.3	193 4.1	4,153 87.6	147 3.1
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	41 9.0	34 7.4	375 82.1	7 1.5
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	39 4.5	21 2.4	804 91.8	12 1.4
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	143 4.7	115 3.8	2,729 90.0	46 1.5
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	23 15.3	20 13.3	102 68.0	5 3.3
5) 幼児用座席以外の荷台等	57 100.0	1 1.8	1 1.8	52 91.2	3 5.3
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	41 100.0	0 0.0	0 0.0	35 85.4	6 14.6
7) その他	26 100.0	1 3.8	1 3.8	24 92.3	0 0.0
8) 無回答	102 100.0	1 1.0	1 1.0	32 31.4	68 66.7

14. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×ふらつきによる危険性（問10）

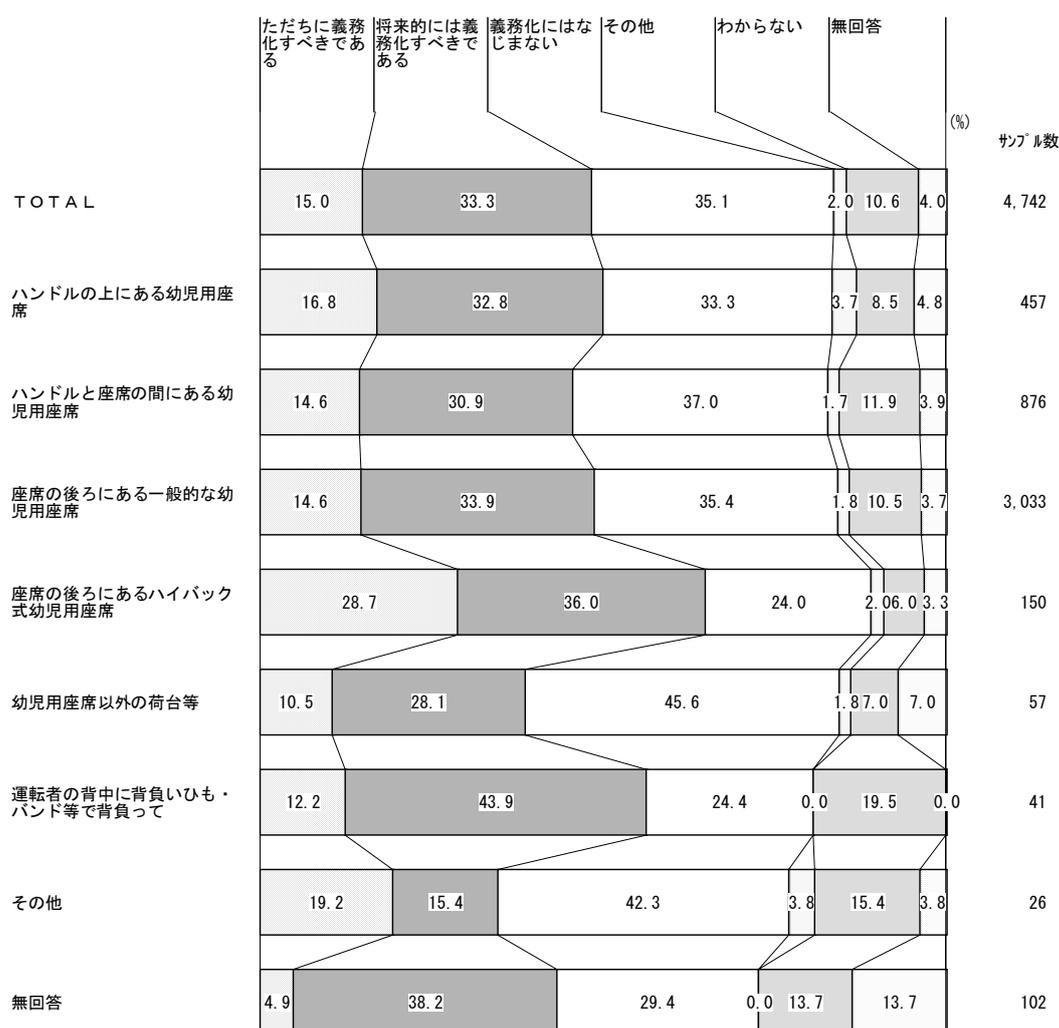


子供を同乗させて自転車を運転している時のふらつきによる危険性については、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」では、「ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある」は53.3%と半数を超え、「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」の11.3%を合わせると64.4%と、他の幼児用座席と比べ割合が高くなっている。

また、「運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って」と回答した人についても、「ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある」は53.7%、「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」9.8%と、転倒や衝突の危険を感じる割合が高い傾向にある。

REPORT. NO:0011	TOTAL	1 ふらつきによる危険は特に感じていない	2 ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある	3 ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある	4 わからない	5 無回答
1 段目 度数 2 段目 権%						
0011: 問6 (2) 自転車同乗時の同乗の形態						
0) TOTAL	4,742 100.0	1,867 39.4	2,107 44.4	532 11.2	167 3.5	69 1.5
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	179 39.2	201 44.0	55 12.0	16 3.5	6 1.3
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	332 37.9	387 44.2	118 13.5	30 3.4	9 1.0
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	1,208 39.8	1,365 45.0	325 10.7	102 3.4	33 1.1
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	46 30.7	80 53.3	17 11.3	3 2.0	4 2.7
5) 幼児用座席以外の荷台等	57 100.0	31 54.4	15 26.3	1 1.8	9 15.8	1 1.8
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	41 100.0	13 31.7	22 53.7	4 9.8	2 4.9	0 0.0
7) その他	26 100.0	11 42.3	10 38.5	3 11.5	2 7.7	0 0.0
8) 無回答	102 100.0	47 46.1	27 26.5	9 8.8	3 2.9	16 15.7

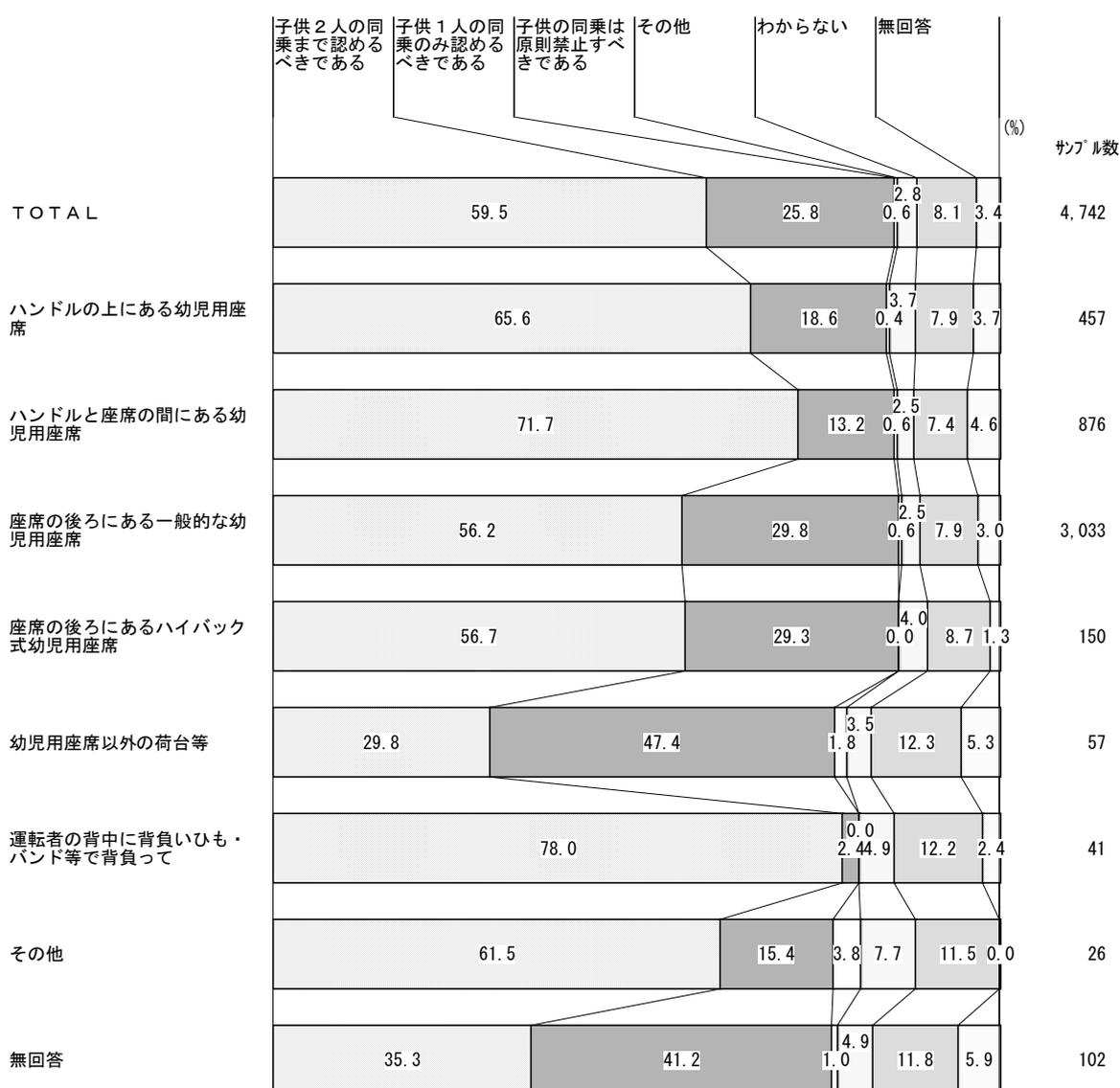
15. 自転車の子供の同乗形態（問6-2）×ヘルメット着用義務化の所見（問14）



ヘルメット着用の義務化について、「ただちに義務化すべきである」と回答した人は、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」が28.7%と多くなっており、「将来的には義務化すべき」の36.0%と合わせると6割以上を占め、義務化に賛成する割合が高くなっている。

REPORT. NO:0022	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数		ただちに義務化すべきである	将来的には義務化すべきである	義務化にはなじまない	その他	わからない	無回答
2 段目 横%							
011:問6(2) 自転車同乗時の同乗の形態							
0) TOTAL	4,742 100.0	713 15.0	1,579 33.3	1,664 35.1	93 2.0	501 10.6	192 4.0
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	77 16.8	150 32.8	152 33.3	17 3.7	39 8.5	22 4.8
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	128 14.6	271 30.9	324 37.0	15 1.7	104 11.9	34 3.9
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	444 14.6	1,027 33.9	1,075 35.4	56 1.8	319 10.5	112 3.7
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	43 28.7	54 36.0	36 24.0	3 2.0	9 6.0	5 3.3
5) 幼児用座席以外の荷台等	57 100.0	6 10.5	16 28.1	26 45.6	1 1.8	4 7.0	4 7.0
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	41 100.0	5 12.2	18 43.9	10 24.4	0 0.0	8 19.5	0 0.0
7) その他	26 100.0	5 19.2	4 15.4	11 42.3	1 3.8	4 15.4	1 3.8
8) 無回答	102 100.0	5 4.9	39 38.2	30 29.4	0 0.0	14 13.7	14 13.7

16. 自転車の子供の同乗形態（問 6-2）× 自転車の子供との同乗の是非（問 15）



自転車の子供の同乗の是非について、「子供2人の同乗まで認めるべき」と回答した人の割合を同乗形態別にみると、「運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って」が最も高く78.0%、次いで「ハンドルと座席の間にある幼児用座席」が71.7%、「ハンドルの上にある幼児用座席」が65.6%となっている。

また、「座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席」「座席の後ろにある一般的な幼児用座席」については、「子供2人の同乗まで認めるべき」がそれぞれ56.7%、56.2%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」がそれぞれ29.3%、29.8%と、ほぼ同程度の割合となっている。

加えて、いずれの同乗形態においても、「子供2人の同乗まで認めるべき」が「子供1人の同乗のみ認めるべき」を上回っているが、「幼児用座席以外の荷台等」については割合が逆転しており、「子供2人の同乗まで認めるべき」が29.8%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が47.4%と特徴的な結果となっている。

REPORT. NO:0027	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数 2 段目 横%		子供 2 人の 同乗まで認 めるべきで ある	子供 1 人の 同乗のみ認 めるべきで ある	子供の同乗 は原則禁止 すべきであ る	その他	わからない	無回答
0011:問 6 (2) 自転車同乗時の同乗の形態							
0) TOTAL	4,742 100.0	2,820 59.5	1,222 25.8	27 0.6	132 2.8	382 8.1	159 3.4
1) ハンドルの上にある幼児用座席	457 100.0	300 65.6	85 18.6	2 0.4	17 3.7	36 7.9	17 3.7
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	876 100.0	628 71.7	116 13.2	5 0.6	22 2.5	65 7.4	40 4.6
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	3,033 100.0	1,706 56.2	903 29.8	17 0.6	76 2.5	241 7.9	90 3.0
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	150 100.0	85 56.7	44 29.3	0 0.0	6 4.0	13 8.7	2 1.3
5) 幼児用座席以外の荷台等	57 100.0	17 29.8	27 47.4	1 1.8	2 3.5	7 12.3	3 5.3
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	41 100.0	32 78.0	1 2.4	0 0.0	2 4.9	5 12.2	1 2.4
7) その他	26 100.0	16 61.5	4 15.4	1 3.8	2 7.7	3 11.5	0 0.0
8) 無回答	102 100.0	36 35.3	42 41.2	1 1.0	5 4.9	12 11.8	6 5.9

17. ヘルメット着用を始めた時期（問7-2）×ヘルメット着用のきっかけ（問8）

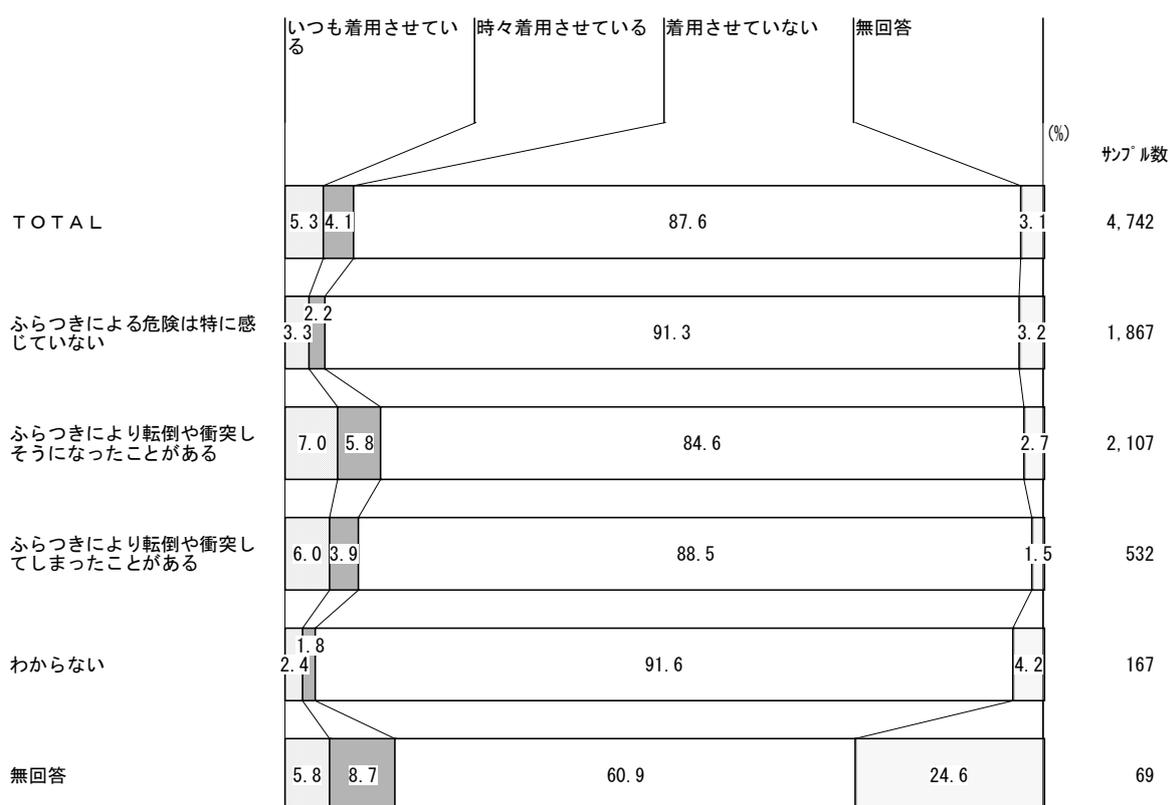
REPORT NO:0002	TOTAL	1 幼稚園等で 通園時には 着用するよ うに求めて いるから	2 幼稚園、保 育所で勧め られたから	3 交通安全教 室や自転車 教室で勧め られたから	4 自治体（市 区町村な ど）で勧め られたから	5 自転車販売 店に勧めら れたから	6 交通安全に 係るCMな どで勧めて いるのを見 たから	7 家族、友人 に勧められ たから	8 自分の子ど もや知り合 いの子ども が事故にあ ったから
1 段目 度数 2 段目 横%									
0002 :									
0) TOTAL	442 100	25 5.7	25 5.7	13 2.9	4 0.9	7 1.6	48 10.9	82 18.6	52 11.8
1) ごく最近から3ヶ月未満	34 100	1 2.9	0 0.0	2 5.9	0 0.0	0 0.0	2 5.9	10 29.4	3 8.8
2) 3ヶ月以上半年未満	46 100	1 2.2	3 6.5	0 0.0	0 0.0	2 4.3	7 15.2	6 13.0	2 4.3
3) 半年以上1年未満	152 100	11 7.2	14 9.2	6 3.9	0 0.0	3 2.0	22 14.5	32 21.1	20 13.2
4) 1年以上2年未満	129 100	8 6.2	7 5.4	4 3.1	4 3.1	2 1.6	12 9.3	19 14.7	19 14.7
5) 2年以上3年未満	39 100	3 7.7	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	5 12.8	7 17.9	3 7.7
6) 3年以上前から	29 100	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 27.6	4 13.8
7) その他	6 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8) 無回答	7 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
REPORT NO:0002	TOTAL	9 自分自身が 自転車を利用 していて事 故にあった から	10 事故が多発 しているとの 報道を見たり 聞いたりした から	11 幼児用ヘル メットが販 売されるよ うになって きたから	12 自分で考 えて必要だ と思ったから	13 その他	14 わからない	15 無回答	
1 段目 度数 2 段目 横%									
0002 : 人口規模									
0) TOTAL	442 100	21 4.8	193 43.7	110 24.9	159 36.0	40 9.0	0 0.0	7 1.6	
1) ごく最近から3ヶ月未満	34 100	2 5.9	11 32.4	11 32.4	8 23.5	3 8.8	0 0.0	0 0.0	
2) 3ヶ月以上半年未満	46 100	0 0.0	19 41.3	16 34.8	20 43.5	9 19.6	0 0.0	0 0.0	
3) 半年以上1年未満	152 100	9 5.9	59 38.8	41 25.0	48 31.6	10 6.6	0 0.0	0 0.0	
4) 1年以上2年未満	129 100	5 3.9	73 56.6	32 24.8	42 32.6	10 7.8	0 0.0	3 2.3	
5) 2年以上3年未満	39 100	3 7.7	20 51.3	6 15.4	19 48.7	3 7.7	0 0.0	0 0.0	
6) 3年以上前から	29 100	1 3.4	10 34.5	4 13.8	18 62.1	4 13.8	0 0.0	0 0.0	
7) その他	6 100	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
8) 無回答	7 100	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	4 57.1	

ヘルメット着用のきっかけについて、着用を始めた時期との関係を見ると「幼稚園・保育所で勧められたから」については「半年以上1年未満」と回答した人が9.2%と高くなっている。

また、「事故が多発しているとの報道を見たり聞いたりしたから」については、「1年以上2年未満」が56.6%、「2年以上3年未満」が51.3%となっており、他と比較し高くなっている。

さらに、「自分で考えて必要だと思ったから」については、「3年以上前から」が62.1%と高くなっている。

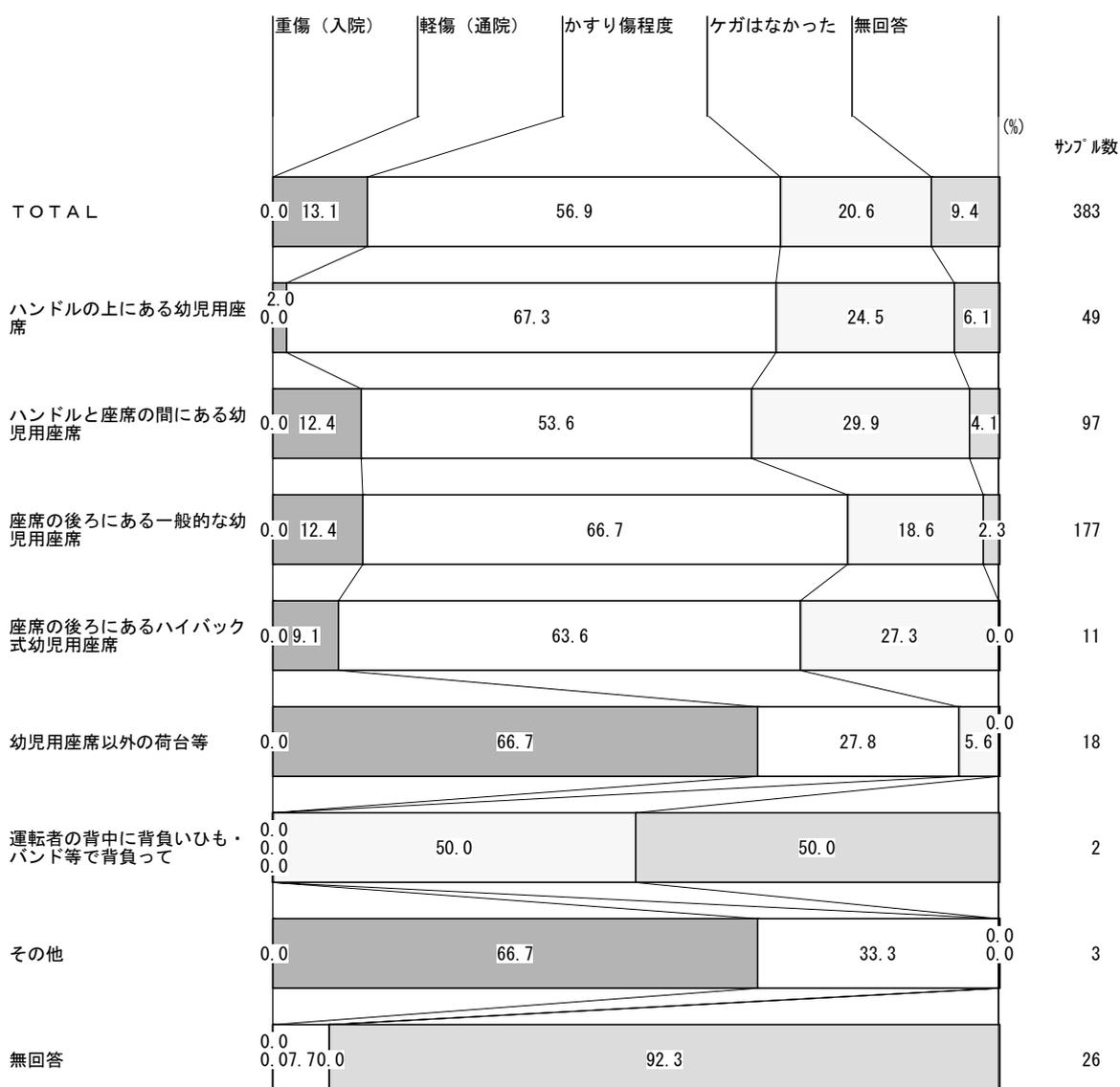
18. ふらつきによる危険性（問 10）×ヘルメットの着用状況（問 7-1）



ヘルメットの着用状況について、子供と同乗時にふらつきによる危険を感じているか、との質問の回答との関係を見ると、「ふらつきによる危険は特に感じていない」と回答した人は「ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある」「ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある」と回答した人に比べ、「いつも着用させている」もしくは「時々着用させている」と回答した割合が低い傾向にある。

REPORT. NO:0003		TOTAL	1 いつも着用 させている	2 時々着用さ せている	3 着用させて いない	4 無回答
1 段目 度数	2 段目 横%					
0008:問 1 0 幼児を同乗させている時のふらつきによる危険性						
0) TOTAL		4,742 100.0	249 5.3	193 4.1	4,153 87.6	147 3.1
1) ふらつきによる危険は特に感じていない		1,867 100.0	62 3.3	41 2.2	1,705 91.3	59 3.2
2) ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある		2,107 100.0	147 7.0	122 5.8	1,782 84.6	56 2.7
3) ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある		532 100.0	32 6.0	21 3.9	471 88.5	8 1.5
4) わからない		167 100.0	4 2.4	3 1.8	153 91.6	7 4.2
5) 無回答		69 100.0	4 5.8	6 8.7	42 60.9	17 24.6

19. ケガをした時の同乗の形態（問 13-2-2） × ケガの程度（問 13-2-4）

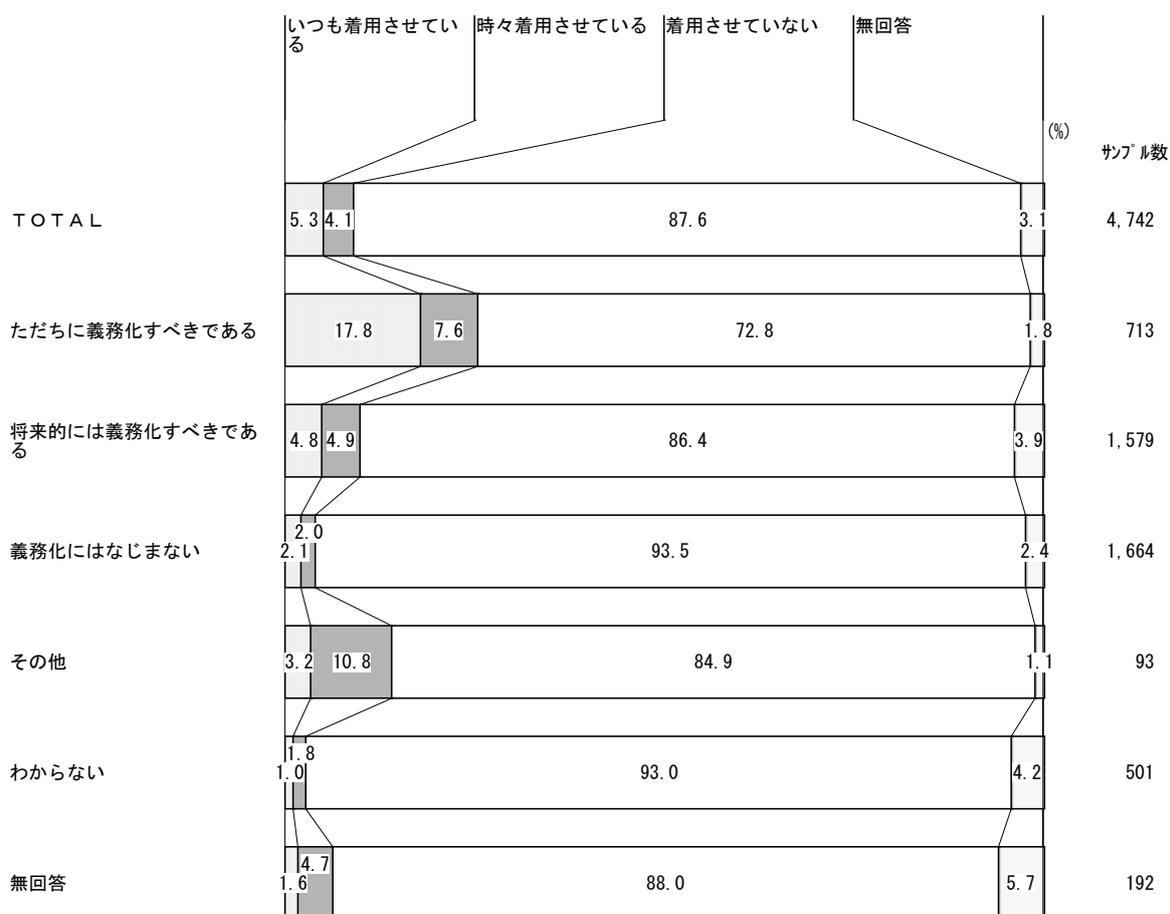


ケガの程度について、同乗の形態別にみると、幼児用座席に同乗させた場合は、いずれも「かすり傷程度」が5割～6割、「ケガはなかった」が2割～3割と、大事に至らなかったケースが多くなっている。中でも「ハンドルの上にある幼児用座席」については、「軽傷」の割合が他の幼児用座席と比べると低く、安全性が高いと考えられる。

一方、「幼児用座席以外」の荷台については、「軽傷」の割合が66.7%と高く、「かすり傷程度」は3割未満となっており、幼児用座席に同乗させた場合の方が、ケガが軽いケースが多い傾向にある。

REPORT. NO:0013	TOTAL	1	2	3	4	5
1 段目 度数 2 段目 権%		重傷 (入院)	軽傷 (通院)	かすり傷程 度	ケガはなか った	無回答
0009: *問1 3-2 (2) ケガをした時の同乗の形態						
0) TOTAL	383 100.0	0 0.0	50 13.1	218 56.9	79 20.6	36 9.4
1) ハンドルの上にある幼児用座席	49 100.0	0 0.0	1 2.0	33 67.3	12 24.5	3 6.1
2) ハンドルと座席の間にある幼児用座席	97 100.0	0 0.0	12 12.4	52 53.6	29 29.9	4 4.1
3) 座席の後ろにある一般的な幼児用座席	177 100.0	0 0.0	22 12.4	118 66.7	33 18.6	4 2.3
4) 座席の後ろにあるハイバック式幼児用座席	11 100.0	0 0.0	1 9.1	7 63.6	3 27.3	0 0.0
5) 幼児用座席以外の荷台等	18 100.0	0 0.0	12 66.7	5 27.8	1 5.6	0 0.0
6) 運転者の背中に背負いひも・バンド等で背負って	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
7) その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
8) 無回答	26 100.0	0 0.0	0 0.0	2 7.7	0 0.0	24 92.3

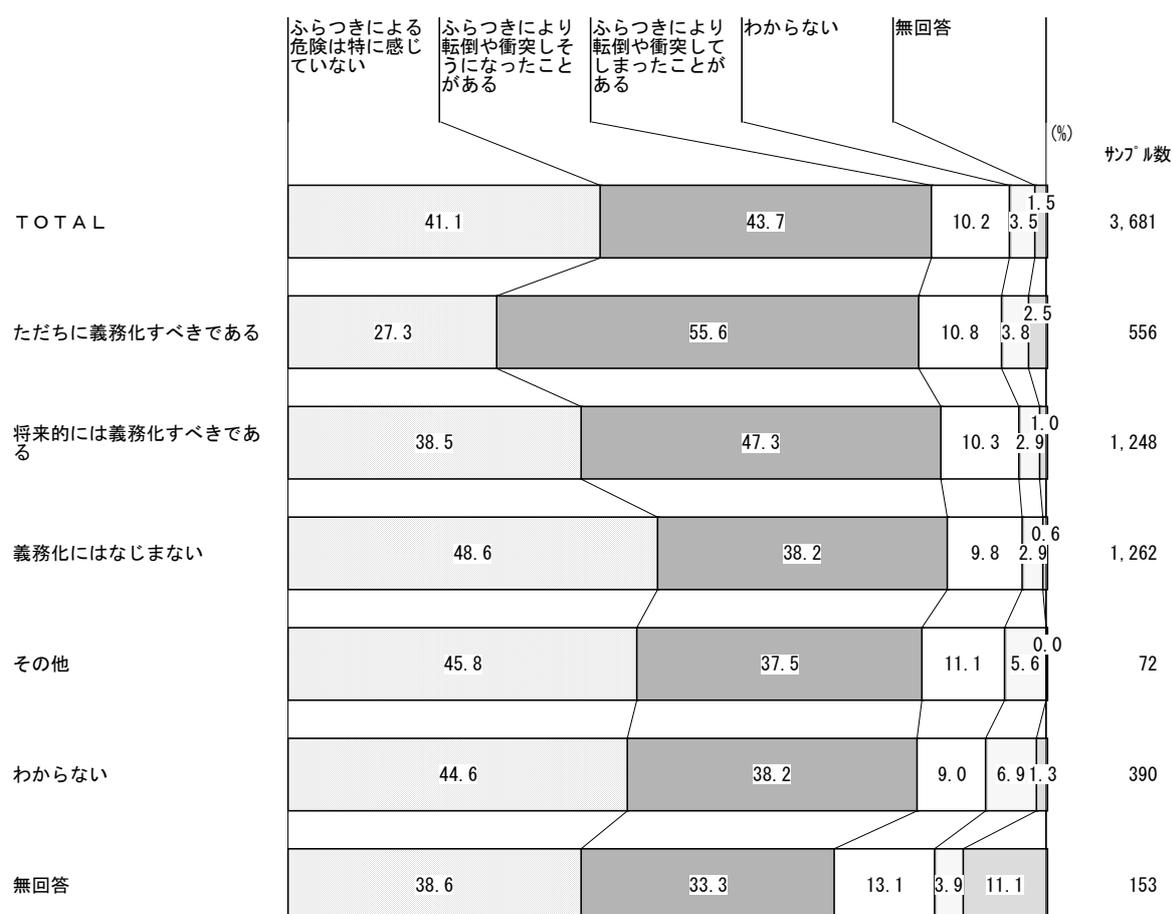
20. ヘルメット着用義務化の所見（問 14）×ヘルメットの着用状況（問 7-1）



ヘルメットの着用状況について、「いつも着用させている」と回答した人は「ただちに義務化すべき」が17.8%、「将来的には義務化すべき」が4.8%、「義務化にはなじまない」が2.1%となっており、ヘルメット着用率の高い人ほど、着用を義務化すべきと回答する割合が高くなっている。

1 段目 2 段目	REPORT. NO:0009 度数 横%	TOTAL	1	2	3	4
			いつも着用 させている	時々着用さ せている	着用させて いない	無回答
0002:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について						
0) TOTAL		4,742 100.0	249 5.3	193 4.1	4,153 87.6	147 3.1
1) ただちに義務化すべきである		713 100.0	127 17.8	54 7.6	519 72.8	13 1.8
2) 将来的には義務化すべきである		1,579 100.0	76 4.8	78 4.9	1,364 86.4	61 3.9
3) 義務化にはなじまない		1,664 100.0	35 2.1	33 2.0	1,556 93.5	40 2.4
4) その他		93 100.0	3 3.2	10 10.8	79 84.9	1 1.1
5) わからない		501 100.0	5 1.0	9 1.8	466 93.0	21 4.2
6) 無回答		192 100.0	3 1.6	9 4.7	169 88.0	11 5.7

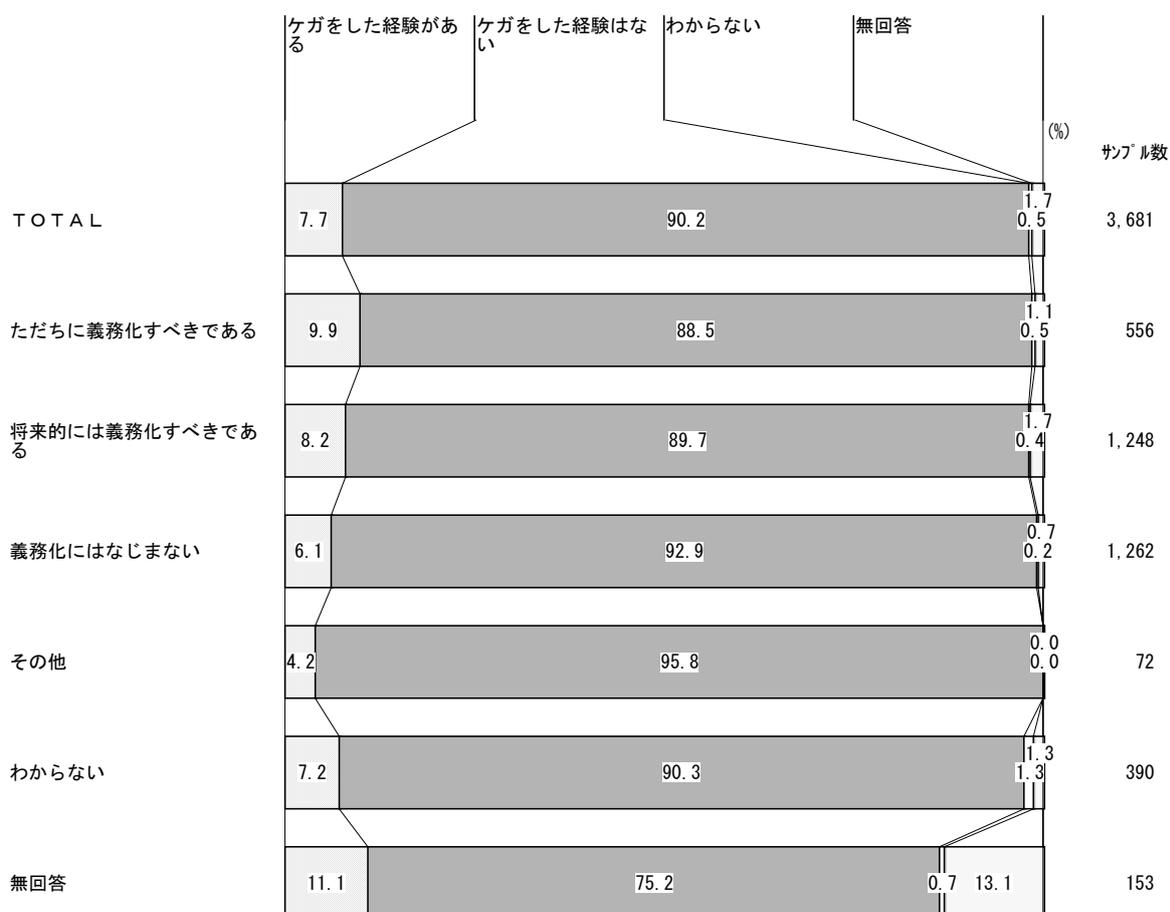
21. ヘルメット着用義務化の所見（問 14）×ふらつきによる危険性（問 10）



ふらつきによる危険性については、「ふらつきによる危険は特に感じていない」と回答した人の割合をみると、「ただちに義務化すべきである」が27.3%、「将来的には義務化すべきである」が38.5%、「義務化にはなじまない」が48.6%となっており、ふらつきによる危険を感じていない人ほど、義務化にはなじまないと回答している割合が高くなっている。

REPORT. NO:0011	TOTAL	1	2	3	4	5
1 段目 2 段目	度数 横%	ふらつきによる危険は特に感じていない	ふらつきにより転倒や衝突しそうなことがある	ふらつきにより転倒や衝突してしまったことがある	わからない	無回答
0002:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について						
0) TOTAL	3,681 100.0	1,512 41.1	1,608 43.7	375 10.2	130 3.5	56 1.5
1) ただちに義務化すべきである	556 100.0	152 27.3	309 55.6	60 10.8	21 3.8	14 2.5
2) 将来的には義務化すべきである	1,248 100.0	481 38.5	590 47.3	128 10.3	36 2.9	13 1.0
3) 義務化にはなじまない	1,262 100.0	613 48.6	482 38.2	124 9.8	36 2.9	7 0.6
4) その他	72 100.0	33 45.8	27 37.5	8 11.1	4 5.6	0 0.0
5) わからない	390 100.0	174 44.6	149 38.2	35 9.0	27 6.9	5 1.3
6) 無回答	153 100.0	59 38.6	51 33.3	20 13.1	6 3.9	17 11.1

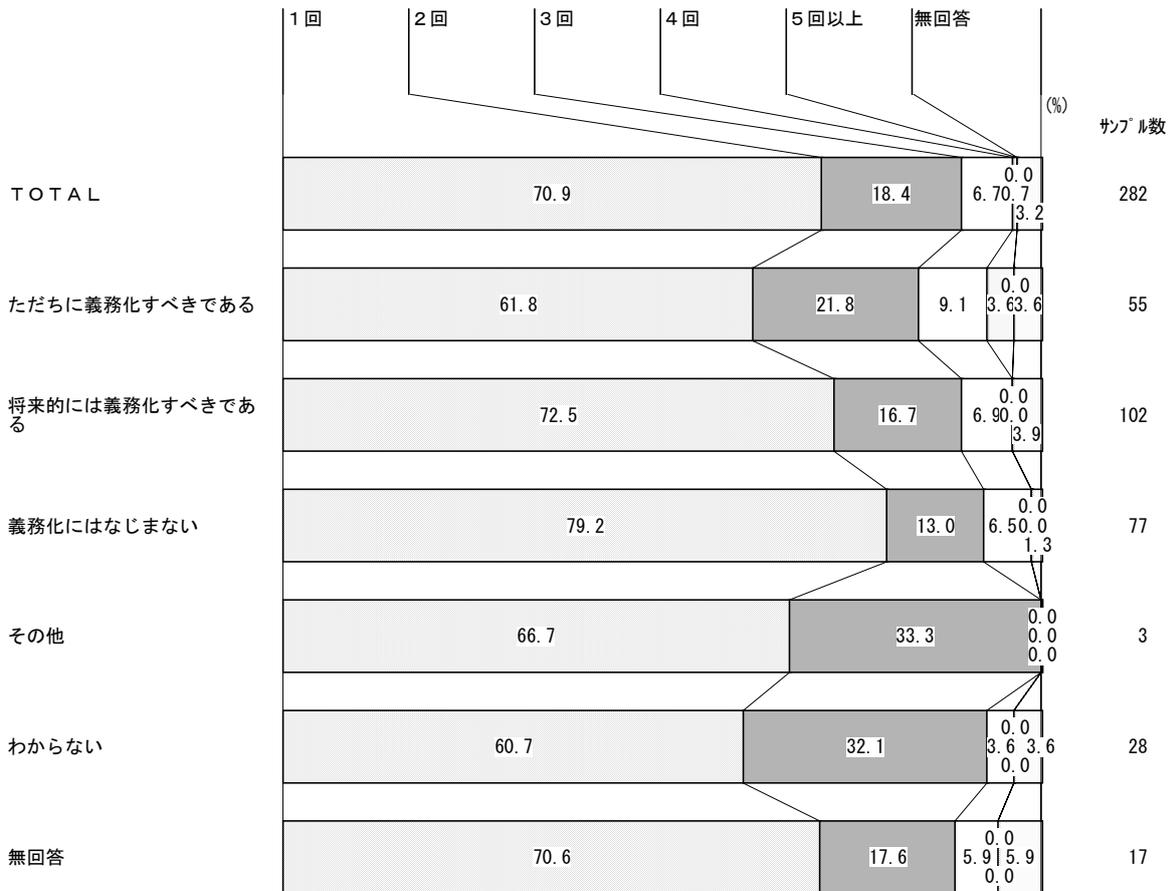
22. ヘルメット着用義務化の所見（問 14）×同乗時のケガの経験有無（問 11）



子供同乗時のケガの経験の有無については、「ケガをした経験がある」と回答した割合をみると、「ただちに義務化すべき」が9.9%、「将来的には義務化すべき」が8.2%、「義務化にはなじまない」が6.1%となっており、ケガをした経験がある人の方が「ただちに義務化すべき」「将来的には義務化すべき」と回答した割合が高くなっている。

REPORT. NO:0012 1 段目 度数 2 段目 横%	TOTAL	1	2	3	4
		ケガをした経験がある	ケガをした経験はない	わからない	無回答
0002:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について					
0) TOTAL	3,681 100.0	282 7.7	3,321 90.2	17 0.5	61 1.7
1) ただちに義務化すべきである	556 100.0	55 9.9	492 88.5	3 0.5	6 1.1
2) 将来的には義務化すべきである	1,248 100.0	102 8.2	1,120 89.7	5 0.4	21 1.7
3) 義務化にはなじまない	1,262 100.0	77 6.1	1,173 92.9	3 0.2	9 0.7
4) その他	72 100.0	3 4.2	69 95.8	0 0.0	0 0.0
5) わからない	390 100.0	28 7.2	352 90.3	5 1.3	5 1.3
6) 無回答	153 100.0	17 11.1	115 75.2	1 0.7	20 13.1

23. ヘルメット着用義務化の所見（問 14）×同乗時のケガの経験回数（問 12）



自転車同乗時の子供のケガの経験回数について、「2回」以上の人の割合をみると、「ただちに義務化すべき」が34.5%、「将来的には義務化すべき」が23.6%、「義務化にはなじまない」が19.5%となっており、ケガの経験回数が多い人の方が「ただちに義務化すべき」「将来的には義務化すべき」と回答した割合が高くなっている。

REPORT. NO:0013 1 段目 度数 2 段目 権%	TOTAL	1	2	3	4	5	6
		1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
0002:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について							
0) TOTAL	282 100.0	200 70.9	52 18.4	19 6.7	2 0.7	0 0.0	9 3.2
1) ただちに義務化すべきである	55 100.0	34 61.8	12 21.8	5 9.1	2 3.6	0 0.0	2 3.6
2) 将来的には義務化すべきである	102 100.0	74 72.5	17 16.7	7 6.9	0 0.0	0 0.0	4 3.9
3) 義務化にはなじまない	77 100.0	61 79.2	10 13.0	5 6.5	0 0.0	0 0.0	1 1.3
4) その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5) わからない	28 100.0	17 60.7	9 32.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6
6) 無回答	17 100.0	12 70.6	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	1 5.9

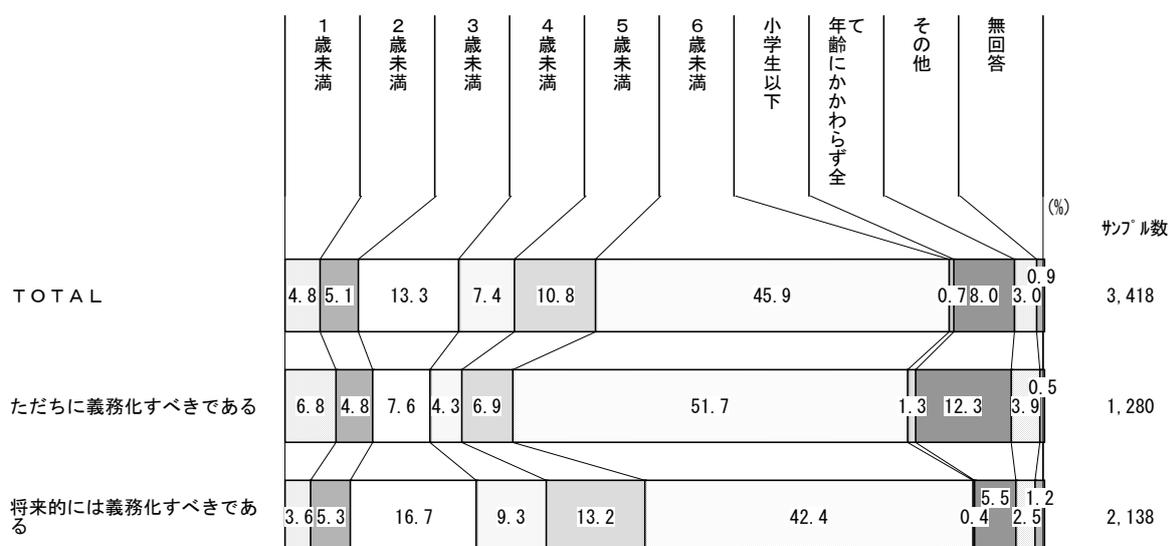
24. ヘルメット着用義務化の所見（問 14）×ケガの最も大きかった部分（問 13-2-3）

	頭	顔	腹	肩	手、腕	足、脚	わからない	ケガはなかった	その他	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	16.2	10.2	0.5	0.0	10.7	33.2	1.8	17.5	1.0	8.9		383
ただちに義務化すべきである	19.2	16.4	0.0	0.0	6.8	30.1	0.0	15.1	2.7	9.6		73
将来的には義務化すべきである	18.2	10.9	0.0	0.0	14.6	28.5	1.5	17.5	0.7	8.0		137
義務化にはなじまない	11.5	7.7	1.9	0.0	8.7	44.2	1.0	18.3	1.5	8.8		104
その他	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0		4
わからない	14.6	4.9	0.0	9.8	0.0	29.3	9.8	19.5	0.0	12.2		41
無回答	20.8	4.2	0.0	12.5	0.0	20.8	0.0	20.8	0.0	20.8		24

子供のケガの大きかった部分について、「頭」と回答した割合をみると、「ただちに義務化すべき」が19.2%、「将来的には義務化すべき」が18.2%、「義務化にはなじまない」が11.5%となっており、「顔」についても「ただちに義務化すべき」が16.4%、「将来的には義務化すべき」が10.9%、「義務化にはなじまない」が7.7%となっており、「頭」や「顔」へのケガを経験した人ほど、義務化に賛成する割合が高くなっている。

REPORT. NO:0019	TOTAL	1 頭	2 顔	3 腹	4 肩	5 手、腕	6 足、脚	7 わからない	8 ケガはなかった	9 その他	10 無回答
1 段目 度数											
2 段目 権%											
0002:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について											
0) TOTAL	383	62	39	0	2	41	127	7	67	4	34
	100.0	16.2	10.2	0.0	0.5	10.7	33.2	1.8	17.5	1.0	8.9
1) ただちに義務化すべきである	73	14	12	0	0	5	22	0	11	2	7
	100.0	19.2	16.4	0.0	0.0	6.8	30.1	0.0	15.1	2.7	9.6
2) 将来的には義務化すべきである	137	25	15	0	0	20	39	2	24	1	11
	100.0	18.2	10.9	0.0	0.0	14.6	28.5	1.5	17.5	0.7	8.0
3) 義務化にはなじまない	104	12	8	0	2	9	46	1	19	1	6
	100.0	11.5	7.7	0.0	1.9	8.7	44.2	1.0	18.3	1.0	5.8
4) その他	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0
	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5) わからない	41	6	2	0	0	4	12	4	8	0	5
	100.0	14.6	4.9	0.0	0.0	9.8	29.3	9.8	19.5	0.0	12.2
6) 無回答	24	5	1	0	0	3	5	0	5	0	5
	100.0	20.8	4.2	0.0	0.0	12.5	20.8	0.0	20.8	0.0	20.8

25. ヘルメット着用義務化の所見（問 14） × ヘルメット着用義務化対象年齢層（問 14-1）



ヘルメット着用義務化の対象とすべき年齢層について、「6歳未満」との回答の割合は「ただちに義務化すべき」が51.7%、「将来的には義務化すべき」が42.4%となっており、「年齢にかかわらず全」との回答も「ただちに義務化すべき」とする人が12.3%と、「将来的には義務化すべき」のとする人の5.5%より多くなっている。

「ただちに義務化すべき」とする人は、義務化の対象年齢を高くすべきとの見解であることがわかる。

REPORT. NO:0025	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	小学生以下	年齢にかかわらず全	その他	無回答
1 段目 度数											
2 段目 権%											
0003:問14 幼児用ヘルメットの着用義務化について											
0) TOTAL	3,418 100.0	163 4.8	176 5.1	453 13.3	254 7.4	370 10.8	1,568 45.9	24 0.7	275 8.0	104 3.0	31 0.9
1) ただちに義務化すべきである	1,280 100.0	87 6.8	62 4.8	97 7.6	55 4.3	88 6.9	662 51.7	16 1.3	157 12.3	50 3.9	6 0.5
2) 将来的には義務化すべきである	2,138 100.0	76 3.6	114 5.3	356 16.7	199 9.3	282 13.2	906 42.4	8 0.4	118 5.5	54 2.5	25 1.2

26. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×自転車の子供との同乗頻度（問 4-2）

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	月に3～4回	年に数回	その他	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	19.3	19.3	15.7	16.7	20.8	2.3	6.0		3,681
子供2人の同乗まで認めるべきである	23.7	22.2	17.1	14.8	15.2	2.0	5.0		2,010
子供1人の同乗のみ認めるべきである	11.7	16.0	15.2	20.8	27.5	2.3	6.6		1,127
子供の同乗は原則禁止すべきである	8.3	20.8	8.3	4.2	37.5	8.3	12.5		24
その他	22.4	23.5	5.1	11.2	28.6	4.1	5.1		98
わからない	18.8	12.2	13.5	15.8	27.6	3.0	9.2		304
無回答	16.9	16.9	11.9	17.8	25.4	1.7	9.3		118

自転車の子供の同乗の是非について、同乗頻度との関係を見ると、「子供2人の同乗まで認めるべき」と回答した人は、「ほとんど毎日」が23.7%、「週に4～5回」が22.2%と、同乗の頻度が他と比較して高くなっている。また、「子供1人の同乗のみ認めるべき」と回答した人は、「ほとんど毎日」が11.7%、「週に4～5回」が16.0%となっており、「子供2人の同乗まで認めるべき」と回答した人より同乗の頻度が低くなっている。

一方、「子供の同乗は原則禁止すべき」と回答した人は、「年に数回」が37.5%と高くなっており、同乗頻度の高い人ほど、子供の同乗を認めるべきと考える人が多い傾向にある。

REPORT. NO:0004	TOTAL	1 ほとんど毎日	2 週に4～5回	3 週に2～3回	4 月に3～4回	5 年に数回	6 その他	7 無回答
1 段目 度数								
2 段目 横%								
0002: *問 15 自転車に幼児を同乗させることの是非								
0) TOTAL	3,681 100.0	710 19.3	711 19.3	577 15.7	613 16.7	766 20.8	83 2.3	221 6.0
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,010 100.0	477 23.7	446 22.2	344 17.1	298 14.8	305 15.2	40 2.0	100 5.0
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	1,127 100.0	132 11.7	180 16.0	171 15.2	234 20.8	310 27.5	26 2.3	74 6.6
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	24 100.0	2 8.3	5 20.8	2 8.3	1 4.2	9 37.5	2 8.3	3 12.5
4) その他	98 100.0	22 22.4	23 23.5	5 5.1	11 11.2	28 28.6	4 4.1	5 5.1
5) わからない	304 100.0	57 18.8	37 12.2	41 13.5	48 15.8	84 27.6	9 3.0	28 9.2
6) 無回答	118 100.0	20 16.9	20 16.9	14 11.9	21 17.8	30 25.4	2 1.7	11 9.3

27. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×シートベルトの着用状況（問 6-3）

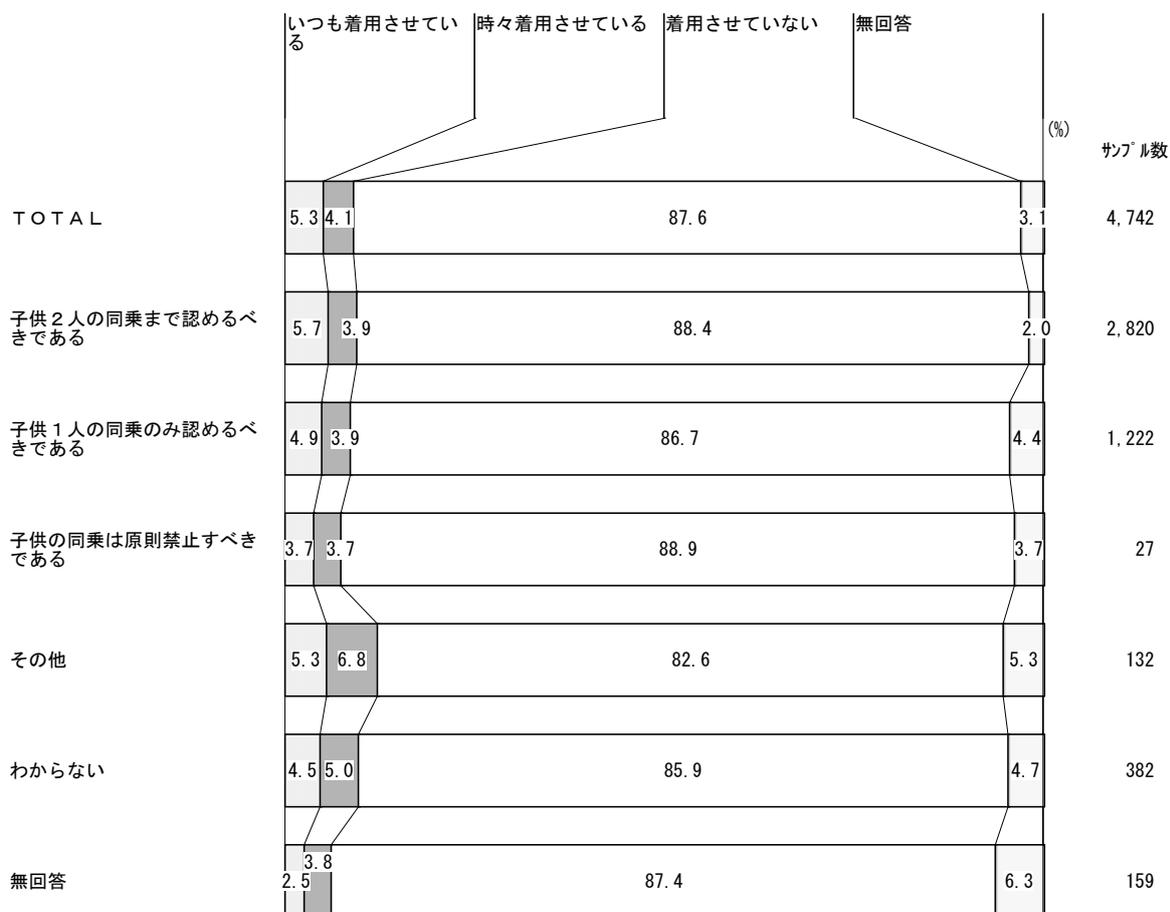
	いつも着用させている	時々着用させている	着用させていない	シートベルトはない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	35.9	18.4	32.6	11.0	2.0		4,516
子供2人の同乗まで認めるべきである	33.8	19.2	34.8	10.7	1.5		2,719
子供1人の同乗のみ認めるべきである	41.7	17.1	27.5	11.3	2.4		1,148
子供の同乗は原則禁止すべきである	45.8	16.7	16.7	16.7	4.2		24
その他	36.4	14.0	41.3	7.4	0.8		121
わからない	35.2	17.2	33.2	12.7	1.7		355
無回答	30.2	22.1	26.8	12.8	8.1		149

シートベルトの着用状況については、「いつも着用させている」との回答は「子供2人の同乗まで認めるべき」が33.8%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が41.7%、「子供の同乗は原則禁止すべき」が45.8%となっており、同乗は禁止すべきと回答した人の方が、シートベルトの着用率が高くなっている。

また、「時々着用させている」を合わせた結果についても同様の傾向にある。

REPORT. NO:0008	TOTAL	1 いつも着用 させている	2 時々着用さ せている	3 着用させて いない	4 シートベル トはない	5 無回答
1 段目 度数 2 段目 横%						
0002: *問15 自転車に幼児を同乗させることの是非						
0) TOTAL	4,516 100.0	1,623 35.9	832 18.4	1,473 32.6	499 11.0	89 2.0
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,719 100.0	919 33.8	521 19.2	945 34.8	292 10.7	42 1.5
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	1,148 100.0	479 41.7	196 17.1	316 27.5	130 11.3	27 2.4
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	24 100.0	11 45.8	4 16.7	4 16.7	4 16.7	1 4.2
4) その他	121 100.0	44 36.4	17 14.0	50 41.3	9 7.4	1 0.8
5) わからない	355 100.0	125 35.2	61 17.2	118 33.2	45 12.7	6 1.7
6) 無回答	149 100.0	45 30.2	33 22.1	40 26.8	19 12.8	12 8.1

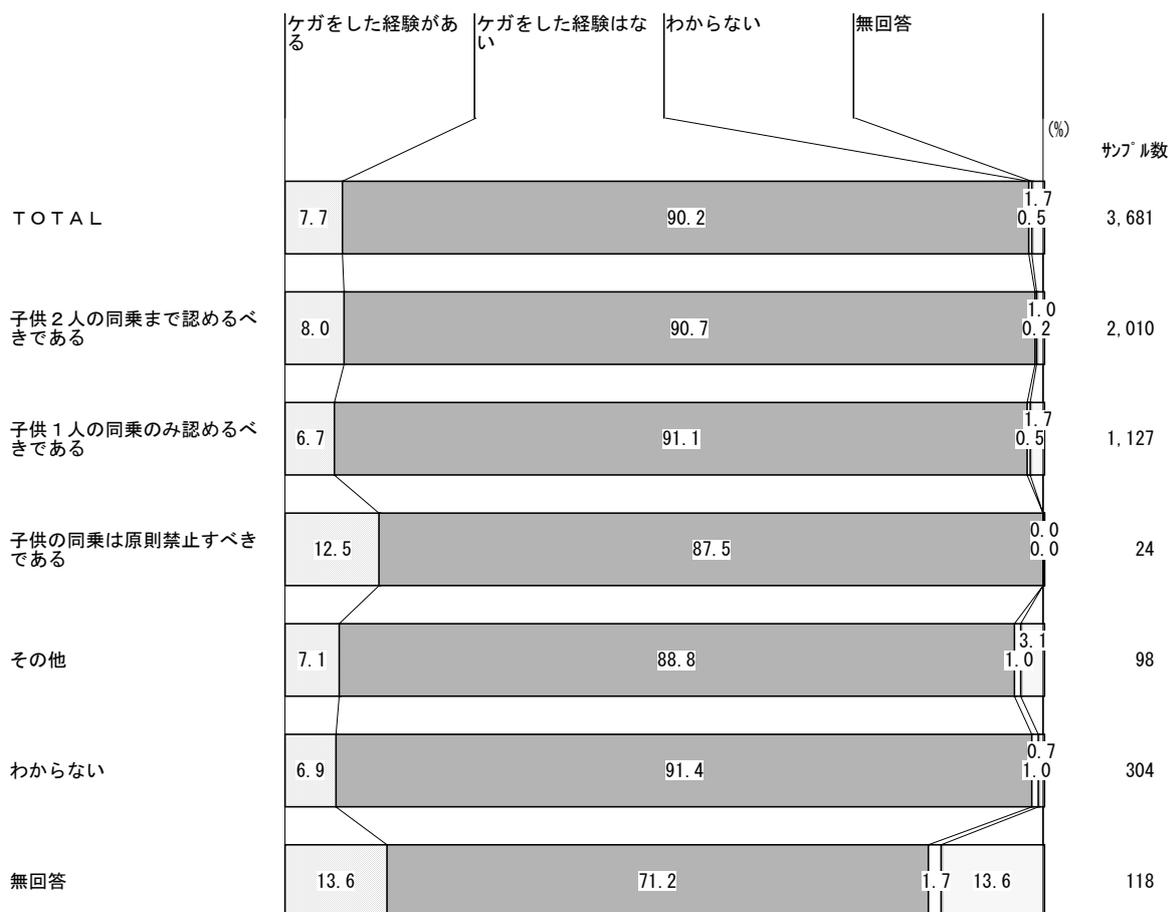
28. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×ヘルメットの着用状況（問 7-1）



ヘルメットの着用状況については、「いつも着用させている」「時々着用させている」を合わせると、「子供2人の同乗まで認めるべき」9.6%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」8.8%、「子供の同乗は原則禁止すべき」7.4%となっており、わずかではあるが、同乗を認めるべきと回答した人の方が、ヘルメットの着用率が高くなっている。

1 段目 2 段目	度数 横%	TOTAL			
		1 いつも着用 させている	2 時々着用さ せている	3 着用させて いない	4 無回答
0002: *問 1 5 自転車に幼児を同乗させることの是非					
0) TOTAL	4,742 100.0	249 5.3	193 4.1	4,153 87.6	147 3.1
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,820 100.0	160 5.7	110 3.9	2,493 88.4	57 2.0
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	1,222 100.0	60 4.9	48 3.9	1,060 86.7	54 4.4
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	27 100.0	1 3.7	1 3.7	24 88.9	1 3.7
4) その他	132 100.0	7 5.3	9 6.8	109 82.6	7 5.3
5) わからない	382 100.0	17 4.5	19 5.0	328 85.9	18 4.7
6) 無回答	159 100.0	4 2.5	6 3.8	139 87.4	10 6.3

29. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×同乗時のケガの経験有無（問 11）



自転車同乗時における子供のケガの経験有無について、「ケガをした経験がある」人の割合は、「子供2人の同乗まで認めるべき」が8.0%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が6.7%であるのに対し、「子供の同乗は原則禁止すべき」は12.5%と、ケガの経験がある人ほど同乗を禁止すべきと考える傾向にある。

1 段目 2 段目	度数 横%	TOTAL			
		1 ケガをした 経験がある	2 ケガをした 経験はない	3 わからない	4 無回答
0002: *問 1 5	自転車に幼児を同乗させることのは非				
0) TOTAL	3,681 100.0	282 7.7	3,321 90.2	17 0.5	61 1.7
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,010 100.0	160 8.0	1,824 90.7	5 0.2	21 1.0
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	1,127 100.0	75 6.7	1,027 91.1	6 0.5	19 1.7
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	24 100.0	3 12.5	21 87.5	0 0.0	0 0.0
4) その他	98 100.0	7 7.1	87 88.8	1 1.0	3 3.1
5) わからない	304 100.0	21 6.9	278 91.4	3 1.0	2 0.7
6) 無回答	118 100.0	16 13.6	84 71.2	2 1.7	16 13.6

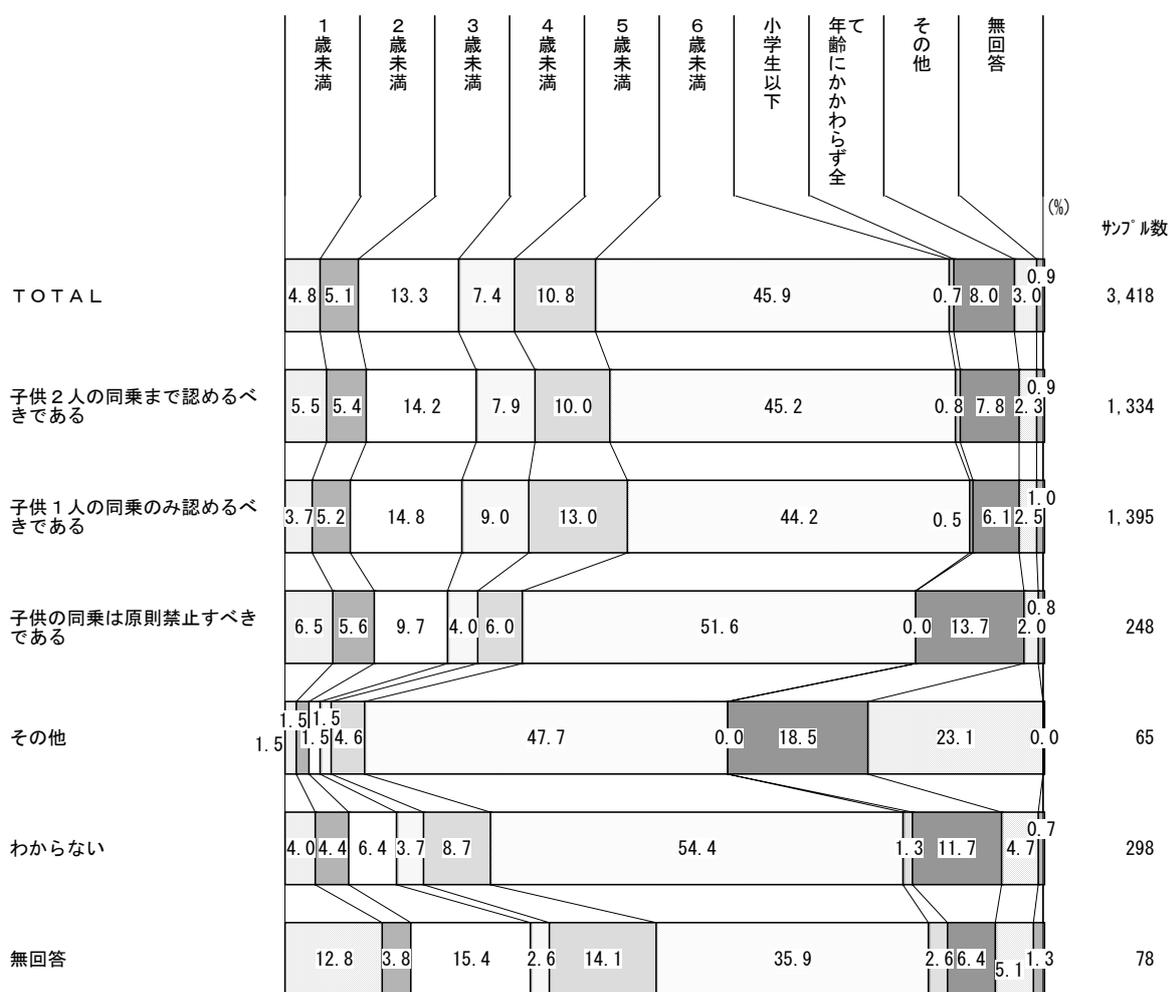
30. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×ヘルメット着用義務化の所見（問 14）

	ただちに義務化すべきである	将来的には義務化すべきである	義務化にはなじまない	その他	わからない	無回答	(%)	サンプル数
TOTAL	19.7	33.0		28.9	2.0	12.0		6,486
子供2人の同乗まで認めるべきである	17.5	34.2		35.4	1.8	8.9		2,582
子供1人の同乗のみ認めるべきである	21.7	38.9		26.2	1.0	8.3		2,301
子供の同乗は原則禁止すべきである	34.3		27.8	17.0	4.5	11.3		399
その他	19.3	13.7		45.7	12.2	6.1		197
わからない	16.1	21.9		23.3	1.1	35.0		785
無回答	12.2	23.0	7.2	3.6	12.2			222

ヘルメット着用の義務化について、「ただちに義務化すべき」と回答した人の割合は、「子供2人の同乗まで認めるべき」が17.5%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が21.7%、「子供の同乗は原則禁止すべき」が34.3%となっており、同乗を禁止すべきとの見解を持つ人は、ヘルメット着用についても義務化すべきと考える傾向にあることが示されている。

REPORT. NO:0023	TOTAL	1 ただちに義務化すべきである	2 将来的には義務化すべきである	3 義務化にはなじまない	4 その他	5 わからない	6 無回答
1 段目 2 段目 度数 横%							
0002: *問 15 自転車に幼児を同乗させることの是非							
0) TOTAL	6,486 100.0	1,280 19.7	2,138 33.0	1,874 28.9	128 2.0	780 12.0	286 4.4
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,582 100.0	452 17.5	882 34.2	914 35.4	47 1.8	229 8.9	58 2.2
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	2,301 100.0	500 21.7	895 38.9	603 26.2	22 1.0	192 8.3	89 3.9
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	399 100.0	137 34.3	111 27.8	68 17.0	18 4.5	45 11.3	20 5.0
4) その他	197 100.0	38 19.3	27 13.7	90 45.7	24 12.2	12 6.1	6 3.0
5) わからない	785 100.0	126 16.1	172 21.9	183 23.3	9 1.1	275 35.0	20 2.5
6) 無回答	222 100.0	27 12.2	51 23.0	16 7.2	8 3.6	27 12.2	93 41.9

31. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×ヘルメット着用義務化対象年齢層（問 14-1）

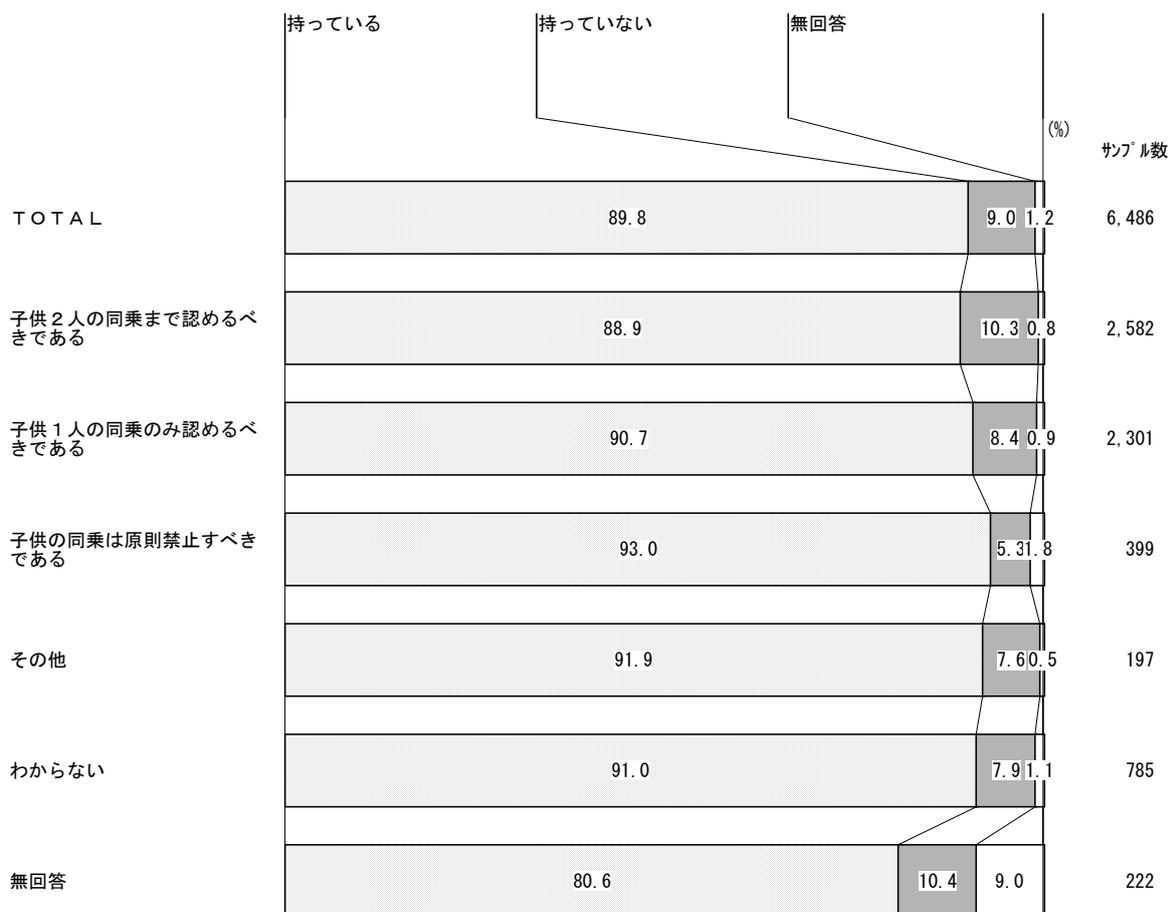


ヘルメット着用を義務化する場合の対象年齢層については、いずれも「6歳未満」と回答した人の割合が最も高くなっているが、「年齢にかかわらず全て」と回答した人の割合は「子供の同乗は原則禁止すべき」と回答した人のうち 13.7%と他と比べ高くなっている。

義務化の対象年齢層については、同乗を認めるべきとする人より、同乗を禁止すべきという人の方が対象とすべき年齢層を広く考えている。

REPORT NO:0025	TOTAL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1 段目 度数		1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	小学生以下	年齢にかかわらず全	その他	無回答
2 段目 権%											
0002: *問 15 自転車に幼児を同乗させることの是非											
0) TOTAL	3,418 100.0	163 4.8	176 5.1	453 13.3	254 7.4	370 10.8	1,568 45.9	24 0.7	275 8.0	104 3.0	31 0.9
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	1,334 100.0	73 5.5	72 5.4	190 14.2	105 7.9	133 10.0	603 45.2	11 0.8	104 7.8	31 2.3	12 0.9
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	1,395 100.0	51 3.7	73 5.2	207 14.8	125 9.0	182 13.0	616 44.2	7 0.5	85 6.1	35 2.5	14 1.0
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	248 100.0	16 6.5	14 5.6	24 9.7	10 4.0	15 6.0	128 51.6	0 0.0	34 13.7	5 2.0	2 0.8
4) その他	65 100.0	1 1.5	1 1.5	1 1.5	1 1.5	3 4.6	31 47.7	0 0.0	12 18.5	15 23.1	0 0.0
5) わからない	298 100.0	12 4.0	13 4.4	19 6.4	11 3.7	26 8.7	162 54.4	4 1.3	35 11.7	14 4.7	2 0.7
6) 無回答	78 100.0	10 12.8	3 3.8	12 15.4	2 2.6	11 14.1	28 35.9	2 2.6	5 6.4	4 5.1	1 1.3

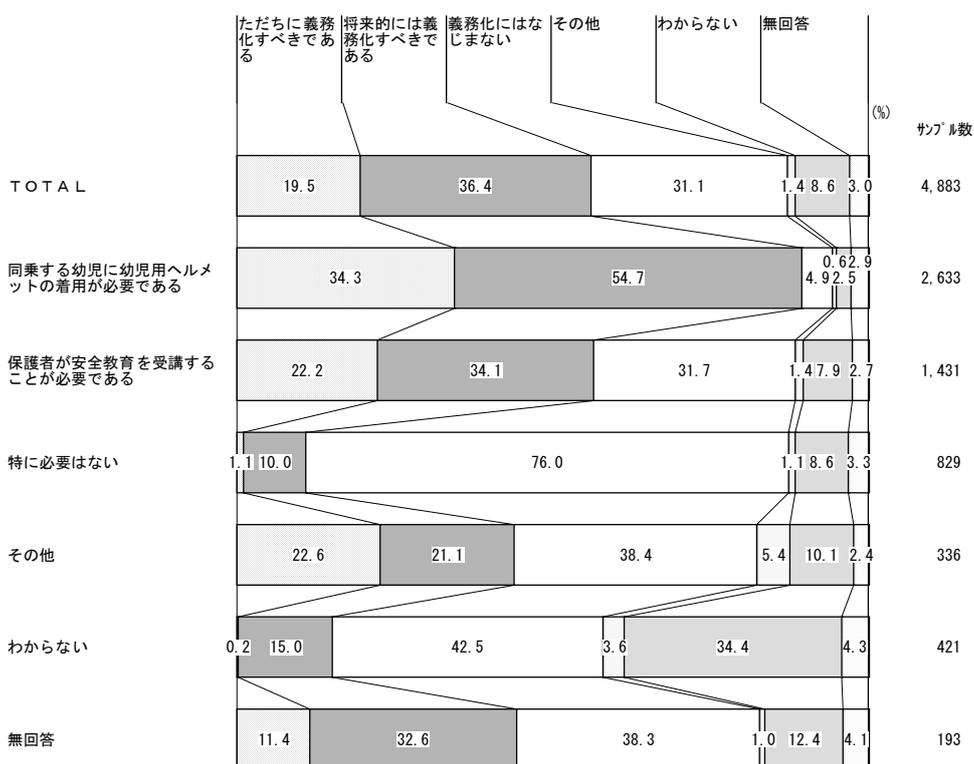
32. 自転車の子供との同乗是非（問 15）×運転免許保有状況（問 17）



運転免許の保有状況について、「持っている」と回答した人の割合は、「子供2人の同乗まで認めるべき」が88.9%、「子供1人の同乗のみ認めるべき」が90.7%、「子供の同乗は原則禁止すべき」が93.0%となっており、わずかながら同乗を禁止すべきとする人の免許保有率が高い傾向にある。

REPORT. NO:0032	TOTAL	1 持っている	2 持っていない	3 無回答
1 段目 2 段目 度数 横%				
0002: *問15 自転車に幼児を同乗させることの是非				
0) TOTAL	6,486 100.0	5,827 89.8	582 9.0	77 1.2
1) 子供2人の同乗まで認めるべきである	2,582 100.0	2,295 88.9	267 10.3	20 0.8
2) 子供1人の同乗のみ認めるべきである	2,301 100.0	2,087 90.7	194 8.4	20 0.9
3) 子供の同乗は原則禁止すべきである	399 100.0	371 93.0	21 5.3	7 1.8
4) その他	197 100.0	181 91.9	15 7.6	1 0.5
5) わからない	785 100.0	714 91.0	62 7.9	9 1.1
6) 無回答	222 100.0	179 80.6	23 10.4	20 9.0

33. 同乗容認に必要な安全対策（問 15-2）×ヘルメット着用義務化の所見（問 14）



ヘルメット着用義務化について、「同乗する幼児に幼児用ヘルメットの着用が必要」と回答した人は「ただちに義務化すべき」が34.3%、「将来的には義務化すべき」が54.7%と、義務化に賛成とする人の9割が同乗容認に必要な安全対策としてヘルメット着用の必要性をあげている。

また、「保護者が安全教育を受講することが必要である」については、「ただちに義務化すべき」が22.2%、「将来的には義務化すべき」が34.1%となっており、「義務化にはなじまない」と回答した人についても31.7%が安全教育の必要性をあげている。

一方、安全対策は「特に必要はない」と回答している人は、ヘルメット着用の「義務化にはなじまない」が76.0%と多くっており、安全対策の必要性とヘルメット着用義務化についての考え方には関連がみられる。

REPORT. NO:0022	TOTAL	1	2	3	4	5	6
1 段目 度数		ただちに義務化すべきである	将来的には義務化すべきである	義務化にはなじまない	その他	わからない	無回答
2 段目 横%							
0022:問15-2 同乗容認に必要安全対策【複数回答】							
0) TOTAL	4,883 100.0	952 19.5	1,777 36.4	1,517 31.1	69 1.4	421 8.6	147 3.0
1) 同乗する幼児に幼児用ヘルメットの着用が必要である	2,633 100.0	903 34.3	1,440 54.7	130 4.9	17 0.6	66 2.5	77 2.9
2) 保護者が安全教育を受講することが必要である	1,431 100.0	317 22.2	488 34.1	454 31.7	20 1.4	113 7.9	39 2.7
3) 特に必要はない	829 100.0	9 1.1	83 10.0	630 76.0	9 1.1	71 8.6	27 3.3
4) その他	336 100.0	76 22.6	71 21.1	129 38.4	18 5.4	34 10.1	8 2.4
5) わからない	421 100.0	1 0.2	63 15.0	179 42.5	15 3.6	145 34.4	18 4.3
6) 無回答	193 100.0	22 11.4	63 32.6	74 38.3	2 1.0	24 12.4	8 4.1